

**(1) 第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の
実施状況等について**

第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

実施状況、分析・評価及び今後の考え方について ※(再)は主に位置づけられる施策の展開以外にも再度掲げる取組

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
第1章 生きがいがづくり・社会参画の促進 1 生きがいがづくりの推進 (1) 生きがい・仲間づくりの推進 ○ 敬老バス等の交付	・敬老バス交付事業	高齢者に敬老の意を表すとともに、生きがいがづくり等を支援するため、敬老バスを交付した。 (3年度) (4年度) (5年度) 交付者数(人) 107,831 111,279 111,476 利用回数(回) 4,005,861 4,135,062 4,317,685	コロナの影響により落ち込んでいた利用回数も、令和4年度には元年度比の約8割まで回復しており、高齢者の生きがいがづくりと社会参加活動の促進に寄与することができた。	高齢者に敬老の意を表すとともに、生きがいがづくり等を支援するため、継続して実施するとともに、利用回数の増加を図る。	長寿支援課
	・すこやか入浴事業	温泉を生かした健康づくり、生きがいがづくり促進のため、すこやか入浴機能付敬老バスを交付した。 (3年度) (4年度) (5年度) 交付者数(人) 115,491 118,956 121,938 利用回数(回) 512,652 516,624 520,774	コロナの影響により落ち込んでいた利用回数も、令和4年度は元年度比の約9割まで回復しており、高齢者の温泉を活かした健康づくり、生きがいがづくりの促進に寄与することができた。	温泉を生かした健康づくり、生きがいがづくり促進のため、継続して実施するとともに、利用回数の増加を図る。	長寿支援課
	・友愛バス交付事業	障害者の生活の利便及び社会参加を促進するため、友愛バスを交付した。 (3年度) (4年度) (5年度) 交付者数(人) 19,527 19,878 20,316	外出困難な障害のある高齢者等の外出の促進が図られている。	外出困難な障害のある高齢者等の外出を促進するため、継続して実施する。	障害福祉課
○ 老人クラブ活動の推進	・友愛タクシー券交付事業	重度障害者の生活の利便及び社会参加を促進するため、タクシー券を交付した。 (3年度) (4年度) (5年度) 交付者数(人) 9,774 9,503 9,595	外出困難な障害のある高齢者等の外出の促進が図られている。	外出困難な障害のある高齢者等の外出を促進するため、継続して実施する。	障害福祉課
	・老人クラブ補助金交付事業	高齢者の生きがいの促進を図るため、各種補助金を交付し、高齢者クラブの育成等に努めた。 ※令和3年4月1日、老人クラブ⇒高齢者クラブへ名称変更 (3年度) (4年度) (5年度) 団体数(クラブ) 315 317 317 会員数(人) 15,934 15,419 15,065	コロナ禍により、廃止・休止クラブの増加や会員数の急激な減少が見られたため、引き続き、高齢者クラブ活動の広報周知や補助金交付申請の簡素化等に注力し、クラブ数及び会員数の減少防止対策に取り組む必要がある。	高齢者の生きがいの促進を図るため、引き続き、各種補助金を交付し、高齢者クラブの育成等に努める。	長寿支援課
○ 高齢者福祉センター等の管理	・高齢者福祉センター等管理運営・施設整備事業	高齢者の各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する高齢者福祉センターの管理運営を行った。 施設：高齢者福祉センター7館(与次郎、谷山、吉野、伊敷、東桜島、桜島、郡山) 喜入老人憩の家、すこやかランド石坂の里 高齢者福祉センター(7館) (3年度) (4年度) (5年度) 教養講座開催数(回) 300 334 334 利用者数(人) 377,587 438,124 650,000	コロナ禍により、講座数や利用者数は一時減少したものの、4年度から回復傾向にあり、教養講座も予定通り実施できていることから、健康の増進、教養の向上などのための便宜の総合的な供与が図れた。	健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する高齢者福祉センターの管理を引き続き適正に行っていく。	長寿支援課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																
○その他生きがいづくり・仲間づくりの推進	・すこやか長寿まつり開催事業	高齢者の社会参加や生きがいづくり・健康づくりを促進するスポーツ・文化のイベントとして「すこやか長寿まつり」を開催した。 ※3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>予定イベント数(種目)</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>参加者(人)</td> <td>1,573</td> <td>1,414</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※申込者数</td> <td>※参加者実数</td> <td>※見込数</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	予定イベント数(種目)	2	4	4	参加者(人)	1,573	1,414	1,600		※申込者数	※参加者実数	※見込数	3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。4年度は、開催規模を縮小しながら各イベントを実施し、高齢者の社会参加や生きがいづくり・健康づくりを促進を図れた。	高齢者の社会参加や生きがいづくり・健康づくりを促進するスポーツ・文化のイベントとして、継続して「すこやか長寿まつり」を開催する。	長寿支援課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
予定イベント数(種目)	2	4	4																		
参加者(人)	1,573	1,414	1,600																		
	※申込者数	※参加者実数	※見込数																		
	・高齢者ゲートボール場等管理事業	地域における高齢者の健康づくり、生きがいづくりを支援するために設置したゲートボール場等を管理した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>施設数(か所)</td> <td>36</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	施設数(か所)	36	35	35	高齢者の健康と仲間づくり、地域社会への連帯意識の高揚を図れた。	地域における高齢者の健康づくり、生きがいづくりを支援するため、設置したゲートボール場等を継続して管理していく。	長寿支援課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
施設数(か所)	36	35	35																		
	・高齢者福祉バス運行事業	高齢者クラブ等の団体が、教養向上や健康増進のための活動を行うときに、高齢者福祉バスを運行し活動を支援した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>運行回数(回)</td> <td>318</td> <td>483</td> <td>586</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	運行回数(回)	318	483	586	3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、8月14日から9月30日まで運行を休止した。4年度は、乗車数を定員の半数に制限したものの、運行回数は元年度比の約7割まで回復し、高齢者の教養向上や健康増進に寄与することができた。	高齢者クラブ等の団体が、教養向上や健康増進のための研修等に利用することで、日常生活を健全で豊かなものになるよう、継続して実施するとともに、運行回数の増加を図る。	長寿支援課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
運行回数(回)	318	483	586																		
	・敬老祝事業	社会のために貢献してきた高齢者を祝福し、敬老の意を表するとともに、さらなる長寿を祈念して敬老祝金等を支給した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>88歳対象者(人)</td> <td>3,223</td> <td>3,122</td> <td>3,411</td> </tr> <tr> <td>100歳対象者(人)</td> <td>243</td> <td>234</td> <td>277</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	88歳対象者(人)	3,223	3,122	3,411	100歳対象者(人)	243	234	277	3年度より、対象者への訪問は取りやめ、祝金は本人口座への振込、祝状は郵送にて贈呈している。 2か年を通して、高齢者のさらなる長寿を祈念することで、高齢者の生きがい・健康づくりの促進を図れた。	永年にわたり社会のために貢献してきた高齢者を祝福し、敬老の意を表するとともに、さらなる長寿を祈念するため、継続して実施する。	長寿支援課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
88歳対象者(人)	3,223	3,122	3,411																		
100歳対象者(人)	243	234	277																		
	・地域ふれあい交流助成事業	地域における高齢者と小中学生等とのふれあい交流を促進するため、地域の団体が実施する事業に要する経費を助成した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>事業数(回)</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>77</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	事業数(回)	35	40	77	コロナの影響で交流事業を控える団体が多く、申請件数が激減した。交付決定後の中止も相次ぎ、令和4年度の助成事業数は元年度比の約2割に留まったが、実施した団体においては、交流事業を通して高齢者の生きがいづくりの促進や小中学生の高齢社会に対する理解を深めることができた。	地域における高齢者と小中学生等とのふれあい交流を促進するため、継続して実施するとともに、事業数の増加を図る。	長寿支援課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
事業数(回)	35	40	77																		
	・愛のふれあい会食事業	家に閉じこもりがちな高齢者の孤独感の解消、健康保持及び生きがいづくりの促進を図るため、会食を実施する団体等に食事を提供した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>配食数(食)</td> <td>58,213</td> <td>29,511</td> <td>97,728</td> </tr> <tr> <td>利用団体</td> <td>381</td> <td>379</td> <td>374</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	配食数(食)	58,213	29,511	97,728	利用団体	381	379	374	3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、8月16日から10月14日、1月26日から3月31日まで、4年度は、4月1日から1月24日まで事業を休止した。 4年度の6月に実施した団体向けのアンケートでは、事業再開を望む声が約8割に及び、延べ配食数も元年度同月比の約7割まで回復したことから、高齢者の孤独感の解消や健康保持及び生きがいづくりの促進を図れた。	配食数の地域的偏在性の解消や、高齢者数に対して団体数の少ない地域への効果的な周知方法を検討する必要がある。 また、4年度は3事業者の事業撤退があったため、安定的な配食体制を構築するために、配食事業者の確保とボランティア団体の増加に努める必要がある。	長寿支援課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
配食数(食)	58,213	29,511	97,728																		
利用団体	381	379	374																		

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
	・高齢者の元気応援協賛店登録事業	高齢者の生きがいがづくり・健康づくりを推進するため、70歳以上の高齢者を対象に優待サービスを行う民間スポーツ施設等を市が協賛店として登録し支援した。 登録店舗数 (3年度) 55 (4年度) 51 (5年度) 51	高齢者の生きがいがづくり・健康づくりを促進するとともに、高齢者を応援する社会の機運を高めた。	高齢者の生きがいがづくり・健康づくりを推進するとともに、高齢者を応援する社会の機運を高めるため、引き続き事業の周知・広報に努めるとともに、登録店舗数の増加を図る。	長寿支援課
	・高齢者健康づくり・生きがいがづくり活動支援事業	高齢者の健康増進、生きがいがづくりを促進するため、健康づくり活動や生きがいがづくり活動に要する経費の一部を助成した。 団体数 (3年度) 4 (4年度) 3 (5年度) 事業廃止	高齢者の健康づくり及び生きがいがづくり活動を支援するため高齢者クラブ等へ助成を行ってきたが、近年実績が少なく、補助金制度としての一定の役割を終えたと考えることから、4年度までで本事業を廃止する。	令和5年度廃止事業	長寿支援課
	・元気高齢者活動支援事業(再)	高齢者の社会参加を支援するため、様々な知識や技術を有する高齢者を「元気高齢者」として、高齢者クラブや町内会等に講師として紹介した。 登録者数(人) (3年度) 52 (4年度) 47 (5年度) 47	高齢者が培ってきた能力を活かすとともに、積極的な社会参画と生きがいがづくりの支援が図られた。	高齢者の社会参加を支援するため、継続して実施する。	長寿支援課
	・高齢者いきいきポイント推進事業	高齢者が市社会福祉協議会が募集・管理するボランティア活動等や健康診査の受診に対して、換金等が可能なポイントを付与することで、高齢者の生きがいがづくりや介護予防を推進した。 登録者数(人) (3年度) 1,337 (4年度) 1,286 (5年度) 1,438	登録者数に関しては、新規登録者数は3、4年度と比較して増加したものの、登録者の内、要介護認定を受けたことや死亡したことで登録資格を失った者が新規登録者数を上回ったことで減少した。	今後も高齢者の生きがいがづくりや介護予防を推進する必要があることから、登録者の増加を図ることに留意しつつ、引き続き、高齢者が行う市社会福祉協議会が募集・管理するボランティア活動等や健康診査の受診に対して、換金等が可能なポイントを付与する当該事業を推進する。	長寿あんしん課
	・いきいきグリーンカレッジ開設事業	概ね55歳以上の世代の「潤いある暮らし」を支援するため、花き・花木、果樹及び野菜の基礎的な栽培管理について、講義と実習を交えた講習を行う。 受講者数(人) 開催回数(回) (3年度) 30 15 (4年度) 30 18 (5年度) 30 18	栽培管理を総合的に学び、収穫の喜びや植物に接する機会を作ることで、受講者の「潤いある暮らし」を支援することができている。課題としては、講義回数や内容の検討などがある。	花き・花木、果樹及び野菜の栽培管理を総合的に学び、収穫の喜びや植物を愛でることで、概ね55歳以上の世代の「潤いある暮らし」を支援するため、今後も継続して事業を実施する。	都市農業センター
	・高齢者生きがい支援広報強化事業 ※第8期計画から掲載	高齢者の生きがい支援施策を集約したパンフレットを作成し、各施策のさらなる利用促進を図った。(隔年作成) 作成部数 (3年度) 42,000 (4年度) 35,000 (5年度) 0	高齢者の生きがい支援施策のさらなる利用促進を図ることを目的として、各施策を集約したパンフレットを作成し、効果的な広報を行えた。	高齢者の生きがいがづくりを支援するため、各施策の広報を継続して実施する。	長寿支援課
	・公共施設等での使用料等の減免	市立美術館等の市の施設において、70歳以上の方を対象に使用料等の減免を行った。また、割引施設の一覧表を作成した。	市の施設での使用料等の減免を行うとともに、民間施設の使用料等を減免することで、日常生活を健全で豊かなものとなるよう支援が図られた。	今後も引き続き、市の施設での使用料の減免を行うとともに、民間施設での使用料等の減免を依頼する。	長寿支援課 他

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
2 高齢者の社会参画の促進 (1)高齢者の活動への支援 ○高齢者の社会参画支援	・元気高齢者活動支援事業	高齢者の社会参加を支援するため、様々な知識や技術を有する高齢者を「元気高齢者」として、高齢者クラブや町内会等に講師として紹介した。 (3年度) (4年度) (5年度) 登録者数(人) 52 47 47	高齢者が培ってきた能力を活かすとともに、積極的な社会参画と生きがいがづくりの支援が図られた。	高齢者の社会参加を支援するため、継続して実施する。	長寿支援課
○生涯学習の推進	・高齢者いきいきポイント推進事業(再)	高齢者が市社会福祉協議会が募集・管理するボランティア活動等や健康診査の受診に対して、換金等が可能なポイントを付与することで、高齢者の生きがいがづくりや介護予防を推進した。 (3年度) (4年度) (5年度) 登録者数(人) 1,337 1,286 1,438	登録者数に関しては、新規登録者数は3、4年度と比較して増加したものの、登録者の内、要介護認定を受けたことや死亡したことで登録資格を失った者が新規登録者数を上回ったことで減少した。	今後も高齢者の生きがいがづくりや介護予防を推進する必要があることから、登録者の増加を図ることに留意しつつ、引き続き、高齢者が行う市社会福祉協議会が募集、管理するボランティア活動等や健康診査の受診に対して、換金等が可能なポイントを付与する当該事業を推進する。	長寿あんしん課
○生涯学習の推進	・高齢者福祉センターにおける各種教養講座の開催	高齢者相互の交流により、生きがいがづくり、健康づくりの促進を図るため、各種教養講座等を実施した。 高齢者福祉センター(7館) (3年度) (4年度) (5年度) 教養講座開催数(回) 300 334 334	コロナ禍により、講座数は一時減少したものの、4年度からは予定通り実施できていることから、健康の増進、教養の向上などのための便宜の総合的な供与が図れた。	高齢者相互の交流により、生きがいがづくり、健康づくりの促進を図るため、各種教養講座等を継続して実施する。	長寿支援課
	・地域公民館、生涯学習プラザにおける「かごしま高齢者生き生き元気塾」講座の開催	高齢者の生きがいがづくり、交流の場として、生涯学習プラザ、地域公民館において、高齢者を対象に教養、趣味、健康づくりに関する講座等を開設する。 (3年度) (4年度) (5年度) 地域公民館講座 105講座651回 113講座701回 108講座664回 プラザ講座 9講座 35回 8講座 32回 9講座 34回	各講座が高齢者の生きがいがづくり、交流の場として機能し、成果をあげている。	今後も引き続き、高齢者の生きがいがづくり、交流の場として、生涯学習プラザ、地域公民館における高齢者を対象とした講座の充実改善を図っていく。	生涯学習課
	・高齢者指導者の育成	様々な年代で活躍するリーダーの育成を目指し、地域リーダー・女性リーダー・高齢者リーダーの交流と資質向上を図るため、各研修会を統合し「学び広げる地域リーダー養成研修会」を開催した。 (3年度) (4年度) (5年度) 参加者数(人) 83 91 72 ※学び広げる地域リーダー養成研修会の参加者	学び広げる地域リーダー養成研修会を開催し、講話や様々な研修をととして、高齢者リーダーとしての資質向上が図られている。	今後もリーダーとしての資質向上を図り、高齢者の生涯学習の充実のための支援を行う。	生涯学習課
○スポーツ活動の推進	・健康体力づくり、生きがいがづくりのためのスポーツ活動の推進	高齢者の健康体力づくり、生きがいがづくりなど、健康で豊かな日常生活を送るため指導者研修会、スポーツ教室を開催する。 (3年度) (4年度) (5年度) 高齢者スポーツ指導者研修会(人) 39 28 65 シニアのための水中運動教室(人) 341 363 400	健康で豊かな日常生活を送るため、高齢者スポーツ指導者研修会、スポーツ教室等を開催することで、高齢者の健康体力づくり、生きがいがづくりを寄与している。	今後とも、高齢者の多様化するニーズに応えるため、気軽に誰でも参加できる施策を積極的に図っていく。 また、スポーツレクリエーションに関する情報提供等も行い高齢者の健康体力づくり、生きがいがづくりを支援する。	スポーツ課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
○ボランティア活動の推進	・健康づくり推進員支援事業(再)	介護予防のために実施するお通者クラブの運営等を行う健康づくり推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 養成者数(人) 38 25 50 活動推進員数(人) 391 370 400	お通者クラブの運営を行う健康づくり推進員を養成するとともに、推進員の研修会、連絡会を開催し、協議会の育成支援を行うことにより、助け合い支えあ地域づくりの推進に寄与した。	引き続き、介護予防のために実施するお通者クラブの運営等を行う健康づくり推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行う。健康づくり推進員の後継者不足が課題である。	保健予防課
	・運動普及推進員支援事業(再)	運動を安全かつ効果的に実践していくための知識や方法の普及啓発を行う運動普及推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 養成者数(人) 9 10 30 活動推進員数(人) 228 218 270	運動普及推進員を養成するとともに、推進員の研修会、連絡会等を開催し協議会の育成支援を行っている。また、推進員による運動の知識や方法の普及啓発を行うことで、市民の健康の保持増進に寄与した。	引き続き、運動を安全かつ効果的に実践していくための知識や方法の普及啓発を行う運動普及推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行う。	保健予防課
	・食生活改善推進事業(再)	市民に食生活を中心とした健康づくりの正しい知識と実践の普及を図る食生活改善推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 修了者数(人) 25 20 50 会員数(人) 322 305 310 活動回数(回) 22,389 23,709 30,750	食生活改善推進員を養成するとともに、推進員の研修会、役員会等を開催することにより、資質向上に努めている。3・4年度は、新型コロナウイルス対策を講じながらの活動であったが、食を通じた健康づくりの正しい知識と実践の普及を図り、市民の健康づくりに寄与していた。	引き続き、市民に食生活を中心とした健康づくりの正しい知識と実践の普及を図る食生活改善推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行う。	保健予防課
○老人クラブ活動の推進	・心をつなぐともしびグループ活動推進事業	ひとり暮らし高齢者等の安否確認、在宅福祉サービスに関する情報提供及びニーズの掘り起こし等を行う心をつなぐともしびグループの活動を推進した。 (3年度) (4年度) (5年度) 団体数(グループ) 117 118 119 対象者数(人) 1,254 1,241 1,265	地域のひとり暮らし、寝たきり、認知症等の高齢者に、声かけを行い、福祉ニーズの掘り起こし等を行っているが、活動員の減少が課題である。	ひとり暮らし高齢者等を地域で支え合う施策として重要であり、継続して事業を実施するとともに事業の周知等を図る。	長寿支援課
	・老人クラブ補助金交付事業(再)	高齢者の生きがいの促進を図るため、各種補助金を交付し、高齢者クラブの育成等に努めた。 (3年度) (4年度) (5年度) 団体数(クラブ) 315 317 317 会員数(人) 15,934 15,419 15,065	コロナ禍により、廃止・休止クラブの増加や会員数の急激な減少が見られたため、引き続き、高齢者クラブ活動の広報周知や補助金交付申請の簡素化等に注力し、クラブ数及び会員数の減少防止対策に取り組む必要がある。	高齢者の生きがいの促進を図るため、引き続き、各種補助金を交付し、高齢者クラブの育成等に努める。	長寿支援課
○高齢者の就労促進	・高齢者就業機会確保等事業	高齢者の知識・経験や技能・技術を活用し、自らの生きがい充実や社会参加等を図るため、臨時的・短期的な就業を通じて、定年退職者等に就業の機会を組織的に提供する鹿児島市シルバー人材センターに対し、同センターが行う各種事業や運営に要する経費の一部を助成した。 (3年度) (4年度) (5年度) 会員数(人) 4,408 4,266 4,300	4年度の会員数は3年度(過去最高)から減少したものの、契約金額は過去最高実績となった。高齢者の社会参加や生きがいづくりを図り、活力ある地域社会づくりの推進が十分図られている。	今後とも、国や関係機関と連携を取りながら高齢者の就労促進のための施策を実施、展開する。	雇用推進課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課												
	・就職困難者等雇用促進助成事業	<p>高齢者等就職困難者の雇用機会の増大及び雇用の定着を図るため、市内に事業所を有する中小企業の事業主が、市内に住所を有する就職困難者等を継続して雇用する労働者として雇い入れた事業主に対し補助金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象人数(高齢者)</td> <td>156</td> <td>78</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	対象人数(高齢者)	156	78	80	<p>雇用奨励金の交付件数の増減は、国の特定求職者雇用開発助成金の交付実績に連動したものである。市内在住の就職困難者等を、継続して雇用する労働者として雇い入れた事業主に対し補助金を交付することで、高齢者等就職困難者の雇用機会の増大と雇用の定着が図られた。</p>	<p>今後とも、国の補助制度の動向に注視しながら高齢者等を含め就職困難者の就労促進のための施策を実施、展開する。</p>	雇用推進課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
対象人数(高齢者)	156	78	80														
	・労政広報紙発行事業	<p>国、県、市及び関係機関の雇用施策、勤労者福祉施策等の広報・啓発を図るため、労政広報紙を発行した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発行部数(部)</td> <td>8,800</td> <td>8,400</td> <td>8,400</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	発行部数(部)	8,800	8,400	8,400	<p>国・県・市の雇用対策及び勤労者福祉施策等に関する情報を提供することにより、市内事業所の雇用環境の整備、勤労者福祉の向上等が図られた。</p>	<p>今後とも、国・県・市の雇用施策及び勤労者福祉施策等に関する情報を提供する。</p>	雇用推進課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
発行部数(部)	8,800	8,400	8,400														
	・生活・就労支援センターかごしまの運営・活用	<p>仕事探しをはじめとした生活の困りごとや不安に関する相談を受け、併設したハローワークやシルバー人材センターと連携したワンストップでの支援を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数(件)</td> <td>9,745</td> <td>5,546</td> <td>5,600</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	相談件数(件)	9,745	5,546	5,600	<p>就労や住居、債務、養育などの複合的な課題を持った相談者に対し、関係機関等と連携しながら適切な制度・施策に繋げていく。</p>	<p>引き続き、関連する部署や機関と連携した支援体制の充実を図る。</p>	保護第一課 雇用推進課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
相談件数(件)	9,745	5,546	5,600														
	・女性・学生・シニア起業チャレンジ支援事業	<p>起業・ベンチャーに関心や意欲を持つシニア世代に対する相談支援を行うなど、シニア世代の創業支援を図る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>セミナー受講者数(人)</td> <td>—</td> <td>26</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>セミナー開催回数(回)</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※3年度セミナーについては休止</p>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	セミナー受講者数(人)	—	26	30	セミナー開催回数(回)	—	1	1	<p>シニア世代に対する相談支援やセミナーを実施し、シニア世代の創業支援に取り組んだ。</p>	<p>今後とも、関係機関と連携を取りながらシニア世代の創業支援のための施策を実施する。</p>	産業創出課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
セミナー受講者数(人)	—	26	30														
セミナー開催回数(回)	—	1	1														

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
第2章 高齢者の安心・快適な暮らしの確保 1 在宅福祉サービスの充実 (1)在宅生活を支援するサービスの充実 ○介護家族への支援	・紙おむつ等助成事業	住民税非課税世帯で紙おむつ等を使用している高齢者に対し、現物支給又は現金助成を行った。 ○認定者数(人) (3年度) (4年度) (5年度) 在宅(介4、5) 2,110 2,199 2,326 在宅(その他) 6,666 6,902 7,125 入院中 3,042 3,107 3,205	紙おむつ等を使用している高齢者の福祉の向上及び経済的負担の軽減が図られた。	高齢者の保健衛生の向上と、家族の経済的負担の軽減を図るため、継続して実施する。	長寿支援課
	・老人介護手当支給事業	在宅の寝たきり又は重度認知症高齢者の介護者に対し、老人介護手当を支給した。 (3年度) (4年度) (5年度) 支給人数(人) 1,887 1,868 1,938	寝たきり又は重度認知症高齢者の介護者の労をねぎらうとともに、寝たきり高齢者等の福祉の増進が図られた。	介護家族の経済的負担の軽減を図るため、継続して実施する。	長寿支援課
	・家族介護講習会等開催事業	寝たきり高齢者等の介護者を対象に、講習会及び交流会を開催した。 参加者数(人) (3年度) (4年度) (5年度) 講習会(年2回) 32 22 60 交流会(日帰り) 17 10 40	寝たきり高齢者等の介護者の介護技術の向上と心身のリフレッシュが図られた。	介護家族者等の負担軽減等を図るため、継続して実施するとともに、参加者数の増加を図る。	長寿支援課
	・家族介護慰労金支給事業	在宅の寝たきり高齢者等の介護者に対し、家族介護慰労金を支給した。 (3年度) (4年度) (5年度) 支給件数(件) 9 8 12	家族介護慰労金を支給することにより、高齢者等の介護者を慰労した。	介護家族の慰労と経済的負担の軽減を図るため、継続して実施する。	長寿支援課
	・ワーク・ライフ・バランスを目指す事業所応援事業 ※第8期計画から掲載	働きやすい職場づくりを進めるため、市内の事業所に対し、ワーク・ライフ・バランス推進への取組事例等をリーフレットやセミナー等で紹介し、意識啓発を図るとともに、アドバイザーを無料で派遣して具体的な取組を支援する。 (3年度) (4年度) (5年度) 派遣件数(件) - 2 3 ※3年度休止	市内の事業所に対し、WLB推進への取り組み事例等をセミナー等で紹介するとともに、WLB推進アドバイザーを派遣することにより、男女がともに働きやすい職場づくりの促進が図られた。	労働局等関係機関と連携を図りながら、ワーク・ライフ・バランスの推進について取り組んでいく。	雇用推進課
○在宅介護の支援	・生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーターを地域包括支援センターに配置し、介護予防・生活支援サービス事業者協議会を開催するとともに、センター職員と連携しながら、訪問型住民主体サービス従事者を対象とした研修を実施する等生活支援の担い手の養成等を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) コーディネーター数(人) 4 4 4 協議会(市域版)開催回数 2 2 2 協議会(圏域版)開催回数 51 51 51	協議会の開催を通じて、多様な主体間で生活支援サービスの充実に関する協議・情報共有を行えたほか、生活支援コーディネーターを各ブロックに配置することで、多様な主体による取組みのコーディネート機能を担い、介護予防・生活支援サービス従事者研修会や支えあい活動従事者研修会の開催、支えあい活動補助金を通じた生活支援の担い手の養成が図られている。	今後も生活支援の担い手の養成等を行う必要があることから、引き続き、生活支援コーディネーターを地域包括支援センターに配置し、介護予防・生活支援サービス事業者協議会を開催するとともに、センター職員と連携しながら、訪問型住民主体サービス従事者を対象とした研修を実施する。	長寿あんしん課	

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
	・虚弱高齢者等福祉用具給付事業	虚弱なひとり暮らし高齢者等に対して、介護保険対象外の福祉用具を給付した。 (3年度) (4年度) (5年度) 支給件数(件) 704 784 730	寝たきり高齢者のほか、要介護状態にない虚弱高齢者やひとり暮らし高齢者にとっても介護予防の観点から福祉の増進に大きな役割を果たした。	在宅のひとり暮らし高齢者等の寝たきり予防等を図るため、継続して実施する。	長寿支援課
	・寝たきり高齢者等理髪・美容サービス事業	在宅で65歳以上要介護3以上の寝たきり高齢者等に対し、理髪サービス等を実施した。 (3年度) (4年度) (5年度) 決定者数(人) 1,118 1,369 1,248	寝たきり高齢者等の保健衛生及び福祉の増進が図られた。	在宅の寝たきり高齢者等の保健衛生の向上を図るため、継続して実施する。	長寿支援課
	・寝たきり高齢者等寝具洗濯サービス事業	在宅で65歳以上要介護3以上の寝たきり高齢者等が使用している寝具の洗濯・消毒・乾燥サービス等を実施した。 (3年度) (4年度) (5年度) 決定者数(人) 601 668 649	寝たきり高齢者等の保健衛生及び福祉の増進が図られた。	在宅の寝たきり高齢者等の保健衛生の向上を図るため、継続して実施する。	長寿支援課
	・寝たきり高齢者等訪問歯科診療推進補助事業	寝たきり高齢者等の歯科衛生の向上を図るため、歯科医師会が行う訪問診療に必要な機材等の購入費及び運営費に補助した。 (3年度) (4年度) (5年度) 申込件数(件) 199 190 280	寝たきり高齢者等に対する歯科診療の推進が図られた。	寝たきり高齢者の歯科衛生の向上を図るため、継続して実施する。	長寿支援課
	・特別障害者手当等支給事業 ※第8期計画から掲載	日常生活において、常時特別の介護を要する重度心身障害者及び高齢者に手当を支給することにより、障害者の福祉の増進を図った。 (3年度) (4年度) (5年度) 受給資格者数(人) 826 868 917 (特別障害者手当)(人) 813 857 908 (経過的福祉手当)(人) 13 11 9	常時特別の介護を要する重度心身障害者及び高齢者の福祉の増進が図られた。	引き続き、常時介護を要する、重度心身障害者及び高齢者に、精神的、物理的な負担の軽減の一助として手当を支給し、福祉の増進を図る。	障害福祉課
○ひとり暮らし高齢者等への生活支援	・ひとり暮らし高齢者等安心通報システム設置事業	急病等の緊急時に、押しボタンやセンサーの通報により警備員が駆けつけ、必要に応じて救急車の出動要請を行う通報システムを設置した。 (3年度) (4年度) (5年度) 設置数(台) 310 326 316 年度末稼働台数(台) 1,463 1,470 1,529	ひとり暮らし高齢者等の緊急時の不安解消と安全確保が図られた。	ひとり暮らし高齢者等が安心して生活できるように、継続して実施する。	長寿支援課
	・高齢者福祉電話設置事業	住民税非課税のひとり暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯で安否確認が必要な世帯に対し、福祉電話を設置した。 (3年度) (4年度) (5年度) 設置数(台) 12 20 18 年度末稼働台数(台) 68 67 64	地域住民等の協力や高齢者福祉相談員による安否確認などにより高齢者の孤独感を和らげることができた。	ひとり暮らし高齢者等の安否確認等のため、継続して実施するとともに、事業の周知を図る。	長寿支援課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																
	・心をつなぐ訪問給食事業	<p>安否確認及び食生活の手助けが必要なひとり暮らし高齢者等に、デイサービスセンター等で調理した昼食・夕食を提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>2,131</td> <td>2,160</td> <td>2,198</td> </tr> <tr> <td>昼配食数(食)</td> <td>329,171</td> <td>330,358</td> <td>341,520</td> </tr> <tr> <td>夜配食数(食)</td> <td>84,435</td> <td>84,171</td> <td>89,470</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	利用者数(人)	2,131	2,160	2,198	昼配食数(食)	329,171	330,358	341,520	夜配食数(食)	84,435	84,171	89,470	ひとり暮らし高齢者等に計画的に給食を提供することにより、健康で自立した生活の支援及び孤独感の解消、自立意欲の促進が図られた。	ひとり暮らし高齢者等の安否確認及び健康保持を図るため、継続して実施する。	長寿支援課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
利用者数(人)	2,131	2,160	2,198																		
昼配食数(食)	329,171	330,358	341,520																		
夜配食数(食)	84,435	84,171	89,470																		
	・高齢者短期入所事業	<p>被虐待高齢者や認知症等による徘徊高齢者等を一時的に養護老人ホーム等に入所させて保護する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>利用日数(日)</td> <td>0</td> <td>19</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	利用者数(人)	0	3	4	利用日数(日)	0	19	28	支援の必要な高齢者に保護を行い、適切な処遇を行っている。	対象となる事象が発生した場合は、適切な処遇を行う。	認知症支援室				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
利用者数(人)	0	3	4																		
利用日数(日)	0	19	28																		
	・家庭ごみの高齢者等戸別収集サービス(まごころ収集)事業	<p>家庭から排出されるごみ・資源物を自らごみステーションに運ぶことが困難な高齢者及び障害者等の日常的なごみ出しの負担を軽減するため、戸別収集を継続して実施した。</p>	年間200件程度の申請がある。4年度にアンケートを実施し、ほとんどの方が制度に満足していると回答があった。	高齢者及び障害者等の日常的なごみ出しの負担軽減が図られるため、継続して事業を実施する。ごみ出し支援策については、まごころ収集のほかにも、福祉サービスや、地域においては、ごみ出し支援を行っている団体などもあるので、今後、これらと連携を図る中で対応していく。	清掃事務所																
	・粗大ごみの家屋内収集	<p>家庭から排出される粗大ごみを自ら搬出することが困難な高齢者や障害者等に対し、ごみ出しの負担を軽減する家屋内収集を実施した。</p>	家屋内申込件数は増加しており、自ら搬出することが困難な方へのごみ出し負担の軽減が図られた。	粗大ごみを自ら搬出することが困難な高齢者及び障害者等の負担軽減が図られるため、継続して事業を実施する。	資源政策課																

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
2 安全で住みよい環境づくりの推進 (1)高齢者にふさわしい住環境の整備 ○住宅のバリアフリー化	・高齢者住宅改造費助成事業	介護認定を受けている在宅の高齢者の自立促進、寝たきり防止、介護者の負担軽減を図るため、住宅改造に要する経費の一部を助成した。 助成件数(件) (3年度) 94 (4年度) 93 (5年度) 96	コロナの影響で助成件数が減少したものの、令和4年度は元年度比の約8割まで回復していることから、居宅環境の改善により、在宅の高齢者の自立促進、寝たきり防止、介護者の負担軽減が図られた。	居宅環境の改善により、在宅の高齢者の自立促進、寝たきり防止、介護者の負担軽減が図られるため、継続して実施する。	長寿支援課
	・住宅改修支援事業	住宅改修費の申請書に添付する理由書の作成業務について支援を行った。 件数(件) (3年度) 156 (4年度) 160 (5年度) 200	要介護認定等を受けているが、介護保険サービスを利用していない者の住宅改修サービスの利用支援が推進されている。	在宅での生活を支援するため、継続して事業を実施する。	介護保険課
○高齢者向け住宅の整備	・高齢者住宅生活援助員派遣事業	シルバーハウジングに生活相談員を派遣し、生活指導・相談・安否確認等のサービスを提供した。 戸数(戸) 153 (3年度) 153 (4年度) 153 (5年度) 施設数(か所) 6 (3年度) 6 (4年度) 6 (5年度)	生活援助員が、入居者への生活指導・相談や安否確認、緊急時の対応等を行うことで、高齢者等の自立した安全かつ快適な生活を支援できた。	高齢者等の自立した安全かつ快適な生活を支援するため、関係課と連携を図りながら、継続して実施する。	長寿支援課
	・市営住宅における高齢者等のためのバリアフリー整備	既存市営住宅において、入居者の高齢化に対応するため、エレベーターの設置や住戸内の段差解消、トイレ・浴室への手摺設置などを行い、高齢化に対応した整備の充実を図る。 整備数 0戸 (3年度) 50戸(着手) (4年度) 50戸(完成) (5年度) ※R3は個別改善工事の発注がないため	市営住宅に住む高齢者世帯への対応として、既存住宅の浴室、トイレに転倒防止用の手摺を設置したことで、バリアフリー化が図られている。	・事業の遅れへの対応。 ・入居者の高齢化に対応するため、年次計画に基づき引き続き住戸内の整備の充実を図る。	住宅課
	・市営住宅における高齢者世帯向け住宅の供給	高齢者世帯が自立して安全で快適な生活を営めるよう、福祉施策と住宅施策の連携により整備したシルバーハウジング住宅127戸の維持管理を行う。	高齢者世帯の自立した安全で快適な生活の促進に寄与している。	高齢者世帯が自立して安全で快適な生活を営めるよう、引き続き適正な維持管理を行う。	住宅課
○高齢者向け住宅の質の確保	・優良賃貸住宅供給促進事業(サービス付き高齢者向け住宅の供給促進等)	良質で家賃が比較的低廉な高齢者向け住宅等の整備を促進するため、サービス付き高齢者向け住宅の建設費の一部を補助するとともに、高齢者向け優良賃貸住宅の入居者に対して家賃補助を行う。 家賃補助 1棟 10戸 (3年度) - (4年度) - (5年度) 建設費補助 1棟 13戸 (3年度) 0棟 0戸 (4年度) 0棟 0戸 (5年度) ※R3はR2からの繰越分 ※家賃補助はR3で終了	・補助申請は無し。	近年の成果や申請状況を勘案し、今後の支援のあり方について検討が必要。	住宅課
	未届けの有料老人ホームの届出促進 ※第8期計画から掲載	有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅が介護ニーズの受け皿としての役割を果たせるよう、未届けの有料老人ホームについて調査を行い、該当施設には届出を促すとともに指導監督の徹底を図った。	有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅が介護ニーズの受け皿としての役割を果たせるよう、指導監督を行っている。	今後も指導監督の徹底を図る必要があることから、引き続き、未届けの有料老人ホームについて調査を行い、該当施設には届出を促していく。	長寿あんしん課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
(2)高齢者が安心して暮らせるまちづくり ○建築物、道路等の整備	有料老人ホーム運営研修会開催事業 ※第8期計画から掲載	3年度以降は、新型コロナウイルス感染症の感染予防及び拡大防止のため、会場に集めての開催は中止とし、市ホームページに資料を掲載した。 市ホームページに掲載した研修動画の閲覧についての確認票提出(施設) (3年度) 197 (4年度) 193 (5年度) 200	会場に集めての開催は中止としたが、市ホームページに研修動画を掲載することで、コロナ禍においても研修の機会を確保し、適切な運営の推進が図られている。	今後も適切な運営の推進を図る必要があることから、引き続き、研修の機会を確保する。	長寿あんしん課
	有料老人ホームの立入検査の実施 ※第8期計画から掲載	有料老人ホームに対し、定期的に立入検査を実施し、利用者に対するサービスの質の確保を図った。	(長寿あんしん課) 必要に応じて立入検査を実施することで、利用者に対するサービスの質の確保が図られている。 (指導監査課) 有料老人ホームに対する定期的な立入検査の実施により、利用者に対するサービスの質の確保が図られている。	(長寿あんしん課) 今後も利用者に対するサービスの質の確保を図る必要があることから、引き続き、有料老人ホームに対し、定期的な立入検査等を実施する。 (指導監査課) 引き続き、有料老人ホームに対し、定期的な立入検査を実施し、利用者に対するサービスの質の確保を図る。	長寿あんしん課 指導監査課
	・介護サービス相談員の派遣(再)	介護サービスの質的向上のため、介護施設等へ相談員を派遣して利用者や家族からの相談に応じた。 派遣か所 (3年度) 14 (4年度) 34 (5年度) 280	利用者等の疑問、不満等の解消や、事業所のサービス改善につながっている。	利用者等の疑問、不満等の解消や、介護サービスの質的向上のため、引き続き事業を実施する。	介護保険課
	・高齢者等が生活しやすいまちづくりや環境づくりの推進	高齢者や障害者に配慮した生活環境並びにまちづくりを推進するため、届出、協議を受理し、整備基準への適合について指導助言を行った。 届出受理数(件) 63 68 68 協議件数(件) 19 14 14	届出受付に伴い指導助言を行うことにより、高齢者等が生活しやすいまちづくりに寄与している。	引き続き、届出、協議を受理し、整備基準への適合について指導助言を行う。	障害福祉課
	・自転車等の放置防止対策及び自転車等駐車場管理運営事業	高齢者や障害者等の安全や利便性に配慮した自転車等の駐車対策を進めるため、自転車等の放置防止対策及び自転車等駐車場の管理運営を行う。 自転車等撤去(台) 1,417 1,466 1,500 自転車等駐車場利用者数(人) 1,113,265 1,171,940 1,200,000 自転車等駐車場設置数(か所) 10 10 10 ※自転車等駐車場の利用者数、設置数は自転車等放置禁止区域内の状況	天文館・中央駅地区10か所の自転車等駐車場の管理運営を行った結果、駐車場の利用が図られ、放置自転車等も減少し、通行障害の緩和が図られた。また、障害者の利用料の減免や駐車場所までの案内、補助を行うなど、利用しやすい環境整備が図られている。	引き続き、自転車等の放置防止対策及び自転車等駐車場の管理運営を行い、高齢者や障害者等の安全や利便性に配慮した自転車等の駐車対策を進めていく。	道路管理課
	・市道バリアフリー推進事業	市道バリアフリー推進計画に基づき、歩道の段差解消等の整備を行う。 段差解消 19 63 — ベンチ設置 — — 4路線	歩道の段差解消等を図ることにより、高齢者や障害者等のすべての人々が安全かつ快適に歩行ができ、さまざまな社会活動等に参加しやすい環境づくりに寄与している。	バリアフリー重点整備地区内における人通りの多い特定道路の移動経路上等への休憩施設(ベンチ)設置など、すべての利用者が移動しやすい道路を構築し、利便性ならびに回遊性の向上を図る。	道路建設課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
○交通機関等移動手手段の整備	・敬老バス交付事業 (再)	高齢者に敬老の意を表すとともに、生きがいづくり等を支援するため、敬老バスを交付した。 (3年度) (4年度) (5年度) 交付者数(人) 107,831 111,279 111,476 利用回数(回) 4,005,861 4,135,062 4,317,685	コロナの影響により落ち込んでいた利用回数も、令和4年度には元年度比の約8割まで回復しており、高齢者の生きがいづくりと社会参加活動の促進に寄与することができた。	高齢者に敬老の意を表すとともに、生きがいづくり等を支援するため、継続して実施するとともに、利用回数の増加を図る。	長寿支援課
	・友愛バス交付事業 (再)	障害者の生活の利便及び社会参加を促進するため、友愛バスを交付した。 (3年度) (4年度) (5年度) 交付者数(人) 19,527 19,878 20,316	外出困難な障害のある高齢者等の外出の促進が図られている。	外出困難な障害のある高齢者等の外出を促進するため、継続して実施する。	障害福祉課
	・友愛タクシー券交付事業 (再)	重度障害者の生活の利便及び社会参加を促進するため、タクシー券を交付した。 (3年度) (4年度) (5年度) 交付者数(人) 9,774 9,503 9,595	外出困難な障害のある高齢者等の外出の促進が図られている。	外出困難な障害のある高齢者等の外出を促進するため、継続して実施する。	障害福祉課
	・低公害低床型バスの運行	高齢者を含めすべての人が利用しやすい交通手段として、低公害低床型バスを運行した。 (3年度) (4年度) (5年度) 低床バス車両数(両) 116 116 116	外出困難な障害のある高齢者等の外出の促進が図られている。	車両更新の際は、高齢者を含めすべての人が利用しやすい交通手段として、低公害低床バスを導入する。	バス事業課
	・超低床電車の運行	高齢者を含めすべての人が利用しやすい交通手段として、超低床電車を運行した。 (3年度) (4年度) (5年度) 超低床電車車両数(両) 17 17 17	外出困難な障害のある高齢者等の外出の促進が図られている。	車両更新の際は、高齢者を含めすべての人が利用しやすい交通手段として、超低床電車を導入する。	電車事業課
	・公共交通不便地対策事業 <5年度拡充>	あいばす等を運行するとともに、利用状況や利用者ニーズの把握に努め、地域の交通手段として定着するよう取り組んだほか、あいばすの運行状況等がわかるバスロケーションシステムを導入した。 5年度は、引き続きあいばす等の運行に努めるとともに、あいばすの認知度向上及び利用促進に向けたポイントラリーを実施することとしている。	コミュニティバス等の運行を行うことで、公共交通不便地の住民の交通手段の確保が図られた。	あいばす等を引き続き運行するとともに、利用状況や利用者ニーズの把握に努め、改善を図りながら地域の交通手段として定着するよう取り組む。	交通政策課
○高齢者の交通安全対策の推進	・お達者クラブ交通安全教室事業 多発する高齢者の交通事故防止を図るため、県警や交通安全協会と連携し、お達者クラブにおいて、高齢者向けの交通安全教室を年間を通じて計画的に実施する。 (3年度) (4年度) (5年度) 参加者数(人) 1,010 1,428 ※下記交通安全教室の参加人数を含む	高齢者の交通事故防止への意識高揚が図られた。	県警や交通安全協会と連携し、お達者クラブにおいて、高齢者向けの交通安全教室を年間を通じて計画的に実施し、多発する高齢者の交通事故防止を図る。	安心安全課	

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
○消費者被害の未然防止	・高齢者運転免許自主返納サポート制度	高齢者の交通事故防止対策の一環として、運転に不安がある高齢運転者の免許返納を促進するため、運転免許を自主返納した方に対する優遇制度を実施する。	運転に不安がある高齢運転者の免許返納の促進に寄与している。	高齢者の交通安全対策を効果的に推進するため、継続して実施する。	安心安全課
	・セーフコミュニティの推進	生涯にわたって安心安全に暮らせるまちづくりを推進するため、国際認証を取得しているセーフコミュニティの取組を継続的に評価・検証、改善しながら、事故やけがの予防活動の活性化を図った。 ○重点分野での取組 ・交通安全 高齢者の交通事故の減少を目指し、参加・体験型の交通安全教室や夜光反射材の着用啓発などに取り組んだ。 ・高齢者の安全 転倒による外傷の減少、虐待や認知症への啓発・理解の促進を目指し、転倒予防のための運動教室や認知症に関する意識啓発などに取り組んだ。	(安心安全課) 地域住民、行政、関係団体が一体となり取組を推進してきたことで、高齢運転者を第一当事者とする交通事故死傷者数や高齢者の交通事故死傷者数は減少傾向にある。 (高齢運転者による交通事故死傷者数) R30年 624人 → R4年 416人 (高齢者の交通事故死傷者数(1万人あたり)) H30年 30人 → R4年 14人 (長寿支援課) 取組を進めることによって、転倒や窒息による不慮の事故の減少や虐待や認知症への啓発・理解の促進が促進された。	高齢者の安全対策を効果的に推進するため、継続して実施する。	安心安全課 長寿支援課
	・消費生活相談事業 ・消費者啓発事業	高齢者が被害となるトラブルが見受けられることから、被害の未然防止を図るため、消費生活センターで相談や苦情に適切に応じるほか、「消費生活出張講座」の利用を実施した。	訪問販売などの高齢者を狙った悪質商法に対応するため、各種啓発資料の配布等でさらに広く周知を図るとともに、各地域での出張講座を展開する必要がある。	高齢者が被害となるトラブルが見受けられることから、消費生活センターにおいては、相談や苦情に適切に対応するほか、「消費生活出張講座」を実施し、被害の未然防止を図る。	消費生活センター
		(3年度) (4年度) (5年度) 消費生活出張講座件数(件) 105 139 180 電車、バス車内放送による広報を実施(社) 4 4 4 見守り者向け啓発資料の配布(部) 1,367 0 1,500			
	・A(悪質商法)B(撲滅)C(シティ)消費者情報ネットかごしま事業	高齢者の消費者被害を未然に防止するため、関係機関とのネットワーク会議を開催するとともにメールマガジンにより、見守り者へ消費生活情報を配信した。	高齢者等の消費者被害の未然防止のため、より効果的な情報伝達を図る必要がある。	ネットワーク会議を開催し、関係機関との情報共有を強化するとともに、見守り者等へのメールマガジン利用を促進し、迅速かつ効果的な情報伝達を図る。	消費生活センター
		(3年度) (4年度) (5年度) 消費者被害未然防止ネットワーク会議開催数(回) ※書面開催 ※書面開催 1 1 1 メールマガジン配信数(回) 15 17 12			
	地域消費者サポーター育成事業 ※第8期計画から掲載	悪質商法やうそ電話詐欺などのトラブルを防ぐ情報を、自分の身近な方に伝えることを主な活動とする「地域消費者サポーター」を育成するとともに情報提供を行った。	高齢者等の消費者被害の未然防止のため、より多くの方への周知・啓発を図る必要がある。	地域消費者サポーターが最新の消費者トラブルの情報を自分の身近な人に伝えていくことで、消費者被害の未然防止を図る。	消費生活センター
		(3年度) (4年度) (5年度) 登録者数(人) 188 191 220			

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																							
○その他高齢者にやさしいまちづくりの推進	・わがまち防犯カパワーアップ事業(R3年度廃止)	<p>防犯パトロール隊や青パト隊に対し、用品を支給する。(4年度から安心安全パートナーシップ事業へ移管)</p> <p>地区別防犯連絡会を開催する。4年度から地区別防犯連絡会廃止(全地域等での開催終了)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パトロール用品支給団体数(団体)</td> <td>7</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>青パト用品支給台数(台)</td> <td>16</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>開催地区</td> <td colspan="3">2地域・2地区</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	パトロール用品支給団体数(団体)	7	—	—	青パト用品支給台数(台)	16	—	—	開催地区	2地域・2地区				令和3年度廃止事業	安心安全課							
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																									
パトロール用品支給団体数(団体)	7	—	—																									
青パト用品支給台数(台)	16	—	—																									
開催地区	2地域・2地区																											
・安心安全パートナーシップ事業	<p>安心安全まちづくり市民大会を実施する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数(人)</td> <td>0</td> <td>450</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">※3年度は中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>防犯パトロール隊や青パト隊に対し、用品を支給する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パトロール用品支給団体数(団体)</td> <td>—</td> <td>24</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>青パト用品支給台数(台)</td> <td>—</td> <td>25</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	参加者数(人)	0	450	500	※3年度は中止					(3年度)	(4年度)	(5年度)	パトロール用品支給団体数(団体)	—	24	21	青パト用品支給台数(台)	—	25	36	<p>防災対策に関する安心安全意識の高揚が図られた。</p> <p>パトロール隊の自主的な活動の促進が図られた。</p>	<p>交通安全、防犯、防災対策を推進し、高齢者等の安心安全意識の高揚に努め、防犯、事故防止に携わる個人、団体が参加する地区別防犯連絡会を開催し、相互連携の強化等を図るとともに、防犯パトロール隊等の継続的な活動を支援するため、用品の支給を行う。</p>	安心安全課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																									
参加者数(人)	0	450	500																									
※3年度は中止																												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																									
パトロール用品支給団体数(団体)	—	24	21																									
青パト用品支給台数(台)	—	25	36																									
・安心安全教育指導員設置事業	<p>交通安全教室及び防犯教室を実施する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通安全教室参加者数(人)</td> <td>108</td> <td>423</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防犯教室参加者数(人)</td> <td>108</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	交通安全教室参加者数(人)	108	423		防犯教室参加者数(人)	108	0		高齢者の交通事故防止への意識高揚が図られた。	交通安全・防犯対策を推進し、高齢者の安心安全意識の高揚に努める。	安心安全課												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																									
交通安全教室参加者数(人)	108	423																										
防犯教室参加者数(人)	108	0																										
・交通バリアフリー基本構想推進事業	<p>高齢者・障害者団体の代表や学識経験者、公共交通事業者、道路管理者、公安委員会等で構成する会議を開催し、第三次交通バリアフリー基本構想を推進したほか、心のバリアフリーに関する講習会を開催した。</p> <p>5年度も引き続き、同構想の進捗管理を行うとともに、講習会を開催する。</p>	<p>第三次交通バリアフリー基本構想の推進を図ることによって、高齢者にやさしいまちづくりの推進に寄与している。</p>	<p>学識経験者や道路管理者、公安委員会、交通事業者等で構成する会議を開催し、第三次交通バリアフリー基本構想の推進を図る。</p>	交通政策課																								

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																												
3 災害・感染症対策の推進 (1)大規模災害や感染症など 危機事象への対策の推進 ○災害への対応	・介護事業所等への指導等 の実施 ※第8期計画から掲載	介護事業者等への指導等を通して、介護事業等で策定している災害対策に関する具体的計画や訓練等の実施、必要な物資の備蓄・調達状況を定期的に確認した。	(長寿あんしん課) 介護事業所等へ災害対策に関する通知を行い、災害対策の強化を促した。 (指導監査課) 介護事業者等への指導等を通して、介護事業等で策定している災害対策に関する具体的計画や訓練等の実施、必要な物資の備蓄・調達等について、指導・助言を行うことができた。	(長寿あんしん課) 今後も介護事業等で策定している災害対策に関する具体的計画や訓練等の実施、必要な物資の備蓄・調達の状況を定期的に確認する必要があることから、引き続き、介護事業者等への指導等を実施する。 (指導監査課) 引き続き、介護事業者等への指導等を通して、介護事業等で策定している災害対策に関する具体的計画や訓練等の実施、必要な物資の備蓄・調達の状況を定期的に確認する。	長寿あんしん課 指導監査課																												
	・介護老人福祉施設等整備 費補助事業(再) ※第8期計画から掲載	国の募集に合わせて募集し、防災・減災対策に係る施設整備を促進した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スプリンクラー設備</td> <td>2施設</td> <td>1施設</td> <td>0施設</td> </tr> <tr> <td>防災改修</td> <td>0施設</td> <td>3施設</td> <td>1施設</td> </tr> <tr> <td>非常用自家発電設備</td> <td>4施設</td> <td>0施設</td> <td>0施設</td> </tr> <tr> <td>給水設備整備</td> <td>0施設</td> <td>1施設</td> <td>0施設</td> </tr> <tr> <td>ブロック塀等改修整備</td> <td>4施設</td> <td>0施設</td> <td>0施設</td> </tr> <tr> <td>個室化改修</td> <td>1施設</td> <td>0施設</td> <td>0施設</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	スプリンクラー設備	2施設	1施設	0施設	防災改修	0施設	3施設	1施設	非常用自家発電設備	4施設	0施設	0施設	給水設備整備	0施設	1施設	0施設	ブロック塀等改修整備	4施設	0施設	0施設	個室化改修	1施設	0施設	0施設	災害発生時に自力で避難することが困難な者が多く利用する高齢者施設等の、防災・減災対策を推進する施設整備の促進が図られた。	今後も防災・減災対策に係る施設整備を促進する必要があることから、引き続き、国の募集に合わせて、施設整備の募集を行う。	長寿あんしん課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																														
スプリンクラー設備	2施設	1施設	0施設																														
防災改修	0施設	3施設	1施設																														
非常用自家発電設備	4施設	0施設	0施設																														
給水設備整備	0施設	1施設	0施設																														
ブロック塀等改修整備	4施設	0施設	0施設																														
個室化改修	1施設	0施設	0施設																														
	・避難行動要支援者避難支援等事業<4年度拡充>	避難行動要支援者名簿及び個別避難計画を作成し、消防や警察、町内会等の避難支援等関係者と情報共有を行った。 また、4年度にハザードマップ等と連携した要支援者管理システムを新たに導入した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数(人)</td> <td>13,346</td> <td>12,825</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>うち同意者(人)</td> <td>9,538</td> <td>8,845</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>不同意等(人)</td> <td>3,808</td> <td>2,713</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	登録者数(人)	13,346	12,825	—	うち同意者(人)	9,538	8,845	—	不同意等(人)	3,808	2,713	—	民生委員・町内会等による要支援者の状況把握が図られた。 今後の課題は、ハザードの状況など個別避難計画作成の優先度を踏まえ、更なる個別避難計画の作成に取組むことである。	ハザードの状況など個別避難計画作成の優先度を踏まえ、更なる個別避難計画の作成に取組むとともに、避難行動要支援者名簿情報等を避難支援等関係者と共有し、地域での要支援者の避難支援体制を整備していく。	危機管理課												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																														
登録者数(人)	13,346	12,825	—																														
うち同意者(人)	9,538	8,845	—																														
不同意等(人)	3,808	2,713	—																														
	・自主防災組織育成促進事業	地域の安全(高齢者も含めた地域住民の安全)を自分たちで守るという自主防災組織の結成及び活動促進を目的として、以下の支援を行う。 (1)結成時の資機材整備補助(10万円、1回限り) (2)組織結成後、過去5年以内に①の補助を受けていない組織が整備する資機材補助(7万円、1回限り) (3)組織が以下の防災訓練等を実施時に助成(2万円、年2回限り。ただし同じ訓練の場合は2回) ①単独で行う地域の防災訓練 ②他の組織や小中学校と連携し、複数で行う防災訓練 ③地域の防災マップの作成 ④避難行動要支援者の支援活動 ⑤危険箇所の防災点検の実施 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自主防災組織数(団体)</td> <td>629</td> <td>630</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>活動件数(補助金申請)(件)</td> <td>197</td> <td>188</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	自主防災組織数(団体)	629	630	—	活動件数(補助金申請)(件)	197	188	—	令和3・4年度は資機材整備補助件数は約15件で落ち着いているが、活動助成件数は200件弱で低迷している。背景としては、コロナ禍において、地域毎に住民が集まって実施する防災訓練や研修会を見合わせる自主防災組織が多かったためと推測(令和4年度はコロナウイルス感染症対策等のため8件がキャンセル。申請196件に対し実績188件となった)	自主防災組織のさらなる活動活性化を図るため、地区別防災研修会や市政出前トークなどで活動助成金の活用周知を行うとともに、地域安心安全推進指導員による指導、支援を引き続き行っていく。	危機管理課																
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																														
自主防災組織数(団体)	629	630	—																														
活動件数(補助金申請)(件)	197	188	—																														

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
○感染症への対応	・介護事業所等への指導等の実施(再) ※第8期計画から掲載	介護事業者等への指導等を通して、介護事業等で策定している感染症に係る対応策や訓練等の実施、必要な物資の備蓄・調達の状況を定期的に確認した。 (3年度) (4年度) (5年度) 新型コロナウイルス感染症に関する通知等の回数(回) 38 26 5	介護事業者等に感染症に関する通知や情報提供を行うとともに、必要な指導を行った。	今後も介護事業等で策定している災害対策に関する具体的計画や訓練等の実施、必要な物資の備蓄・調達の状況を定期的に確認する必要があることから、引き続き、介護事業者等への指導等を実施する。	長寿あんしん課 指導監査課
	・備蓄・調達・輸送体制の整備 ※第8期計画から掲載	感染症発生時において、衛生用品等の国内需給がひっ迫するなど介護事業所等において必要な物資の確保が困難な状況に備え、必要な物資を備蓄するとともに、国や県と連携し、調達・輸送体制の整備に努めた。 (3年度) (4年度) (5年度) 衛生用品配布事業所数 19事業所 28事業所 0事業所	介護事業所等で感染が発生した際に、衛生用品の速やかな配布を行うことで、感染拡大防止が図られた。	今後も感染症発生時において、衛生用品等の国内需給がひっ迫するなど介護事業所等において必要な物資の確保が困難な状況に備える必要があることから、引き続き、必要な物資を備蓄するとともに、国や県と連携し、調達・輸送体制の整備に努める。	長寿あんしん課
	・介護老人福祉施設等整備費補助事業(再) ※第8期計画から掲載	国・県の募集に合わせて募集し、感染症拡大防止のための施設整備を促進した。 (3年度) (4年度) (5年度) 3年度協議 4年度協議 5年度協議 簡易陰圧装置 0施設 5施設 0施設 個室化改修 0施設 0施設 0施設 換気設備 0施設 0施設 0施設 ゾーニング環境 2施設 3施設 1施設	補助事業者に補助金を交付することで、感染症拡大防止のための施設整備の促進が図られた。	今後も感染症拡大防止のための施設整備を促進する必要があることから、引き続き、国・県の募集に合わせて、施設整備の募集を行う。	長寿あんしん課
	・感染症予防医療事業 ※第8期計画から掲載	新たな感染症の流行や、大規模災害による感染症の集団発生時には疫学調査及び入院勧告、就業制限の実施や施設の消毒の指導などの対応を行ったほか、正しい感染症の予防及び感染拡大防止について普及啓発を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 消毒件数(件) 0 0 1	感染症の予防や感染拡大防止の普及啓発に努めてきており、感染症が発生した際には疫学調査等を実施することで感染拡大の防止が図られている。	感染症の予防及び感染拡大防止について普及啓発を行う。	感染症対策課
	・感染症に強いまちづくり推進事業	感染症に強い鹿児島市を目指して、医療機関等と構成する感染症に特化した対策協議会を開催するとともに、医療機関を対象とした研修会を開催する。 (3年度) (4年度) (5年度) (感染症対策医療機関連絡協議会)実施期間 - 12/26 8、10、2月(予定) (感染症実務研修会)実施期間 - 8/1～8/31 7/21～8/31 (感染管理講演会)実施期間 - (非開催年度) 11/1～11/30	(3年度) 新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての事業を中止した。 (4年度) 感染症対応実務研修会を感染症講演会(結核予防医療事業)と同時にWEB開催し、期間を長めに設定したことで各自の都合に合わせて参加することができた。	新たな感染症の流行に備えた、平常時からの医療機関の準備が重要となるため、感染症に強い鹿児島市を目指して、市内医療機関の協力体制を築くための取組を推進する。	感染症対策課
	・新型インフルエンザ等対策行動計画推進事業 ※第8期計画から掲載	鹿児島市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、感染症の発生時に感染拡大を抑制し、市民の生命・健康を保護するとともに、市民生活・経済に及ぼす影響を最小とさせるため、新型インフルエンザ等対策を推進した。	鹿児島市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の抑制が図られた。	鹿児島市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、感染症の発生時に感染拡大を抑制し、市民の生命・健康を保護するとともに、市民生活・経済に及ぼす影響を最小とさせるため、対策を推進する。	保健政策課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
第3章 認知症対策・権利擁護の推進 1 認知症の人やその家族への支援の充実 (1) 認知症に関する理解の促進や情報提供 ○ 認知症に関する理解の促進や情報提供	・認知症ケアパスの普及	認知症の人が住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、認知症の状況に応じた適切な医療や介護サービスの提供の流れを示した認知症ケアパスの普及に努めた。 (3年度) (4年度) (5年度) ケアパス作成部数(部) 2,000 0 3,500 (2年に1回作成)	市民向け講演会や市政出前トークなどで認知症ケアパスを活用することで、認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供について周知が図られている。	認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って、地域のよい環境で自分らしく暮らし続けるために、認知症への社会の理解を深めるとともに、本人に必要なサービスがつながるよう適切な情報を提供する必要がある。 高齢者等実態調査結果によると、「認知症に関する相談窓口を知らない」という人が約5割を占めることや、「早期発見の目安、症状」についての関心が高いこと、また、約6割の人が「スマートフォン等を持っていて、毎日使用している。」と回答していることなどから、 <u>望まれる情報をより多くの人に伝達できるような手段等の改善を図りながら、認知症ケアパスの普及に努めていく必要がある。</u>	認知症支援室
	・相談窓口の周知・広報 ※第8期計画から掲載	認知症ケアパスやリーフレット、ホームページ等を活用し、相談窓口の周知・広報を図った。	認知症ケアパスの簡易版であるリーフレットを3年度から作成した。認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供について周知が図られている。	(同上:~手段等の改善を図りながら、)相談窓口の周知・広報に努めていく必要がある。	認知症支援室
	・世界アルツハイマー月間に合わせたイベントの開催 ※第8期計画から掲載	世界アルツハイマー月間に合わせ、講演会や相談会等を開催し、認知症に関する普及啓発を図る。 (3年度) (4年度) (5年度) 開催回数(回) 0 1 1	認知症ケアパスを活用した市民向け講演会を開催したことで、認知症への適切な治療、対応、支援に関して理解が図られた。	<u>市民の間に広く認知症についての関心と理解を深めるため、引き続き、世界アルツハイマー月間に合わせ、講演会や相談会等を開催し普及啓発を図る。</u>	認知症支援室
	・シニア世代のヘルスマーモーション事業(認知症予防教室)	認知症予防についての講演会、健康教育を実施した。 ○ 認知症・うつ予防教室等 (3年度) (4年度) (5年度) 開催回数(回) 12 20 2 参加者数(人) 313 447 500	認知症への理解を図るための教室として保健センターで健康講座を実施しており、講演会後の個別相談も実施することで、高齢者の健康に対する正しい知識の習得や健康づくりに寄与した。	引き続き、認知症予防についての講演会、健康教育を実施する。	保健予防課
	・お達者クラブ運営支援事業(再)	地域の身近な公民館等で地域ボランティア等の協力を得て、体操や健康講座、創作活動、認知症予防などの介護予防活動を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 実施か所(か所) 205 195 200 参加者数(人) 4,735 4,257 5,000	地域の実情により、実施箇所数は減少傾向にあるが、身近な公民館等で認知症に関する理解の促進や情報提供を行い、高齢者の介護予防と社会参加の推進に寄与した。	引き続き、地域の身近な公民館等で地域ボランティア等の協力を得て、体操や健康講座、創作活動、認知症予防などの介護予防活動を行う。	保健予防課
	・すこやかか長寿健康支援事業(再)	高齢者への個別的支援や通いの場等において医療専門職による健康教育・健康相談を実施した。 ○ 高齢者に対する個別的支援(ハイリスクアプローチ) (3年度) (4年度) (5年度) 実人数(人) 1,407 2,904 1,852 延人数(人) 2,145 4,478 3,704 ○ 通いの場等への積極的な関与(ポピュレーションアプローチ) (3年度) (4年度) (5年度) 人数(人) 32,128 35,136 13,290	高齢者への個別的支援や通いの場等において医療専門職による健康教育・健康相談を実施し、認知症に関する理解の促進や情報提供を行うことで、市民の健康の保持増進に寄与した。	高齢者への個別的支援や通いの場等において医療専門職による健康教育・健康相談を実施する。	保健予防課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																
	・認知症オレンジサポーター養成事業(認知症サポーターの養成、認知症介護教室)	認知症に関する正しい知識の普及や、認知症の人と家族への支援を推進するため、認知症サポーターを養成するとともに、認知症介護教室を実施した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>講座開催回数(回)</td> <td>70</td> <td>65</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>サポーター養成数(人)</td> <td>2,075</td> <td>1757</td> <td>4841</td> </tr> <tr> <td>介護教室開催回数(回)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	講座開催回数(回)	70	65	120	サポーター養成数(人)	2,075	1757	4841	介護教室開催回数(回)	2	2	2	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、受講者数の減少傾向が続いてきたが、市民のひろば等で受講者を募集する「公開講座」については、受講者数も回復基調にある。 一方で町内会や福祉事業所等からの要請を受けて開催する「出前講座」等については、要請件数や1回あたりの受講人数が伸び悩んでいる。	認知症基本法により、認知症に関する正しい知識及び理解を深めることが国民の責務とされたことや、国及び地方公共団体は学校教育及び社会教育における認知症に関する教育の推進等に向けた施策を講ずるとされたことを受け、引き続き、認知症サポーター養成及び認知症介護教室等の実施に取り組む。	認知症支援室
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
講座開催回数(回)	70	65	120																		
サポーター養成数(人)	2,075	1757	4841																		
介護教室開催回数(回)	2	2	2																		
	・市政出前トークを活用した普及啓発 ※第8期計画から掲載	市政出前トークを活用し、認知症の人も住み慣れた地域で暮らし続けられる地域づくりについて、普及啓発を図った。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>出前トーク(回)</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	出前トーク(回)	10	5	6	認知症の人も住み慣れた地域で暮らし続けられる様、認知症についての理解や施策について市政出前トークを活用し、認知症に関する理解の促進や情報提供を行うことが出来ている。	引き続き、市政出前トークを活用し、認知症の人も住み慣れた地域で暮らし続けられる地域づくりについて、普及啓発を図る。	認知症支援室								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
出前トーク(回)	10	5	6																		
	・福祉読本作成事業(再)	高齢社会や福祉に対する理解促進を図るため、小学校高学年を対象に福祉読本「ふれあい」を配付した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>小学校高学年用(部)</td> <td>6,350</td> <td>6,400</td> <td>冊子500部 CD100枚</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	小学校高学年用(部)	6,350	6,400	冊子500部 CD100枚	高齢者や障がい者への正しい認識と理解を深めてもらうよう図った。	高齢社会や福祉に対する理解促進を図るため、継続して事業を実施する。	長寿支援課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
小学校高学年用(部)	6,350	6,400	冊子500部 CD100枚																		
○認知症に関する介護サービスの情報提供	・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)等の情報提供	グループホームなどの介護保険サービス事業者等が記載された指定事業所一覧を作成し、ホームページ等での市民等への情報提供を行った。	各面からの情報提供により、サービス利用者とその家族、また介護保険事業者への制度の周知が図られている。	引き続き、ホームページ等で事業所の情報を提供する。	介護保険課																
(2)認知症の人やその家族を支える支援体制の構築 ○医師や精神保健福祉相談等による相談、訪問指導	・認知症施策推進事業(認知症介護の電話相談)	認知症に関する知識の普及・啓発を行うとともに、介護家族等の精神的な負担軽減を図るため、電話相談を実施した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>相談実績(件)</td> <td>232</td> <td>155</td> <td>37 5月末時点</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	相談実績(件)	232	155	37 5月末時点	介護経験者が相談を受けており、相談者の悩みに寄り添って対応することで、精神的な負担の軽減が図られている。	相談員が対応できる件数にはまだ余裕があるため、介護に悩んでいるより多くの方にご利用いただけるよう、更なる周知・広報に努めながら、電話相談業務を継続する必要がある。	認知症支援室								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
相談実績(件)	232	155	37 5月末時点																		
	・認知症初期集中支援推進事業	認知症の人が住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を地域包括支援センターに配置し、早期診断・対応に向けた支援を行った。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>配置チーム数</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>訪問支援対象者数(人)</td> <td>59</td> <td>53</td> <td>72</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	配置チーム数	17	17	17	訪問支援対象者数(人)	59	53	72	認知症の初期時点において集中的に対応することで、早期診断等に向けた支援が行えている。R2年度からチーム会議が定例開催となり、複数チームが合同で参加出来ることで、他の事例も共有され、認知症ケアの質の向上が図られている。	引き続き、認知症の人が住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援支援チーム」を地域包括支援センターに配置し、認知症の早期診断・対応に向けた支援を行う。 なおR5年度は、認知症サポート医も増加していることから、認知症専門医の再選定によりチーム専門医の充実を図る。	認知症支援室				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
配置チーム数	17	17	17																		
訪問支援対象者数(人)	59	53	72																		
	・精神保健福祉推進事業(精神保健福祉相談)	精神疾患やその治療及び自立と社会参加についての相談、訪問指導を実施した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>相談件数(件)</td> <td>13,496</td> <td>12,967</td> <td>12,967</td> </tr> <tr> <td>訪問指導件数(件)</td> <td>683</td> <td>436</td> <td>436</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	相談件数(件)	13,496	12,967	12,967	訪問指導件数(件)	683	436	436	相談及び訪問の実施により、市民のメンタルヘルスの保持・増進が図られている。	引き続き、精神疾患やその治療及び自立と社会参加についての相談、訪問指導を実施する。	保健支援課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
相談件数(件)	13,496	12,967	12,967																		
訪問指導件数(件)	683	436	436																		

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
○地域における支援体制の構築	・認知症施策推進事業(認知症地域支援推進員及び嘱託医の設置)	認知症の人や家族の支援体制の構築と認知症ケアの向上を図るため、認知症地域支援推進員を中心に、認知症の医療と介護の連携強化を図った。 (3年度) (4年度) (5年度) 推進員配置数(人) 3 3 3 嘱託医配置数(人) 3 3 3	3年度に認知症地域支援推進員を増員し、医療・介護機関等への訪問や会議出席することで、認知症に関わる医療と介護の連携強化、地域における支援体制の構築を図った。	引き続き、認知症の人や家族の支援体制の構築と認知症ケアの向上を図るため、認知症地域支援推進員及び嘱託医を配置し、医療と介護の連携強化を図る。	認知症支援室
	・認知症オレンジサポーター養成事業(認知症等見守りメイトの養成)	認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを推進するため、認知症等見守りメイトの養成に努めるとともに、見守り活動に関する周知広報を図った。 (3年度) (4年度) (5年度) 講座開催回数(回) 2 2 2 メイト養成数(人) 85 71 90	認知症等見守りメイトを養成することにより、地域における認知症の人や家族への支援体制が構築されている。	引き続き、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを推進するため、認知症等見守りメイトの養成に努めるとともに、認知症等見守りメイトが、認知症と思われる高齢者等の見守りや家族への支援体制の構築を図る。	認知症支援室
	・チームオレンジの設置 ※第8期計画から掲載	認知症の人とその家族、認知症サポーター(地域住民や多職種)で構成し、近隣チームにおいて早期から継続支援を行うチームオレンジの設置に向けて検討した。 (5年度) チームオレンジ設置数 3	チームオレンジ設置に向けた検討を行い、各地域の実情等を把握し、モデル地区の検討を行った。	認知症の人やその家族等が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らし続けられる地域づくりを推進するため、地域において早期から支援を行うチームオレンジを段階的に整備するとともに、同チームによる活動を通じて社会参加への支援等を図る。	認知症支援室
	・高齢者見守り支援事業	継続して実施するとともに、制度の周知を図った。 (3年度) (4年度) (5年度) 利用人数(人) 0 4 10	位置情報サービスの利用を促進したことで、家族が安心して介護できる環境整備を図った。更なる周知・広報が必要である。	認知症高齢者やその疑いがある人の事故防止と、家族が安心して介護できる環境整備を図るため、継続して実施するとともに、制度の周知を図る。	認知症支援室
	・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)等の整備	本計画に基づき施設整備事業者を募集し、グループホームの整備を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 選定数(床) 54 36 36(予定)	グループホームの計画的整備により、待機者の一定の解消が図られている。	今後もグループホームの整備を行う必要があることから、引き続き、本計画に基づき施設整備事業者を募集する。	長寿あんしん課
	・認知症あんしんサポート事業	市のLINE公式アカウントを活用し、認知症などにより行方不明となった事前登録者の情報を協力サポーターに配信することにより、行方不明者の早期発見につなげる仕組みを構築した。 (3年度) (4年度) (5年度) 事前登録者数(人、累計) 31 78 82 協力サポーター数(人、累計) 822 2,561 2,709 5月末時点	事前登録者、協力サポーターの増加を図るために、医療・介護・福祉関係団体等への登録呼びかけ等により、登録者の増加を図るとともに、サポーター養成講座等の情報配信等を行い、早期発見につなげる仕組みの構築を図った。	認知症基本法で規定された日常生活や社会生活を営む基盤となるサービスの提供事業者への責務に基づき、公共交通事業者や金融機関などに協力依頼を行うなど、事業効果を高めるため、協力サポーターの更なる登録促進等に努める。	認知症支援室
	・はいかい老人SOSネットワークシステム(県警実施)との連携	警察署と情報交換を行い、連携を図った。	関係機関との連携が図られている。	引き続き、警察署と情報交換を行い、連携を図る。	認知症支援室

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
2 高齢者の権利擁護の推進 (1)成年後見制度等の利用促進 ○成年後見制度等の利用促進	・成年後見制度利用支援事業	継続して実施するとともに、制度の周知を図った。 市長申立て件数(件) 3年度 32 4年度 32 5年度 47	認知症高齢者等の保護及び制度の利用促進が図られた。	認知症の人が、基本的人権を享受する個人として、自らの意思によって日常生活及び社会生活を営むことができるよう、継続して後見制度の利用支援を実施するとともに、制度の周知を図る。	認知症支援室
	・成年後見制度利用促進事業<4年度拡充>	認知症や知的・精神障害などにより成年後見人等による支援が必要な方を適切に成年後見制度の利用につなげるため、成年後見センターを運営し、制度の利用促進を図った。 相談件数 3年度 817件 4年度 842件 5年度 207 5月末時点	成年後見制度の利用促進が図られた。	認知症の人が、基本的人権を享受する個人として、自らの意思によって日常生活及び社会生活を営むことができるよう、継続して成年後見センターを運営するとともに、段階的に機能を拡充しながら成年後見制度の更なる利用促進を図る。	認知症支援室
	・福祉サービス利用支援事業の広報・案内	県社会福祉協議会と連携を図り、制度の広報・案内等を進めた。	制度の広報・案内等を進めることで、県社会福祉協議会との連携が図られている。	引き続き県社会福祉協議会と連携を図り、制度の広報・案内等を進める。	認知症支援室
(2)高齢者虐待の防止 ○高齢者虐待防止対策の推進	・高齢者虐待防止ネットワーク推進事業	関係機関で構成する高齢者虐待防止ネットワーク協議会における連携体制の強化を図るとともに、高齢者虐待の防止や早期発見、高齢者や養護者への支援を行った。 協議会開催回数(回) 3年度 3 4年度 3 5年度 3 相談対応件数(件) 216 193 190	高齢者虐待に対する関係機関の連携強化や市民に対する周知広報が図られている。	引き続き、関係機関で構成する高齢者虐待防止ネットワーク協議会における連携体制の強化を図るとともに、高齢者虐待の防止や早期発見、高齢者や養護者への支援を行う。	認知症支援室
	・高齢者虐待防止研修会の開催 ※第8期計画から掲載	介護事業所等を対象に、高齢者虐待の防止や早期発見に役立てる高齢者虐待防止研修会を開催し、従事者等の資質向上を図った。 研修会開催回数(回) 3年度 1 4年度 1 5年度 1	介護事業所等に対し研修の機会を提供し、高齢者虐待に関する正しい知識や介護技術等、従事者への資質向上が図られている。	引き続き、介護事業所等を対象に、高齢者虐待の防止や早期発見に役立てる高齢者虐待防止研修会を開催し、従事者等の資質向上を図る。	認知症支援室
	・介護事業所等への指導等の実施(再)	高齢者虐待防止に関する周知を行うとともに、介護事業者等への指導等を通して、高齢者虐待防止のための取組状況を定期的に確認した。	(長寿あんしん課) 指定更新時や、変更届の提出時等に運営規程を確認し、「虐待の防止のための措置に関する事項」を定めていない事業者に対しては、早期に定めるよう指導を行った。 (認知症支援室) 介護事業者等への指導等を通して、高齢者虐待防止に関する周知を行うとともに、取組状況の確認を行なっている。 (指導監査課) 高齢者虐待防止に関する周知を行うとともに、介護事業者等への指導等を通して、高齢者虐待防止のための取組状況等について、指導・助言を行うことができた。	(長寿あんしん課) 今後も高齢者虐待防止のための取組状況を定期的に確認する必要があることから、引き続き、高齢者虐待防止に関する周知を行うとともに、介護事業者等への指導等を実施する。 (認知症支援室) 引き続き、介護事業所等を対象に、高齢者虐待の防止や早期発見に役立てる高齢者虐待防止研修会を開催し、従事者等の資質向上を図る。 (指導監査課) 引き続き、高齢者虐待防止に関する周知を行うとともに、介護事業者等への指導等を通して、高齢者虐待防止のための取組状況を定期的に確認する。	長寿あんしん課 認知症支援室 指導監査課
○地域包括支援センターによる権利擁護の推進	・地域包括支援センターによる権利擁護の推進	認知症などにより判断能力の低下した高齢者が適切な権利を行使できるよう、成年後見制度などの権利擁護事業について普及・啓発の取組を行い、必要に応じて各種専門機関へつなげるとともに、高齢者虐待の早期発見、防止に努めた。	高齢者等の権利擁護の相談窓口として、相談支援や必要な専門機関につなぐなど、高齢者の権利擁護が図られている。	引き続き、認知症などにより判断能力の低下した高齢者が適切な権利を行使できるよう、成年後見制度などの権利擁護事業について普及・啓発の取組を行い、必要に応じて各種専門機関へ繋げるとともに、高齢者虐待の早期発見、防止に努める。	認知症支援室

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
第4章 介護予防・地域支援体制の充実 1 介護予防・健康づくりの推進 (1)介護予防の充実 ○介護予防・生活支援サービス事業の充実	・訪問型サービス事業	要支援者等を対象に訪問型サービスを提供し、高齢者の自立支援と介護予防を推進した。 (3年度) (4年度) (5年度) 利用件数(件) 26,769 25,824 30,833	要支援者等に対する訪問型サービスに要する費用の支給を行ったことにより、要支援者等の日常生活の支援が図られた。 訪問型サービス全体の利用件数に関しては、新型コロナウイルスの影響による利用者の利用控え等の理由により、減少している。	今後も高齢者の自立支援と介護予防を推進する必要があることから、引き続き、要支援者等を対象に訪問型サービスを提供する。	長寿あんしん課
	・通所型サービス事業	要支援者等を対象に通所型サービスを提供し、高齢者の自立支援と介護予防を推進した。 (3年度) (4年度) (5年度) 利用件数(件) 64,152 63,569 75,663	要支援者等に対する通所型サービスに要する費用の支給を行ったことにより、要支援者等の日常生活の支援が図られた。 通所型サービス全体の利用件数に関しては、新型コロナウイルスの影響による利用者の利用控え等の理由により、減少している。	今後も高齢者の自立支援と介護予防を推進する必要があることから、引き続き、要支援者等を対象に通所型サービスを提供する。	長寿あんしん課
	・短期集中運動型サービス検討事業<5年度拡充>	要支援者等の自立支援及び重度化防止を目的とするリハビリテーション提供体制の充実や社会参加の促進を図るため、短期集中運動型サービスの検討を行った。	要支援者等の自立支援や社会参加の促進を図るため、現行の運動型通所サービス利用者のデータの分析やヒアリング調査等を実施し、その結果を踏まえた短期集中運動型サービスを検討した。	今後も要支援者等の自立支援及び重度化防止を目的とするリハビリテーション提供体制の充実や社会参加の促進を図る必要があることから、引き続き、短期集中運動型サービスの検討を行う。	長寿あんしん課
	・訪問型短期集中予防サービス(訪問型個別支援)事業	要支援者等で認知症・うつ・閉じこもりにより通所型サービスの利用が困難な者に、訪問による個別支援を実施し、高齢者の自立支援と介護予防を推進した。 (3年度) (4年度) (5年度) 訪問実人数(人) 15 12 17 訪問延人数(人) 49 38 74	要支援者等で認知症・うつ・閉じこもりにより通所型サービスの利用が困難な者に、訪問による個別支援を行ったことにより、通所型サービスの利用につながる等、介護予防が促進された。	今後も高齢者の自立支援と介護予防を推進する必要があることから、引き続き、要支援者等で認知症・うつ・閉じこもりにより通所型サービスの利用が困難な者に、訪問による個別支援を実施する。	長寿あんしん課
	・訪問型住民主体サービス事業	高齢者を地域全体で支える体制づくりを進めるため、要支援者等の生活援助を行うボランティア団体に対して補助金を交付した。 (3年度) (4年度) (5年度) 補助金交付団体数 16 16 23	要支援者等の生活援助を行うボランティア団体を対象に補助を行うことで、要支援者等の日常生活の支援が図られた。 また、4年度から活動に対する奨励金を補助金の交付対象経費に加えたことで、活動者をねぎらうとともに、団体の活動に意欲的に参加して頂くことができた。	今後も高齢者を地域全体で支える体制づくりを進める必要があることから、引き続き、要支援者等の生活援助を行うボランティア団体に対して補助金を交付する。	長寿あんしん課
○一般介護予防事業の充実	・短期集中予防サービス(口腔機能向上・栄養改善)事業	要支援者や事業対象者を対象に、口腔機能向上・栄養改善サービスを通所または訪問で提供し、高齢者の自立支援と介護予防を推進した。 (3年度) (4年度) (5年度) 通所実人数(人) 4 3 10 通所延人数(人) 9 18 60 訪問実人数(人) 8 6 10 訪問延人数(人) 31 24 60	本事業について評価を行った結果、栄養改善については、BMIの改善・維持及び食事内容の改善、口腔機能向上については、基本チェックリスト3項目の改善や口腔機能状況の維持・改善とそれぞれ効果がみられたが、利用者が少ないことが課題である。	廃止予定事業	保健予防課
	・介護予防把握事業	アンケート調査により、閉じこもり等の何らかの支援を要する高齢者を把握し、介護予防活動への参加を促進するとともに、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の対象者把握にも活用した。 (3年度) (4年度) (5年度) 調査票発送数(件) 15,473 17,200 17,214	アンケート調査により、閉じこもり等の何らかの支援を要する高齢者を把握し、介護予防活動への参加を促進し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の対象者把握にも活用することができた。	今後も介護予防活動への参加を促進するとともに、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の対象者把握にも活用する必要があることから、引き続き、アンケート調査により、閉じこもり等の何らかの支援を要する高齢者を把握する。	長寿あんしん課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																				
	・シニア世代のヘルスプロモーション事業	65歳以上の高齢者を対象に、介護予防、生活習慣病予防の啓発のための健康教育や個別の相談を実施した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>健康教育開催回数(回)</td> <td>130</td> <td>122</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>健康教育実施人数(人)</td> <td>2,950</td> <td>2,448</td> <td>1,540</td> </tr> <tr> <td>健康相談回数(回)</td> <td>185</td> <td>172</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>健康相談人数(人)</td> <td>1,602</td> <td>1,604</td> <td>2,700</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	健康教育開催回数(回)	130	122	59	健康教育実施人数(人)	2,950	2,448	1,540	健康相談回数(回)	185	172	180	健康相談人数(人)	1,602	1,604	2,700	65歳以上の高齢者を対象に、介護予防、生活習慣病予防の啓発のための健康教育や個別の相談を実施し、高齢者の健康に対する正しい知識の習得や健康づくりに寄与した。	引き続き、65歳以上の高齢者を対象に、介護予防、生活習慣病予防の啓発のための健康教育や個別の相談を実施する。	保健予防課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
健康教育開催回数(回)	130	122	59																						
健康教育実施人数(人)	2,950	2,448	1,540																						
健康相談回数(回)	185	172	180																						
健康相談人数(人)	1,602	1,604	2,700																						
	・一般介護予防(口腔・栄養・運動)複合教室事業	高齢者の疾病予防・介護予防等を推進するため、口腔機能向上、栄養改善、運動器機能向上を目的とした複合教室を実施した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>開催か所数(か所)</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>実施実人数(人)</td> <td>50</td> <td>36</td> <td>80</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	開催か所数(か所)	4	4	4	実施実人数(人)	50	36	80	本事業について評価を行った結果、栄養面では、9割を超える参加者がバランスよく食べるようにしている、たんぱく質を含む食品を取ることに意識していると回答し、口腔機能の面では、約9割の参加者が噛むことや飲み込むことを意識するようになったと回答した。本事業を通して参加者の行動変容に繋げることは出来たが、利用者が少ないことが課題である。	引き続き、高齢者の疾病予防・介護予防等を推進するため、口腔機能向上、栄養改善、運動器機能向上を目的とした複合教室を実施する。	保健予防課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
開催か所数(か所)	4	4	4																						
実施実人数(人)	50	36	80																						
	・地域リハビリテーション活動支援事業	よかよか元気クラブやお達者クラブ、高齢者クラブ等へ、リハビリ専門職を派遣し、介護予防に資する知識の普及等を行った。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>実施回数(回)</td> <td>768</td> <td>920</td> <td>1,013</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	実施回数(回)	768	920	1,013	理学療法士等のリハビリテーション専門職が、地域の「通いの場」等において、集団及び個別指導を実施するなど、介護予防の取組に寄与した。	引き続き、よかよか元気クラブやお達者クラブ、高齢者クラブ等へ、リハビリ専門職を派遣し、介護予防に資する知識の普及等を行う。	保健予防課												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
実施回数(回)	768	920	1,013																						
	・お達者クラブ運営支援事業	地域の身近な公民館等で地域ボランティア等の協力を得て、体操や健康講座、創作活動、認知症予防などの介護予防活動を行った。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>実施か所(か所)</td> <td>205</td> <td>195</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>参加者数(人)</td> <td>4,735</td> <td>4,257</td> <td>5,000</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	実施か所(か所)	205	195	200	参加者数(人)	4,735	4,257	5,000	地域の実情により、実施箇所数は減少傾向にあるが、身近な公民館等で地域ボランティア等の協力を得て、体操や健康講座、創作活動、認知症予防等の介護予防活動を行い、高齢者の介護予防と社会参加の推進に寄与した。	引き続き、地域の身近な公民館等で地域ボランティア等の協力を得て、体操や健康講座、創作活動、認知症予防などの介護予防活動を行う。	保健予防課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
実施か所(か所)	205	195	200																						
参加者数(人)	4,735	4,257	5,000																						
	・健康づくり推進員支援事業	介護予防のために実施するお達者クラブの運営等を行う健康づくり推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行った。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>養成者数(人)</td> <td>38</td> <td>25</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>活動推進員数(人)</td> <td>391</td> <td>370</td> <td>400</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	養成者数(人)	38	25	50	活動推進員数(人)	391	370	400	お達者クラブの運営を行う健康づくり推進員を養成するとともに、推進員の研修会、連絡会を開催し、協議会の育成支援を行うことにより、助け合い支えあう地域づくりの推進に寄与した。	引き続き、介護予防のために実施するお達者クラブの運営等を行う健康づくり推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行う。	保健予防課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
養成者数(人)	38	25	50																						
活動推進員数(人)	391	370	400																						
	・よかよか元気クラブ活動支援事業	介護予防の地域展開を目指し、よかよか元気クラブの拡大に向けた普及啓発を行い活動を支援した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>実施か所(か所)</td> <td>199</td> <td>223</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>参加者数(人)</td> <td>3,606</td> <td>3,862</td> <td>5,400</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	実施か所(か所)	199	223	300	参加者数(人)	3,606	3,862	5,400	誰もが参加できる介護予防活動の地域展開を目指し、鹿児島よかよか体操やらくらく体操を中心とした活動を推進し、介護予防活動に寄与した。	引き続き、介護予防の地域展開を目指し、よかよか元気クラブの拡大に向けた普及啓発を行い活動を支援する。	保健予防課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
実施か所(か所)	199	223	300																						
参加者数(人)	3,606	3,862	5,400																						

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																
	・高齢者いきいきポイント推進事業(再)	<p>高齢者が市社会福祉協議会が募集・管理するボランティア活動等や健康診査の受診に対して、換金等が可能なポイントを付与することで、高齢者の生きがいがづくりや介護予防を推進した。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>登録者数(人)</td> <td>1,337</td> <td>1286</td> <td>1438</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	登録者数(人)	1,337	1286	1438	登録者数に関しては、新規登録者数は3、4年度と比較して増加したものの、登録者の内、要介護認定を受けたことや死亡したことで登録資格を失った者が新規登録者数を上回ったことで減少した。	今後も高齢者の生きがいがづくりや介護予防を推進する必要があることから、登録者の増加を図ることに留意しつつ、引き続き、高齢者が行う市社会福祉協議会が募集、管理するボランティア活動等や健康診査の受診に対して、換金等が可能なポイントを付与する当該事業を推進する。	長寿あんしん課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
登録者数(人)	1,337	1286	1438																		
	・高齢者料理教室支援事業	<p>食生活改善推進員が実施する高齢者を対象とした料理教室を支援することにより、高齢者が低栄養状態に陥ることを予防した。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>実施回数(回)</td> <td>143</td> <td>220</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>参加延人員(人)</td> <td>1,298</td> <td>2,133</td> <td>2,000</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	実施回数(回)	143	220	200	参加延人員(人)	1,298	2,133	2,000	食生活改善推進員による料理教室の関心が高く、対象者に好評であり、参加者の約7割が減塩に心がけるようになった。高齢者の健康づくり、低栄養予防のための献立を地域で伝え、食への関心を深めた。	引き続き、食生活改善推進員が実施する高齢者を対象とした料理教室を支援することにより、高齢者が低栄養状態に陥ることを予防する。	保健予防課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
実施回数(回)	143	220	200																		
参加延人員(人)	1,298	2,133	2,000																		
	・高齢者のしおり作成事業	<p>高齢者の保健福祉サービスに関する施策及び健康づくりのポイントや介護予防に資する基本的な知識などをわかりやすく掲載した「輝きライフ」を配布した。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>発行部数(部)</td> <td>17,000</td> <td>0</td> <td>15,000</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	発行部数(部)	17,000	0	15,000	高齢者に対する保健・福祉サービスおよび介護保険サービスに関する知識などの周知・広報が図られた。	高齢者に対する保健・福祉サービスおよび介護保険サービスを広く紹介するものであり、隔年おきに作成していく。	長寿支援課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
発行部数(部)	17,000	0	15,000																		
○介護予防推進のための体制づくり	・地域包括支援センターの機能強化(再)＜5年度拡充＞	<p>地域包括ケアの中核機関である地域包括支援センターが、その機能を最大限発揮でき、高齢者等がより身近に利用できるような体制整備と環境づくりを図った。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>職員数(人)</td> <td>117</td> <td>118</td> <td>120</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	職員数(人)	117	118	120	高齢者人口の推移や業務の実態を把握する中で、適正な人員配置を行い、地域包括支援センターの機能強化を図ることができた。	今後も地域包括ケアの中核機関である地域包括支援センターが、その機能を最大限発揮でき、高齢者等がより身近に利用できるような体制整備と環境づくりを図る必要があることから、引き続き、適正な人員配置を行い、地域包括支援センターの機能強化を図る。	長寿あんしん課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
職員数(人)	117	118	120																		
	・地域ケア会議等の開催(再)	<p>様々な社会資源が連携することができる環境整備を行うとともに、多職種協働によるネットワークを構築するため、地域ケア会議等を開催した。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>地域ケア会議開催回数(回)</td> <td>200</td> <td>186</td> <td>200</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	地域ケア会議開催回数(回)	200	186	200	地域の多職種で地域課題の抽出・解決に伴う意見交換や個別事例の解決・支援を行うことにより、多職種協働によるネットワークの構築が図られている。	今後も社会資源が連携することができる環境整備を行う必要があることから、引き続き、地域ケア会議を開催し、多職種協働によるネットワークを構築する。	長寿あんしん課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
地域ケア会議開催回数(回)	200	186	200																		
	・生活支援体制整備事業(再)	<p>生活支援コーディネーターを地域包括支援センターに配置し、介護予防・生活支援サービス事業者協議会を開催するとともに、センター職員と連携しながら、訪問型住民主体サービス従事者を対象とした研修を実施する等生活支援の担い手の養成等を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>コーディネーター数(人)</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>協議会(市域版)開催回数(回)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>協議会(圏域版)開催回数(回)</td> <td>51</td> <td>51</td> <td>51</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	コーディネーター数(人)	4	4	4	協議会(市域版)開催回数(回)	2	2	2	協議会(圏域版)開催回数(回)	51	51	51	協議会の開催を通じて、多様な主体間で生活支援サービスの充実に関する協議・情報共有を行えたほか、生活支援コーディネーターを各ブロックに配置することで、多様な主体による取組みのコーディネート機能を担い、介護予防・生活支援サービス従事者研修会や支えあい活動従事者研修会の開催、支えあい活動補助金を通じた生活支援の担い手の養成が図られている。	今後も生活支援の担い手の養成等を行う必要があることから、引き続き、生活支援コーディネーターを地域包括支援センターに配置し、介護予防・生活支援サービス事業者協議会を開催するとともに、センター職員と連携しながら、訪問型住民主体サービス従事者を対象とした研修を実施する。	長寿あんしん課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
コーディネーター数(人)	4	4	4																		
協議会(市域版)開催回数(回)	2	2	2																		
協議会(圏域版)開催回数(回)	51	51	51																		

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																								
○65歳未満を対象とした介護予防	・生活習慣改善支援事業(再)	生活習慣病の予防、健康増進、介護予防等について、正しい知識の普及を図る各種健康教育・健康相談を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康教育実施回数(回)</td> <td>372</td> <td>350</td> <td>555</td> </tr> <tr> <td>健康教育参加者数(人)</td> <td>5,537</td> <td>5,902</td> <td>16,300</td> </tr> <tr> <td>健康相談実施回数(回)</td> <td>310</td> <td>275</td> <td>380</td> </tr> <tr> <td>健康相談実施人員(人)</td> <td>768</td> <td>596</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	健康教育実施回数(回)	372	350	555	健康教育参加者数(人)	5,537	5,902	16,300	健康相談実施回数(回)	310	275	380	健康相談実施人員(人)	768	596	1,000	生活習慣病の発症・重症化予防、介護予防等について正しい知識の普及を図り、生涯を通じた健康づくりができるよう、専門職が集団健康教育や個別の健康相談を行うことで、市民の健康の保持増進に寄与した。	引き続き、生活習慣病の予防、健康増進、介護予防等について、正しい知識の普及を図る各種健康教育・健康相談を実施する。	保健予防課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																										
健康教育実施回数(回)	372	350	555																										
健康教育参加者数(人)	5,537	5,902	16,300																										
健康相談実施回数(回)	310	275	380																										
健康相談実施人員(人)	768	596	1,000																										
	・個別保健指導事業(再)	疾病予防、介護予防等の観点から、保健指導が必要であると認められる者及び家族等に対し、保健師等が家庭訪問や電話・文書等により、必要な保健指導を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問支援実人員(人)</td> <td>2,782</td> <td>2,287</td> <td>2,160</td> </tr> <tr> <td>訪問支援延人員(人)</td> <td>2,828</td> <td>2,307</td> <td>2,260</td> </tr> <tr> <td>電話等の支援実人員(人)</td> <td>1,795</td> <td>1,309</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>電話等の支援延人員(人)</td> <td>2,480</td> <td>2,010</td> <td>3,200</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	訪問支援実人員(人)	2,782	2,287	2,160	訪問支援延人員(人)	2,828	2,307	2,260	電話等の支援実人員(人)	1,795	1,309	2,300	電話等の支援延人員(人)	2,480	2,010	3,200	生活習慣病や介護予防の課題のある対象者に対して、特定保健指導、生活習慣病予防、生活機能低下予防、介護予防等の指導を実施し、市民の健康の保持増進が図られた。	引き続き、疾病予防、介護予防等の観点から、保健指導が必要であると認められる者及び家族等に対し、保健師等が家庭訪問や電話・文書等により、必要な保健指導を行う。	保健予防課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																										
訪問支援実人員(人)	2,782	2,287	2,160																										
訪問支援延人員(人)	2,828	2,307	2,260																										
電話等の支援実人員(人)	1,795	1,309	2,300																										
電話等の支援延人員(人)	2,480	2,010	3,200																										
(2)健康づくりの推進 ○市民参画による健康づくり	・健康増進計画推進事業(R5年度拡充)	・健康づくりイベント月間での取組 ・鹿児島市健康づくり推進市民会議の開催 ・かごしま市民すこやかプランの中間評価をふまえた取り組みの検討 ・かごしま市民すこやかプランの最終評価と次期計画策定 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企画運営委員会開催回数(回)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>健康ニュースの発行回数(回)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>健康ニュースの発行部数(部)</td> <td>25,000</td> <td>25,000</td> <td>21,736</td> </tr> <tr> <td>パンフレット発行部数(部)</td> <td>6,000</td> <td>6,000</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>体にやさしいかごしまメニューのお店登録数(店舗)</td> <td>138</td> <td>135</td> <td>148</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	企画運営委員会開催回数(回)	1	1	1	健康ニュースの発行回数(回)	2	2	2	健康ニュースの発行部数(部)	25,000	25,000	21,736	パンフレット発行部数(部)	6,000	6,000	5,000	体にやさしいかごしまメニューのお店登録数(店舗)	138	135	148	市民の健康づくりを推進するため、第二次鹿児島市健康増進計画「かごしま市民すこやかプラン(平成25年度～令和5年度)」に基づく取組を推進している。 計画に基づく、わかりやすく、取り組みやすい健康づくりの取組や計画の内容について周知・広報を行う。また、令和4年度の最終評価において悪化していた指標については、取り組みの見直しを行っていく必要がある。	第二次鹿児島市健康増進計画「かごしま市民すこやかプラン」(平成25年度～令和5年度)に基づき、子どもから高齢者まですべての市民が、共に支え合い、すこやかで心豊かに生活できるかごしま市の実現を目指し、市民や関係機関・団体と一体となって市民の健康づくりを推進する。 ・計画に基づく、わかりやすく、取り組みやすい健康づくりの取組や計画の内容について周知・広報を行う。 ・健康づくりを推進する環境整備として、「体にやさしいかごしまメニューのお店」の登録店を拡大していく。 ・各関係機関・団体の取り組み強化を行うとともに、市民会議会員を増やす取り組みを行う。 ・第二次鹿児島市健康増進計画の最終評価をもとに、次期計画を策定し、数値目標の達成に向け、関係機関などと連携して健康づくり事業等に取り組む。	保健政策課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																										
企画運営委員会開催回数(回)	1	1	1																										
健康ニュースの発行回数(回)	2	2	2																										
健康ニュースの発行部数(部)	25,000	25,000	21,736																										
パンフレット発行部数(部)	6,000	6,000	5,000																										
体にやさしいかごしまメニューのお店登録数(店舗)	138	135	148																										

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																				
	・受動喫煙防止対策事業	<p>・望まない受動喫煙の防止を図るため、周知・広報及び相談、違反施設等への指導、助言等を行った。</p> <p>○受動喫煙防止対策指導員による相談・問合せ対応</p> <p>・市民・施設管理者等からの相談問合せに対する助言・指導等</p> <p>・法に基づく届け出の受付</p> <p>・通報に基づく現地確認及び違反者への助言・指導</p> <p>・巡回・パトロールの実施</p> <p>○周知・広報</p> <p>・各種広報媒体を活用した知識普及・意識啓発のための周知広報等</p>	受動喫煙に関する市民の意識啓発が進み、また施設の管理権原者の講ずべき措置への対応が進んだ。	市民の健康を守るため、施設の区分に応じた受動喫煙防止対策についての助言・指導等及び受動喫煙に関する知識の普及、受動喫煙の防止に関する意識の啓発を通じ、望まない受動喫煙が生じない環境整備の促進を図る。	保健政策課																				
	・働く世代の健康づくり事業	<p>働く世代の健康づくりを推進するため、地域・職域連携推進専門部会や地域・職域連携推進協議会等を開催し、具体的取組についての検討を行った。従業員や家族の健康づくりに取り組む事業所を「健康づくりパートナー」として登録し、働く人の健康づくりや従業員の健康に役立つ健康情報などを掲載した「これは便利！ かごしま健康サポートブック～働く人のお役立ち情報～」の周知広報や、パートナー登録事業所へ健康づくりのためのメルマガ配信を行った。</p>	専門部会を開催するなど関係機関と連携し、働く世代の健康づくりを推進した。	事業所との協働により、働く世代の生活習慣病の改善やメンタルヘルスの対策など健康づくり事業に取り組む。	保健政策課																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康づくりパートナーパートナー登録数(事業所)</td> <td>262</td> <td>302</td> <td>340</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	健康づくりパートナーパートナー登録数(事業所)	262	302	340															
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
健康づくりパートナーパートナー登録数(事業所)	262	302	340																						
	・地域保健活動事業(健康づくり月間の取組)	<p>11月を「健康づくり月間」として位置づけ、市民が主体となった健康づくりに関するイベント等を通して市民の健康づくりへの意識啓発を図った。</p>	実行委員会形式で行っており、市民と協働で開催し、内容やテーマ、広報に至るまで、市民が主体となった健康づくりを推進するイベントとなり、地域の健康づくりおに対する意識の向上に寄与した。	引き続き、11月を「健康づくり月間」として位置づけ、市民が主体となった健康づくりに関するイベント等を通して市民の健康づくりへの意識啓発を図る。	保健予防課																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康まつり開催回数(回)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>健康まつり参加人員(人)</td> <td>1,360</td> <td>1,280</td> <td>2,500</td> </tr> <tr> <td>ウォーキング大会の開催回数(回)</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ウォーキング大会の参加人員(人)</td> <td>246</td> <td>320</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	健康まつり開催回数(回)	5	5	5	健康まつり参加人員(人)	1,360	1,280	2,500	ウォーキング大会の開催回数(回)	5	5	5	ウォーキング大会の参加人員(人)	246	320	300			
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
健康まつり開催回数(回)	5	5	5																						
健康まつり参加人員(人)	1,360	1,280	2,500																						
ウォーキング大会の開催回数(回)	5	5	5																						
ウォーキング大会の参加人員(人)	246	320	300																						
○運動による健康づくり	・運動普及推進員支援事業	<p>運動を安全かつ効果的に実践していくための知識や方法の普及啓発を行う運動普及推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行った。</p>	運動普及推進員を養成するとともに、推進員の研修会、連絡会等を開催し協議会の育成支援を行っている。また、推進員による運動の知識や方法の普及啓発を行うことで、市民の健康の保持増進に寄与した。	引き続き、運動を安全かつ効果的に実践していくための知識や方法の普及啓発を行う運動普及推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行う。	保健予防課																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>養成者数(人)</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>活動推進員数(人)</td> <td>228</td> <td>218</td> <td>270</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	養成者数(人)	9	10	30	活動推進員数(人)	228	218	270											
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
養成者数(人)	9	10	30																						
活動推進員数(人)	228	218	270																						
	・都市公園健康づくり事業	<p>都市公園内に健康遊具を設置する。</p>		利用者の多い近隣公園以上の公園については、概ね設置が完了した。比較的規模の小さな街区公園などについては、市民のニーズや要望等踏まえて検討する。	公園緑化課																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置公園数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>設置基数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※休止事業</td> <td>※休止事業</td> <td>※休止事業</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	設置公園数	0	0	0	設置基数	0	0	0		※休止事業	※休止事業	※休止事業							
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
設置公園数	0	0	0																						
設置基数	0	0	0																						
	※休止事業	※休止事業	※休止事業																						

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
○食を通じた健康づくり	・食育推進事業	<p>食育を推進するため、食育推進委員会や食育推進ネットワーク会議を開催するとともに、食育推進支援員の派遣、食育情報紙やホームページなどで食に関する情報を発信した。また、食育教室やプラスワン講座の開催、若年向け(高校3年生)リーフレットの作成・配布を行った。</p> <p>○食育推進委員会 (3年度) (4年度) (5年度) 開催回数 3回 1回 2回</p> <p>○食育推進ネットワーク会議の開催回数 (3年度) (4年度) (5年度) 開催回数 中止 1回 3回</p> <p>○食育情報の発信 ・食育情報紙の発行 (3年度) (4年度) (5年度) 発行回数 2回 2回 2回 発行部数(本編) 各20,000部 各20,000部 各1,500部 発行部数(概要版) 各800部</p> <p>・食育ホームページの情報更新 ・食育推進ポスターの発行 (3年度) (4年度) (5年度) 発行部数 600部 600部 600部</p> <p>・若年層へのリーフレット配布 (3年度) (4年度) (5年度) 発行部数 6,500部 6,000部</p> <p>○食育推進支援員 (3年度) (4年度) (5年度) 派遣回数 事業見送り 7回 20回</p> <p>○食育教室 (3年度) (4年度) (5年度) 開催回数 2回 2回</p> <p>○プラスワン講座 (3年度) (4年度) (5年度) 開催回数 1回 2回</p> <p>○計画の周知・広報 ・パネル展示、研修会や市政広報番組等での周知</p>	<p>本市の食育推進を図るために、計画に基づき、関係課、関係団体等と連携して取り組んできた。</p> <p>第三次計画の進捗状況、食をめぐる現状課題等を踏まえ、第四次かごしま市食育推進計画を策定した。</p>	<p>第四次かごしま市食育推進計画に基づき、食を通じて、健康で生き生きと生活できる活力あるかごしま市の実現を目指し、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。</p>	保健政策課
	・食育フェスタ開催事業	<p>第四次かごしま市食育推進計画に基づき、食育の一環として、市内大学等とともに食育フェスタを開催し、食に関する学習や体験活動を通じて、家庭や地域、学校が連携した食育の推進を図った。</p> <p>(3年度) (4年度) (5年度) 開催日 - 11月23日 11月4日 ※3年度は見送り事業</p>	<p>関係機関や団体等と連携し、食育推進の一環としてイベントを開催してきた。今後は、無関心層にも興味を持ってもらえるような工夫をしていく必要がある。</p>	<p>今後も、市内大学・食育推進ネットワーク会員等と協力して開催し、食育の推進を図る。</p>	保健政策課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																							
〇こころの健康づくり	・栄養改善対策事業	<p>食生活を中心とした健康づくりの正しい知識と実践を普及するため、栄養教育・相談を実施した。また、給食施設の栄養管理について研修会や電話指導を通して、指導・助言を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給食施設従事者研修会 開催回数(回)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>給食施設従事者研修会 参加者数(人)</td> <td>519</td> <td>722</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>集団栄養指導(母子・成人) 開催回数(回)</td> <td>173</td> <td>235</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>集団栄養指導(母子・成人) 参加者数(人)</td> <td>2,173</td> <td>2,646</td> <td>2,700</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	給食施設従事者研修会 開催回数(回)	3	4	5	給食施設従事者研修会 参加者数(人)	519	722	500	集団栄養指導(母子・成人) 開催回数(回)	173	235	190	集団栄養指導(母子・成人) 参加者数(人)	2,173	2,646	2,700	<p>給食施設従事者研修会は、新型コロナ感染対策のため、オンライン配信で実施したが、多数での視聴や繰り返し視聴できたことが、参加者に好評であり、施設給食の資質向上が図られた。</p> <p>乳幼児健診や健康相談等において栄養士による集団指導を実施することで、栄養に関する正しい知識と実践の普及を図り、市民の健康づくりに寄与した。</p>	<p>引き続き、食生活を中心とした健康づくりの正しい知識と実践を普及するため、栄養教育・相談を実施する。また、給食施設の栄養管理について研修会や訪問を通して、指導・助言を行う。</p>	保健予防課			
		(3年度)	(4年度)	(5年度)																								
	給食施設従事者研修会 開催回数(回)	3	4	5																								
	給食施設従事者研修会 参加者数(人)	519	722	500																								
集団栄養指導(母子・成人) 開催回数(回)	173	235	190																									
集団栄養指導(母子・成人) 参加者数(人)	2,173	2,646	2,700																									
・食生活改善推進事業	<p>市民に食生活を中心とした健康づくりの正しい知識と実践の普及を図る食生活改善推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修了者数(人)</td> <td>25</td> <td>20</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>会員数(人)</td> <td>322</td> <td>305</td> <td>310</td> </tr> <tr> <td>活動回数(回)</td> <td>22,389</td> <td>23,709</td> <td>30,750</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	修了者数(人)	25	20	50	会員数(人)	322	305	310	活動回数(回)	22,389	23,709	30,750	<p>食生活改善推進員を養成するとともに、推進員の研修会、役員会等を開催することにより、資質向上に努めている。また、食を通じた健康づくりの正しい知識と実践の普及を図り、市民の健康づくりに寄与していた。</p>	<p>引き続き、市民に食生活を中心とした健康づくりの正しい知識と実践の普及を図る食生活改善推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行う。</p>	保健予防課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																									
修了者数(人)	25	20	50																									
会員数(人)	322	305	310																									
活動回数(回)	22,389	23,709	30,750																									
・シニア世代のヘルスマーシェン事業(こころの健康教室)	<p>高齢者のうつ等の精神疾患をはじめ、こころの健康問題に関する正しい知識の普及を図るための講演会を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>〇認知症・うつ予防教室等 開催回数(回)</td> <td>12</td> <td>20</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>参加者数(人)</td> <td>313</td> <td>447</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	〇認知症・うつ予防教室等 開催回数(回)	12	20	2	参加者数(人)	313	447	500	<p>こころの健康づくりについての理解を図るための教室として保健センターで健康講座を実施しており、講演会後の個別相談も実施することで、高齢者の健康に対する正しい知識の習得や健康づくりに寄与した。</p>	<p>引き続き、高齢者のうつ等の精神疾患をはじめ、こころの健康づくりに関する正しい知識の普及を図るための講演会を開催する。</p>	保健予防課												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																									
〇認知症・うつ予防教室等 開催回数(回)	12	20	2																									
参加者数(人)	313	447	500																									
・精神保健福祉推進事業(再)	<p>精神疾患についての正しい知識の普及を図るとともに、精神障害者の就労支援をはじめとする社会復帰促進を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数(件)</td> <td>13,496</td> <td>12,967</td> <td>12,967</td> </tr> <tr> <td>訪問指導件数(件)</td> <td>683</td> <td>436</td> <td>436</td> </tr> <tr> <td>デイケア参加者数(人)</td> <td>205</td> <td>158</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>普及啓発実施回数(回)</td> <td>50</td> <td>53</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>普及啓発実施延人数(人)</td> <td>2,159</td> <td>3,040</td> <td>3,050</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	相談件数(件)	13,496	12,967	12,967	訪問指導件数(件)	683	436	436	デイケア参加者数(人)	205	158	160	普及啓発実施回数(回)	50	53	60	普及啓発実施延人数(人)	2,159	3,040	3,050	<p>相談及び訪問の実施により、市民のメンタルヘルスの保持・増進を図るとともに、デイケア等を実施し、精神障害者の社会復帰の促進を図っている。</p> <p>また、講演会等の普及啓発活動を行うことで、精神保健に関する正しい知識の普及に努めている。</p>	<p>今後も市民の精神的健康の保持・増進を図り、事業の目的を達成するために必要な取り組みを行っていく。</p>	保健支援課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																									
相談件数(件)	13,496	12,967	12,967																									
訪問指導件数(件)	683	436	436																									
デイケア参加者数(人)	205	158	160																									
普及啓発実施回数(回)	50	53	60																									
普及啓発実施延人数(人)	2,159	3,040	3,050																									

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																								
	・自殺対策事業	自殺予防に係る啓発、自殺に関する相談等の実施により、自殺対策を継続して推進した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>庁内連絡会議(作業部会)(回)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>自殺予防対策委員会(回)</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ゲートキーパー養成講座(回)</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>街頭キャンペーン(回)</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>自殺対策推進本部会議(回)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	庁内連絡会議(作業部会)(回)	1	1	2	自殺予防対策委員会(回)	4	4	4	ゲートキーパー養成講座(回)	13	15	12	街頭キャンペーン(回)	1	0	1	自殺対策推進本部会議(回)	1	1	2	推進本部会議、庁内連絡会議、自殺予防対策委員会、ゲートキーパー養成講座等を開催し、職員及び市民が自殺対策は社会全体で取り組む問題であるという認識が深まっている。一方、相談場所を知らない者が多い現状から、相談窓口の周知や自殺予防の普及啓発等に取り組む必要があり、無料相談窓口カードを設置するためのカードスタンドを作成し、新たにスーパー等へも設置を行い、悩んでいる人の手に届くよう努めた。	自殺対策計画(H29年度末策定)における総合的な対策について、評価検証しながら取組を進める。一方で、国の自殺総合大綱を受けて令和5年度に計画見直しを行う。 また、セーフコミュニティの一つの分野として自殺予防対策委員会や庁内連絡会議を開催し、現状から取組みを決め、評価しながら進めていく。	保健支援課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																										
庁内連絡会議(作業部会)(回)	1	1	2																										
自殺予防対策委員会(回)	4	4	4																										
ゲートキーパー養成講座(回)	13	15	12																										
街頭キャンペーン(回)	1	0	1																										
自殺対策推進本部会議(回)	1	1	2																										
○温泉等を活用した健康づくり	・健康増進施設管理運営事業 ・スパランド裸・楽・良管理運営事業 ・マリンピア喜入管理運営事業	温泉を活用した健康増進施設(かごしま温泉健康プラザ・さくらじま白浜温泉センター・マリンピア喜入・スパランド裸・楽・良)において、市民の健康増進を図るための健康づくり講座等を実施した。	高齢者の健康体力づくり、生きがいがづくりに寄与している。かごしま温泉健康プラザについては、利用者のニーズに合わせて、毎年講座の種類を変更するなどして、市民の健康増進を図っている。 さくらじま白浜温泉センターについては、定期的に教室を開催し、市民の健康増進を図っている。	利用者のニーズを把握しながら今後も各施設において各種講座を実施し、参加者の健康増進に努める。	健康総務課 スポーツ課																								
	・高齢者すこやか温泉講座開催事業	市内の公衆浴場において、温泉に関する講座及び健康講座を開催するとともに、入浴の機会を提供し、温泉がもたらす健康の効果を実感してもらうことにより、高齢者の外出を促し、生きがいがづくり・健康づくりの促進を図る。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>講座開催数(回)</td> <td>0</td> <td>6</td> <td>10</td> </tr> </table> ※3年度は事業休止		(3年度)	(4年度)	(5年度)	講座開催数(回)	0	6	10	コロナの影響により3年度は事業を休止した。4年度は回数を年6回に減らして実施し、高齢者の外出促進や生きがいがづくり・健康づくりの促進を図る事ができた。	同事業を引き続き実施し、高齢者の外出を促し、生きがいがづくり・健康づくりの促進を図る。	長寿支援課																
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																										
講座開催数(回)	0	6	10																										
○ボランティア等による健康づくり	・健康づくり推進員支援事業(再)	介護予防のために実施するお達者クラブの運営等を行う健康づくり推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行った。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>養成者数(人)</td> <td>38</td> <td>25</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>活動推進員数(人)</td> <td>391</td> <td>370</td> <td>400</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	養成者数(人)	38	25	50	活動推進員数(人)	391	370	400	お達者クラブの運営を行う健康づくり推進員を養成するとともに、推進員の研修会、連絡会を開催し、協議会の育成支援を行うことにより、助け合い支えあう地域づくりの推進に寄与した。	引き続き、介護予防のために実施するお達者クラブの運営等を行う健康づくり推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行う。	保健予防課												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																										
養成者数(人)	38	25	50																										
活動推進員数(人)	391	370	400																										
	・運動普及推進員支援事業(再)	運動を安全かつ効果的に実践していくための知識や方法の普及啓発を行う運動普及推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行った。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>養成者数(人)</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>活動推進員数(人)</td> <td>228</td> <td>218</td> <td>270</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	養成者数(人)	9	10	30	活動推進員数(人)	228	218	270	運動普及推進員を養成するとともに、推進員の研修会、連絡会等を開催し協議会の育成支援を行っている。また、推進員による運動の知識や方法の普及啓発を行うことで、市民の健康の保持増進に寄与した。	引き続き、運動を安全かつ効果的に実践していくための知識や方法の普及啓発を行う運動普及推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行う。	保健予防課												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																										
養成者数(人)	9	10	30																										
活動推進員数(人)	228	218	270																										
	・食生活改善推進事業(再)	市民に食生活を中心とした健康づくりの正しい知識と実践の普及を図る食生活改善推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行った。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>修了者数(人)</td> <td>25</td> <td>20</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>会員数(人)</td> <td>322</td> <td>305</td> <td>310</td> </tr> <tr> <td>活動回数(回)</td> <td>22,389</td> <td>23,709</td> <td>30,750</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	修了者数(人)	25	20	50	会員数(人)	322	305	310	活動回数(回)	22,389	23,709	30,750	食生活改善推進員を養成するとともに、推進員の研修会、役員会等を開催することにより、資質向上に努めている。また、食を通じた健康づくりの正しい知識と実践の普及を図り、市民の健康づくりに寄与していた。	引き続き、市民に食生活を中心とした健康づくりの正しい知識と実践の普及を図る食生活改善推進員を養成するとともに、その協議会の育成支援を行う。	保健予防課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																										
修了者数(人)	25	20	50																										
会員数(人)	322	305	310																										
活動回数(回)	22,389	23,709	30,750																										

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																																																			
(3)疾病予防の推進 ○受診しやすい各種検(健)診体制等の充実	・精神保健福祉推進事業 (精神保健福祉ボランティアの養成・支援)	精神障害者を支援するボランティアを養成し、精神保健福祉に関する知識や情報の普及啓発を図った。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>養成者数(人)</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>10</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	養成者数(人)	3	7	10	精神障害者を支援するボランティアを養成することにより、精神保健福祉に関する知識や情報の普及啓発が図られている。	引き続き、精神障害者を支援するボランティアを養成し、精神保健福祉に関する知識や情報の普及啓発を図っていく。	保健支援課																																											
		(3年度)	(4年度)	(5年度)																																																				
	養成者数(人)	3	7	10																																																				
	・元いきいき検診事業	生活習慣病(がん・脳卒中・心臓病等)の予防・早期発見を目的とした各種検(健)診を実施した。 ○一般健康診査 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>実施人員(人)</td> <td>510</td> <td>564</td> <td>511</td> </tr> <tr> <td>実施率(%)</td> <td>4.3</td> <td>4.7</td> <td>4.2</td> </tr> </table> ○がん検診受診率 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>胃がん(%)</td> <td>7.2</td> <td>7.0</td> <td>8.9</td> </tr> <tr> <td>肺がん(%)</td> <td>17.3</td> <td>17.8</td> <td>19.1</td> </tr> <tr> <td>大腸がん(%)</td> <td>15.6</td> <td>16.0</td> <td>17.6</td> </tr> <tr> <td>子宮がん(%)</td> <td>22.5</td> <td>22.9</td> <td>25.1</td> </tr> <tr> <td>乳がん(%)</td> <td>14.3</td> <td>14.9</td> <td>15.5</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん(%)</td> <td>16.6</td> <td>15.9</td> <td>21.5</td> </tr> <tr> <td>骨粗しょう症(%)</td> <td>20.4</td> <td>20.4</td> <td>23.4</td> </tr> <tr> <td>腹部超音波(%)</td> <td>12.7</td> <td>13.4</td> <td>13.7</td> </tr> <tr> <td>歯周病(%)</td> <td>4.8</td> <td>4.7</td> <td>4.7</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	実施人員(人)	510	564	511	実施率(%)	4.3	4.7	4.2		(3年度)	(4年度)	(5年度)	胃がん(%)	7.2	7.0	8.9	肺がん(%)	17.3	17.8	19.1	大腸がん(%)	15.6	16.0	17.6	子宮がん(%)	22.5	22.9	25.1	乳がん(%)	14.3	14.9	15.5	前立腺がん(%)	16.6	15.9	21.5	骨粗しょう症(%)	20.4	20.4	23.4	腹部超音波(%)	12.7	13.4	13.7	歯周病(%)	4.8	4.7	4.7	検(健)診の受診率向上が、今後の課題である。	引き続き、生活習慣病(がん・脳卒中・心臓病等)の予防・早期発見を目的とした各種検(健)診を実施する。
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																																																					
実施人員(人)	510	564	511																																																					
実施率(%)	4.3	4.7	4.2																																																					
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																																																					
胃がん(%)	7.2	7.0	8.9																																																					
肺がん(%)	17.3	17.8	19.1																																																					
大腸がん(%)	15.6	16.0	17.6																																																					
子宮がん(%)	22.5	22.9	25.1																																																					
乳がん(%)	14.3	14.9	15.5																																																					
前立腺がん(%)	16.6	15.9	21.5																																																					
骨粗しょう症(%)	20.4	20.4	23.4																																																					
腹部超音波(%)	12.7	13.4	13.7																																																					
歯周病(%)	4.8	4.7	4.7																																																					
・特定健康診査事業	生活習慣病のリスク要因を減少させ、生活習慣病の減少を図るため、特定健康診査を実施した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>特定健康診査受診率(%)</td> <td>35.6</td> <td>34.3</td> <td>60.0</td> </tr> </table> R4.11月時点の法定報告値 R5.5月末時点の法定報告		(3年度)	(4年度)	(5年度)	特定健康診査受診率(%)	35.6	34.3	60.0	特定健診未受診者対策として、医療機関からの治療中データの提供や、新たなインセンティブの導入により、受診率は向上してきているものの、依然として国の定める目標値(70%)とはかい離がある。	健診の必要性、継続受診の重要性を理解し、対象者の受診行動に結び付けられるよう引き続き広報・周知を徹底する。 受診率向上のため、関係機関、関係課と連携を図り、新たな事業を模索する必要がある。	国民健康保険課																																												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																																																					
特定健康診査受診率(%)	35.6	34.3	60.0																																																					
・長寿健康診査事業	糖尿病や高血圧疾患など生活習慣病を早期発見し、適切な医療につながることで、重症化を予防することを目的として、後期高齢者に対する長寿健康診査を実施した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>受診率(%)</td> <td>32.3</td> <td>35.24</td> <td>41.32</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	受診率(%)	32.3	35.24	41.32	重症化を予防するため、全被保険者に受診券を送付し広く受診を促すことができた。3年度、4年度は受診勧奨ハガキを送付し効果的な勧奨ができた。4年度はチラシを作成し、より効果的な広報ができた。	同事業を引き続き実施し、後期高齢者の生活習慣病の早期発見とともに重症化の予防を図る。	長寿支援課																																												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																																																					
受診率(%)	32.3	35.24	41.32																																																					
・はり・きゅう施設利用補助 (国民健康保険)	国民健康保険の被保険者の健康増進と疾病予防を図ることを目的として、はり・きゅうの施術に要する経費を補助した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>1回の補助額(円)</td> <td>1,100</td> <td>1,100</td> <td>1,100</td> </tr> <tr> <td>利用回数(回)</td> <td>56,540</td> <td>54,946</td> <td>62,000</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	1回の補助額(円)	1,100	1,100	1,100	利用回数(回)	56,540	54,946	62,000	国民健康保険の被保険者(74歳まで)の健康増進と疾病予防が図られている。	同補助を引き続き実施し、国民健康保険の被保険者の健康増進と疾病予防を図る。	国民健康保険課																																								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																																																					
1回の補助額(円)	1,100	1,100	1,100																																																					
利用回数(回)	56,540	54,946	62,000																																																					

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
○正しい生活習慣を身につけるための健康教育	・はり・きゅう施設利用補助(後期高齢者)	後期高齢者の健康保持増進及び疾患の重症化予防を図ることを目的として、はり・きゅうの施術に要する経費を補助した。 (3年度) (4年度) (5年度) 補助件数(件) 74,303 75,082 80,677	はり・きゅうの施術に要する経費を補助することで、後期高齢者の健康保持増進及び疾患の重症化予防を図ることができた。	同補助を引き続き実施し、後期高齢者の健康保持増進や疾患の重症化予防を図る。	長寿支援課
	・人間ドック、脳ドック利用補助(国民健康保険)	国民健康保険の被保険者の疾病予防及び重症化予防を図ることを目的として、人間ドック、脳ドック利用に要する経費を補助した。 (3年度) (4年度) (5年度) 人間ドック補助件数(件) 567 502 601 脳ドック補助件数(件) 260 233 204	国民健康保険の被保険者(74歳まで)の疾病予防が図られている。	同補助を引き続き実施し、国民健康保険の被保険者の疾病予防を図る。	国民健康保険課
	・人間ドック、脳ドック利用補助(後期高齢者)	後期高齢者の疾病予防及び重症化予防を図ることを目的として、人間ドック、脳ドック利用に要する経費を補助した。 (3年度) (4年度) (5年度) 人間ドック補助件数(件) 115 109 143 脳ドック補助件数(件) 58 70 88	人間ドック、脳ドック利用に要する経費を補助することで、後期高齢者の疾病予防及び重症化予防を図ることができた。	同補助を引き続き実施し、後期高齢者の疾病予防や重症化予防を図る。	長寿支援課
	・生活習慣改善支援事業(健康教育)	生活習慣病の予防、健康増進、介護予防等について、正しい知識の普及を図る各種健康教育を実施した。 (3年度) (4年度) (5年度) 実施回数(回) 372 350 555 参加者数(人) 5,537 5,902 16,300	生活習慣病の発症・重症化予防、介護予防等について正しい知識の普及を図り、生涯を通じた健康づくりができるよう、専門職が集団健康教育や個別の健康相談を行うことで、市民の健康の保持増進に寄与した。	引き続き、生活習慣病の予防、健康増進、介護予防等について、正しい知識の普及を図る各種健康教育を実施する。	保健予防課
	・シニア世代のヘルスプロモーション事業(健康教育)	65歳以上の高齢者を対象に、生活習慣病の予防、健康増進、介護予防等について、正しい知識の普及を図る各種健康教育を実施した。 (3年度) (4年度) (5年度) 相談回数(回) 130 122 59 相談人数(人) 2,950 2,448 1,540	65歳以上の高齢者を対象に、介護予防、生活習慣病予防の啓発のための健康教育や個別の相談を実施し、高齢者の健康に対する正しい知識の習得や健康づくりに寄与した。	引き続き、65歳以上の高齢者を対象に、生活習慣病の予防、健康増進、介護予防等について、正しい知識の普及を図る各種健康教育を実施する。	保健予防課
	○利用しやすい健康相談体制の充実	・生活習慣改善支援事業(健康相談) 心身の健康や生活習慣病の予防・治療等に関する市民の様々な相談に応じ、日常生活における必要な指導・助言を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 実施回数(回) 310 275 380 実施人員(人) 768 596 1,000	生活習慣病の発症・重症化予防、介護予防等について正しい知識の普及を図り、生涯を通じた健康づくりができるよう、専門職が集団健康教育や個別の健康相談を行うことで、市民の健康の保持増進に寄与した。	引き続き、心身の健康や生活習慣病の予防・治療等に関する市民の様々な相談に応じ、日常生活における必要な指導・助言を行う。	保健予防課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
	・シニア世代のヘルスプロモーション事業(健康相談)	65歳以上の高齢者を対象に、心身の健康や生活習慣病予防・治療等に関する市民の様々な相談に応じ、日常生活における必要な指導・助言を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 相談回数(回) 185 172 180 相談人数(人) 1,602 1,604 2,700	65歳以上の高齢者を対象に、介護予防、生活習慣病予防の啓発のための健康教育や個別の相談を実施し、高齢者の健康に対する正しい知識の習得や健康づくりに寄与した。	引き続き、65歳以上の高齢者を対象に、心身の健康や生活習慣病予防・治療等に関する市民の様々な相談に応じ、日常生活における必要な指導・助言を行う。	保健予防課
	・個別保健指導事業(特定保健指導)	40歳以上の被用者保険の被保険者及び生活保護者を対象に、健康診査の結果に基づいた、特定保健指導を実施した。 (3年度) (4年度) (5年度) 動機づけ支援(人) 17 12 12 積極的支援(人) 14 16 9	協会けんぽ等の被保険者及び被扶養者、生活保護受給者の特定保健指導を実施することで、市民の健康の保持増進が図られた。	引き続き、40歳以上の被用者保険の被保険者及び生活保護者を対象に、健康診査の結果に基づいた、特定保健指導を実施する。	保健予防課
○訪問指導等による個別支援	・個別保健指導事業	疾病予防、介護予防等の観点から、保健指導が必要であると認められる者及び家族等に対し、保健師等が電話や文書、家庭訪問等により、必要な保健指導を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 訪問支援実人員(人) 2,782 2,287 2,160 訪問支援延人員(人) 2,828 2,307 2,260 電話等の支援実人員(人) 1,795 1,309 2,300 電話等の支援延人員(人) 2,480 2,010 3,200	生活習慣病や介護予防の課題のある対象者に対して、特定保健指導、生活習慣病予防、生活機能低下予防、介護予防等の指導を実施することで、市民の健康の保持増進が図られた。	引き続き、疾病予防、介護予防等の観点から、保健指導が必要であると認められる者及び家族等に対し、保健師等が電話や文書、家庭訪問等により、必要な保健指導を行う。	保健予防課
	健診受診者保健指導事業 ※第8期計画から掲載	国民健康保険の特定健康診査の受診者で健康課題のある被保険者に対し、保健師による保健指導等を実施した。 (3年度) (4年度) (5年度) 特定保健指導実施率(%) 26.6 13.8 50.8 R4.11月時点の法定報告値 R5.5月末時点の法定報告 特定保健指導以外の保健指導 延件数(不在含む)(件) 6,437 6,577 6,875	3年度よりICTを活用した保健指導を開始し、利用者の利便性の向上を図っているが、特定保健指導の実施率は、低迷している現状である。	同事業を引き続き実施し、特定保健指導の実施率向上に努める。また、ICTを活用した保健指導の実施も行いながら、対象者に応じた生活習慣病の予防及び重症化の予防を図る。	国民健康保険課
○感染症予防対策	・胸部エックス線撮影健康診断事業	結核の早期発見・感染予防を目的とする胸部エックス線撮影による健康診断を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 受診者数(人) 22,825 23,656 23,202	3年度においては、コロナ禍前の受診者数近くまで回復した。4年度においては、受診者数は増加傾向にあった。	健診の受診者数の増加が今後の課題である。引き続き、結核の早期発見・感染予防を目的とする胸部エックス線撮影による健康診断を行う。	保健予防課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
○精神保健福祉対策	・結核予防医療事業	結核等の感染症の予防などについての講演会をWebで開催し、啓発に努めた。 (3年度) (4年度) (5年度) 感染症講演会実施期間 8/20～9/2 8/1～8/31 7/21～8/31 感染症講演会視聴回数 2,031 2,406 2,600	WEB開催し、期間を長めに設定したことで各自の都合に合わせた視聴ができるようになった。また、各施設等における研修でも活用されている。	全国で高齢者福祉施設での感染症の集団発生などもみられることから、福祉施設関係者等への講演会参加を促していく。	感染症対策課
	・定期予防接種事業	ワクチン接種を促進し、インフルエンザ及び肺炎の発病及び重症化の防止を図るため、高齢者のインフルエンザ及び肺炎球菌の予防接種に要する経費の一部助成を実施した。 (3年度) (4年度) (5年度) インフルエンザ被接種者数(人) 97,123 99,317 104,802 成人用肺炎球菌被接種者数(人) 6,540 5,797 7,016	ワクチン接種により、高齢者のインフルエンザ及び肺炎の発病及び重症化の防止が図られている。	インフルエンザ及び肺炎球菌感染症の予防接種に関する周知啓発を行う。	感染症対策課
	・精神保健福祉推進事業	精神疾患についての正しい知識の普及を図るとともに、精神障害者の就労支援をはじめとする社会復帰促進を図った。 (3年度) (4年度) (5年度) 相談件数(件) 13,496 12,967 12,967 訪問指導件数(件) 683 436 436 デイケア参加者数(人) 205 158 160 普及啓発実施回数(回) 50 53 60 普及啓発実施延人数(人) 2,159 3,040 3,050	相談及び訪問の実施により、市民のメンタルヘルスの保持・増進を図るとともに、デイケアを実施し、精神障害者の社会復帰の促進を図っている。また、講演会等の普及啓発活動を行うことで、精神保健に関する正しい知識の普及に努めている。	今後も市民の精神的健康の保持・増進を図り、事業の目的を達成するために必要な取り組みを行っている。	保健支援課
	・精神障害者ふれあい交流事業	スポーツ、レクリエーション、文化活動を通して社会参加を促進し、ひいては精神障害者に対する正しい知識の普及につなげた。 (3年度) (4年度) (5年度) こころで描く絵画展(人) 416 521 1,000 ふれあい交流会(人) — 261 400 スポーツ交流会(人) 75 — 320	スポーツ、レクリエーション、文化活動等を通して精神障害者の積極的な社会参加に繋がっている。	スポーツ、レクリエーション、文化活動を通して社会参加を促進し、ひいては精神障害者に対する正しい知識の普及につなげる。	保健支援課
・精神障害者相談事業	市から委託を受けた相談員(精神障害のある方の家族)が精神障害者の家族の立場で相談に対応し、必要な助言や支援を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 相談件数(件) 119 246 160 訪問件数(件) 0 0 4	精神障害者の社会復帰等に関する相談を、市から委託を受けた相談員(精神障害のある方の家族)が受け、家族の立場で必要な助言や支援を行うことが出来ている。	引き続き精神障害者の家族の立場で相談に対応し、必要な助言や支援を行っていくことで、より相談しやすい体制を整備する。	保健支援課	

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																				
○難病患者支援対策	・精神保健福祉交流センター管理運営事業	精神障害者の自立及び社会参加の促進を図るとともに、市民の精神障害に対する理解と相互の交流を深めるため、継続して指定管理者に管理運営を委託した。 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;">(3年度)</td> <td style="text-align:center;">(4年度)</td> <td style="text-align:center;">(5年度)</td> </tr> <tr> <td>来館者数(人)</td> <td style="text-align:right;">26,867</td> <td style="text-align:right;">29,672</td> <td style="text-align:right;">36,042</td> </tr> <tr> <td>相談件数(件)</td> <td style="text-align:right;">22,505</td> <td style="text-align:right;">18,693</td> <td style="text-align:right;">20,137</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	来館者数(人)	26,867	29,672	36,042	相談件数(件)	22,505	18,693	20,137	継続して指定管理者に管理運営を委託したことにより、精神障害者の自立及び社会参加の促進が図られた。また、市民の精神障害に対する理解と相互の交流を深める講座、イベント等を引き続き実施している。	精神障害者の自立及び社会参加の促進を図るとともに、市民の精神障害に対する理解と相互の交流を深めるため、継続して指定管理者に管理運営を委託する。	保健支援課								
		(3年度)	(4年度)	(5年度)																					
来館者数(人)	26,867	29,672	36,042																						
相談件数(件)	22,505	18,693	20,137																						
	・難病患者地域支援事業	在宅療養計画・評価・検討会、講演会、訪問指導を実施するとともに保健・福祉・医療の連携を強化した。 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;">(3年度)</td> <td style="text-align:center;">(4年度)</td> <td style="text-align:center;">(5年度)</td> </tr> <tr> <td>連携会議(回)</td> <td style="text-align:right;">43</td> <td style="text-align:right;">43</td> <td style="text-align:right;">50</td> </tr> <tr> <td>医療講演会(回)</td> <td style="text-align:right;">3</td> <td style="text-align:right;">2</td> <td style="text-align:right;">2</td> </tr> <tr> <td>相談件数(件)</td> <td style="text-align:right;">15,490</td> <td style="text-align:right;">14,886</td> <td style="text-align:right;">14,000</td> </tr> <tr> <td>訪問件数(件)</td> <td style="text-align:right;">74</td> <td style="text-align:right;">69</td> <td style="text-align:right;">60</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	連携会議(回)	43	43	50	医療講演会(回)	3	2	2	相談件数(件)	15,490	14,886	14,000	訪問件数(件)	74	69	60	医療機関等との連携会議や医療講演会の開催等により、難病患者及びその家族の安定した療養生活の確保と生活の質の向上を図っている。	引き続き医療機関等との連携会議や医療講演会の開催等により、難病患者及びその家族の安定した療養生活の確保と生活の質の向上に努める。	保健支援課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
連携会議(回)	43	43	50																						
医療講演会(回)	3	2	2																						
相談件数(件)	15,490	14,886	14,000																						
訪問件数(件)	74	69	60																						
○歯科保健対策	・難病ガイドブック作成配布事業	難病情報ガイドブックを配布した。 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;">(3年度)</td> <td style="text-align:center;">(4年度)</td> <td style="text-align:center;">(5年度)</td> </tr> <tr> <td>作成部数(部)</td> <td style="text-align:right;">0</td> <td style="text-align:right;">2,500</td> <td style="text-align:right;">0</td> </tr> </table> 3年毎に作成予定		(3年度)	(4年度)	(5年度)	作成部数(部)	0	2,500	0	難病患者や家族、医療・保健福祉関係者等へ配布を行い、難病に関する制度や相談についての情報提供を行い、療養生活におけるQOL(生活の質)の向上を図るとともに、災害時の自助の備えについて啓発を行っている。	難病患者及びその家族、医療・保健福祉関係者等に、難病に対しての適切な情報提供を行い、情報量の不足による難病患者や家族の不安を解消するとともに、生活の質の向上を図り、かつ災害時に自助の備えを推進するツールとして活用していく。	保健支援課												
		(3年度)	(4年度)	(5年度)																					
作成部数(部)	0	2,500	0																						
	・元気いきいき検診事業(歯周病検診)	歯周病の予防を図るため、歯周病検診を歯科医療機関に委託して実施した。 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;">(3年度)</td> <td style="text-align:center;">(4年度)</td> <td style="text-align:center;">(5年度)</td> </tr> <tr> <td>受診者数(人)</td> <td style="text-align:right;">1,548</td> <td style="text-align:right;">1,501</td> <td style="text-align:right;">1,518</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	受診者数(人)	1,548	1,501	1,518	3年度より集団検診において対象年齢を拡大して実施し受診者数は増加したが、受診率が低いことが課題である。	引き続き、歯周疾患の予防のため、歯科医療機関に委託し、歯周疾患検診を行う。	保健予防課												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
受診者数(人)	1,548	1,501	1,518																						
	・歯科保健事業	歯科疾患の予防を啓発するため、健康相談や健康教育を行った。 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;">(3年度)</td> <td style="text-align:center;">(4年度)</td> <td style="text-align:center;">(5年度)</td> </tr> <tr> <td>実施回数(回)</td> <td style="text-align:right;">10</td> <td style="text-align:right;">27</td> <td style="text-align:right;">25</td> </tr> <tr> <td>参加者数(人)</td> <td style="text-align:right;">171</td> <td style="text-align:right;">419</td> <td style="text-align:right;">600</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	実施回数(回)	10	27	25	参加者数(人)	171	419	600	歯科疾患を予防し、歯や口の健康を維持することの大切さについて啓発している。	引き続き、歯科疾患の予防を啓発するため、健康相談や健康教育を行う。	保健予防課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
実施回数(回)	10	27	25																						
参加者数(人)	171	419	600																						

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
2 地域包括ケアの推進 (1)高齢者を地域全体で支えるための体制整備 ○在宅医療・介護の連携推進	・地域の医療・介護サービス資源の把握(再)	地域における医療機関や介護事業所等を掲載した在宅医療・介護資源マップのデータを更新した。	地域における医療機関や介護事業所等を掲載した在宅医療・介護資源マップのデータを更新し、市ホームページに掲載した。	今後も地域の資源の把握及び情報提供を行う必要があることから、引き続き、地域における医療機関や介護事業所等を掲載した在宅医療・介護資源マップのデータを更新する。	長寿あんしん課
	・在宅医療・介護に関する在宅医療のパンフレット配布(再)	在宅医療・介護の普及・啓発を図るため、在宅医療リーフレットの配布を行った。 リーフレット作成部数(部)	在宅医療・介護の普及・啓発を図るため、在宅医療リーフレットを作成し、窓口設置及び各関係機関・関係団体等へ配布を行い、周知が図られた。	今後も在宅医療・介護の普及・啓発を図る必要があることから、引き続き、在宅医療リーフレットの作成・配布を行う。	長寿あんしん課
	・多職種連携会議の開催(再)	多職種連携会議を開催し、医療・介護の専門職同士の学び合いを促進し、連携を図った。 会議開催回数(回) 会議参加者数(人)	多職種連携会議を開催し、医療・介護の専門職同士が学び合い、連携が図られた。	今後も医療・介護の専門職同士の学び合いを促進し、連携を図る必要があることから、引き続き、多職種連携会議を開催する。	長寿あんしん課
	・在宅医療・介護に関する市民向け講演会の開催(再)	在宅医療・介護の連携の理解を促進するため、市民向け講演会を開催した。 講演会開催回数(回) 講演会参加者数(人)	市民向け講演会を開催し、市民の在宅医療・介護についての理解を促進する機会を設けることができた。	今後も在宅医療・介護の連携の理解を促進する必要があることから、引き続き、市民向け講演会を開催する。	長寿あんしん課
	・在宅医療・介護従事者向け研修会の開催(再)	在宅医療・介護の連携体制を構築するとともに、理解の促進を図るため、地域の在宅医療・介護に関わる多職種を対象とした研修会を開催した。 研修会開催回数(回) 研修会参加者数(人)	多職種連携会議を開催し、医療・介護の専門職同士が学び合い、連携が図られた。	今後も在宅医療・介護の連携体制を構築するとともに、理解の促進を図る必要があることから、引き続き、地域の在宅医療・介護に関わる多職種を対象とした研修会を開催する。	長寿あんしん課
	・在宅医療・介護連携に関する相談支援(再)	在宅医療と介護の連携を推進するため、在宅医療・介護従事者向けの相談窓口の運営を行った。 相談窓口設置数(か所)	在宅医療・介護従事者向けの相談窓口(鹿児島市在宅医療・介護連携支援センター)の運営を行い、在宅医療と介護の連携が促進された。	今後も在宅医療と介護の連携を推進する必要があることから、コーディネーターが定着しないことに留意しつつ、引き続き、在宅医療・介護従事者向けの相談窓口の運営を行う。	長寿あんしん課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																								
○介護保険サービス及び介護予防サービスの充実強化	・在宅サービス・地域密着型サービスの整備	高齢者等の地域での暮らしを支援するため、在宅サービス、地域密着型サービスの整備を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>募集中</td> </tr> <tr> <td>看護小規模多機能型居宅介護</td> <td>1事業所</td> <td>1事業所</td> <td>募集中</td> </tr> <tr> <td>認知症対応通所介護</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>募集中</td> </tr> <tr> <td>定期巡回・随時対応型訪問介護看護</td> <td>なし</td> <td>2事業所</td> <td>募集中</td> </tr> <tr> <td>特定施設入居者生活介護</td> <td>2事業所</td> <td>なし</td> <td>募集中</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	小規模多機能型居宅介護	なし	なし	募集中	看護小規模多機能型居宅介護	1事業所	1事業所	募集中	認知症対応通所介護	なし	なし	募集中	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	なし	2事業所	募集中	特定施設入居者生活介護	2事業所	なし	募集中	在宅サービス、地域密着型サービスの整備が図られているが、今後もサービスの増加が見込まれることから、必要なサービスが提供できるように、引き続き整備を行う必要がある。	今後も高齢者等の地域での暮らしを支援する必要があることから、引き続き、在宅サービス、地域密着型サービスの整備を行う。	長寿あんしん課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																										
小規模多機能型居宅介護	なし	なし	募集中																										
看護小規模多機能型居宅介護	1事業所	1事業所	募集中																										
認知症対応通所介護	なし	なし	募集中																										
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	なし	2事業所	募集中																										
特定施設入居者生活介護	2事業所	なし	募集中																										
	・介護予防・生活支援サービス事業	要支援者等を対象に多様なニーズに対応したサービスを提供し、高齢者の自立支援と介護予防を推進した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問型利用件数(件)</td> <td>29,169</td> <td>29,285</td> <td>33,406</td> </tr> <tr> <td>通所型利用件数(件)</td> <td>64,161</td> <td>63,587</td> <td>75,723</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	訪問型利用件数(件)	29,169	29,285	33,406	通所型利用件数(件)	64,161	63,587	75,723	要支援者等を対象に多様なニーズに対応した多様なサービスを提供し、日常生活の支援が図られた。	今後も高齢者の自立支援と介護予防を推進する必要があることから、引き続き、要支援者等を対象に多様なニーズに対応したサービスを提供する。	長寿あんしん課 保健予防課												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																										
訪問型利用件数(件)	29,169	29,285	33,406																										
通所型利用件数(件)	64,161	63,587	75,723																										
	・短期集中運動型サービス検討事業(再)＜5年度拡充＞	要支援者等の自立支援及び重度化防止を目的とするリハビリテーション提供体制の充実や社会参加の促進を図るため、短期集中運動型サービスの検討を行う。	要支援者等の自立支援や社会参加の促進を図るため、現行の運動型通所サービス利用者のデータの分析やヒアリング調査等を実施し、その結果を踏まえた短期集中運動型サービスを検討した。	今後も要支援者等の自立支援及び重度化防止を目的とするリハビリテーション提供体制の充実や社会参加の促進を図る必要があることから、引き続き、短期集中運動型サービスの検討を行う。	長寿あんしん課																								
	・一般介護予防事業	全ての高齢者を対象に、介護予防に関する普及啓発や、介護予防に資する体操などを行う住民主体の通いの場(よかよか元気クラブ)の推進、地域においてリハビリ専門職が介護予防の助言を行う事業等を実施した。	全ての高齢者を対象に、介護予防に関する普及啓発や、介護予防に資する体操などを行う住民主体の通いの場(よかよか元気クラブ)の推進、地域においてリハビリ専門職が介護予防の助言を行う事業等を実施することで、介護予防の取組に寄与した。	引き続き、全ての高齢者を対象に、介護予防に関する普及啓発や、介護予防に資する体操などを行う住民主体の通いの場(よかよか元気クラブ等)の推進、地域においてリハビリ専門職が介護予防の助言を行う事業等を実施する。	保健予防課 長寿支援課																								
○自立支援・重度化防止のための体制づくり	・介護サービス事業所への普及啓発	介護サービス事業所を対象に、利用者の自立支援・重度化防止の視点に立った、リハビリテーションの重要性について、通知を行い普及啓発を行った。	居宅介護支援・介護予防支援事業所を対象にした集団指導において、リハビリテーションの重要性について普及啓発を行った。	今後も利用者の自立支援・重度化防止の視点に立った、リハビリテーションの重要性について普及啓発を行う必要があることから、引き続き、居宅介護支援・介護予防支援事業所等を対象にした集団指導を実施する。	長寿あんしん課																								
	・短期集中運動型サービス検討事業(再)＜5年度拡充＞	要支援者等の自立支援及び重度化防止を目的とするリハビリテーション提供体制の充実や社会参加の促進を図るため、短期集中運動型サービスの検討を行う。	要支援者等の自立支援や社会参加の促進を図るため、現行の運動型通所サービス利用者のデータの分析やヒアリング調査等を実施し、その結果を踏まえた短期集中運動型サービスを検討した。	引き続き、要支援者等の自立支援及び重度化防止を目的とするリハビリテーション提供体制の充実や社会参加の促進を図るため、短期集中運動型サービスの検討を行う。	長寿あんしん課																								
	・地域リハビリテーション活動支援事業(再)	よかよか元気クラブやお達者クラブ、高齢者クラブ等へ、リハビリ専門職を派遣し、介護予防に資する知識の普及等を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数(回)</td> <td>768</td> <td>920</td> <td>1,013</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	実施回数(回)	768	920	1,013	理学療法士等のリハビリテーション専門職が、地域の「通いの場」等において、集団及び個別指導を実施するなど、介護予防の取組に寄与した。	引き続き、よかよか元気クラブやお達者クラブ、高齢者クラブ等へ、リハビリ専門職を派遣し、介護予防に資する知識の普及等を行う。	保健予防課																
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																										
実施回数(回)	768	920	1,013																										

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
	・地域ケア会議等の開催(再)	様々な社会資源が連携することができる環境整備を行うとともに、多職種協働によるネットワークを構築するため、地域ケア会議等を開催した。 (3年度) (4年度) (5年度) 地域ケア会議 開催回数(回) 200 186 200	地域の多職種で地域課題の抽出・解決に伴う意見交換や個別事例の解決・支援を行うことにより、多職種協働によるネットワークの構築が図られている。	今後も社会資源が連携することができる環境整備を行う必要があることから、引き続き、地域ケア会議を開催し、多職種協働によるネットワークを構築する。	長寿あんしん課
	・在宅医療と介護の連携推進事業	在宅医療・介護の連携推進協議会等の開催による医療機関と介護事業所等の連携を推進するとともに、入退院支援ルールの運用、評価等を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 協議会の開催(回) 3 3 3	在宅医療・介護の連携推進協議会等の開催による医療機関と介護事業所等の連携を推進するとともに、入退院支援ルールの運用、評価等を行った。	今後も医療機関と介護事業所等の連携を推進する必要があることから、引き続き、在宅医療・介護の連携推進協議会等の開催するとともに、入退院支援ルールの運用、評価等を行う。	長寿あんしん課
	・介護サービス事業者等講演会の開催(再) ※第8期計画から掲載	事業者を対象に介護サービスに係る講演会を開催し、介護保険に係る情報の提供を行うことで事業者における介護サービスの質の向上を図った。 (3年度) (4年度) (5年度) 開催回数(回) 1 1 1 参加人数(人) 759 1,317 1,300	講演会を開催し、介護保険事業者の資質の向上を図ることで、利用者に対する適切な介護サービスの確保や、保険給付費の抑制に努めている。	講演会を開催し、介護保険事業者の資質の向上を図ることで、利用者に対する適切な介護サービスの確保や、保険給付費の抑制に努めている。	介護保険課
○高齢者のニーズに応じた住宅の提供	・有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などの情報提供	本市ホームページに関連情報を掲載し、情報提供を行った。	本市ホームページに関連情報を掲載することにより、情報提供が図られている。	今後も情報提供を行う必要があることから、引き続き、本市ホームページに関連情報を掲載する。	長寿あんしん課
	・市営住宅における高齢者等のためのバリアフリー整備(再)	既存市営住宅において、入居者の高齢化に対応するため、エレベーターの設置や住戸内の段差解消、トイレ・浴室への手摺設置などを行い、高齢化に対応した整備の充実を図る。 (3年度) (4年度) (5年度) 整備数 0戸 50戸(着手) 50戸(完成) ※個別改善工事の発注がないため	市営住宅に住む高齢者世帯への対応として、既存住宅の浴室、トイレに転倒防止用の手摺を設置したことで、バリアフリー化が図られている。	・事業の遅れへの対応。 ・入居者の高齢化に対応するため、年次計画に基づき引き続き住戸内の整備の充実を図る。	住宅課
	・優良賃貸住宅供給促進事業(サービス付き高齢者向け住宅の供給促進等)(再)	良質で家賃が比較的低廉な高齢者向け住宅等の整備を促進するため、サービス付き高齢者向け住宅の建設費の一部を補助するとともに、高齢者向け優良賃貸住宅の入居者に対して家賃補助を行う。 (3年度) (4年度) (5年度) 家賃補助 1棟 10戸 - - 建設費補助 1棟 13戸 0棟 0戸 0棟 0戸 ※R3はR2からの繰越分 ※家賃補助はR3で終了	・補助申請は無し。	近年の成果や申請状況を勘案し、今後の支援のあり方について検討が必要。	住宅課
	・養護老人ホーム等管理費及び事業費	市が設置する「谷山荘」及び「喜入園」の管理、事業運営を行う。 (3年度) (4年度) (5年度) 管理運営事業費 33,700 42,415 19,732 谷山荘(千円) 喜入園(千円) 59,249 65,792 74,433	(谷山荘) 低額な料金で居室を提供し、併せて日常生活上必要な便宜を供与するため、管理運営を行っている。 (喜入園) 入所者への必要なサービスを提供することにより、快適な生活を送れるよう支援を行っている。	(谷山荘) 今後も管理運営を継続していく。 (喜入園) 民間移譲に係る公募を行い、令和6年4月1日より社会福祉法人による事業を開始する。	谷山福祉課 喜入園

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
○多様な生活支援サービスの確保	・軽費老人ホーム(ケアハウス)事務費補助事業 ※第8期計画から掲載	家庭環境、住宅事情等の理由により居宅において生活することが困難な高齢者を低額な料金で軽費老人ホームに入所させるため、軽費老人ホームのうちケアハウスを対象に、運営に係る事務費を補助した。 補助件数 (3年度) (4年度) (5年度) 15事業所 15事業所 15事業所	家庭環境、住宅事情等の理由により居宅において生活することが困難な高齢者が低額な料金で軽費老人ホームに入所できている。	今後も家庭環境、住宅事情等の理由により居宅において生活することが困難な高齢者を低額な料金で軽費老人ホームに入所させる必要があることから、引き続き、軽費老人ホームのうちケアハウスを対象に、運営に係る事務費を補助する。	長寿あんしん課
	・ひとり暮らし高齢者等安心通報システム設置事業(再)	急病等の緊急時に、押しボタンやセンサーの通報により警備員が駆けつけ、必要に応じて救急車の出動要請を行う通報システムを設置した。 設置数(台) 310 326 316 年度末稼働台数(台) 1,463 1,470 1,529	ひとり暮らし高齢者等の緊急時の不安解消と安全確保が図られた。	ひとり暮らし高齢者等が安心して生活できるように、継続して実施する。	長寿支援課
	・心をつなぐともしびグループ活動推進事業(再)	ひとり暮らし高齢者等の安否確認、在宅福祉サービスに関する情報提供及びニーズの掘り起こし等を行う心をつなぐともしびグループの活動を推進した。 団体数(グループ) 117 118 119 対象者数(人) 1,254 1,241 1,265	地域のひとり暮らし、寝たきり、認知症等の高齢者に、声かけを行い、福祉ニーズの掘り起こし等を行っているが、活動員の減少が課題である。	ひとり暮らし高齢者等を地域で支え合う施策として重要であり、継続して事業を実施するとともに事業の周知を図る。	長寿支援課
	・心をつなぐ訪問給食事業(再)	安否確認及び食生活の手助けが必要なひとり暮らし高齢者等に、デイサービスセンター等で調理した昼食・夕食を提供した。 利用者数(人) 2,131 2,160 2,198 昼配食数(食) 329,171 330,358 341,520 夜配食数(食) 84,435 84,171 89,470	ひとり暮らし高齢者等に計画的に給食を提供することにより、健康で自立した生活の支援及び孤独感の解消、自立意欲の促進が図られた。	ひとり暮らし高齢者等の安否確認及び健康保持を図るため、継続して実施する。	長寿支援課
	・愛のふれあい会食事業(再)	家に閉じこもりがちな高齢者の孤独感の解消、健康保持及び生きがいがいづくりの促進を図るため、会食を実施する団体等に食事を提供した。 配食数(食) 58,213 29,511 97,728 利用団体 381 379 374	3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、8月16日から10月14日、1月26日から3月31日まで、4年度は、4月1日から11月24日まで事業を休止した。 4年度の6月に実施した団体向けのアンケートでは、事業再開を望む声が約8割に及び、延べ配食数も元年度同月比の約7割まで回復したことから、高齢者の孤独感の解消や健康保持及び生きがいがいづくりの促進を図れた。	配食数の地域的偏在性の解消や、高齢者数に対して団体数の少ない地域への効果的な周知方法を検討する必要がある。 また、4年度は3事業者の事業撤退があったため、安定的な配食体制を構築するために、配食事業者の確保とボランティア団体の増加に努める必要がある。	長寿支援課
・生活支援体制整備事業(再)	生活支援コーディネーターを地域包括支援センターに配置し、介護予防・生活支援サービス事業者協議会を開催するとともに、センター職員と連携しながら、訪問型住民主体サービス従事者を対象とした研修を実施する等生活支援の担い手の養成等を行った。 コーディネーター数(人) 4 4 4 協議会(市域版)開催回数(回) 2 2 2 協議会(圏域版)開催回数(回) 51 51 51	協議会の開催を通じて、多様な主体間で生活支援サービスの充実に関する協議・情報共有を行えたほか、生活支援コーディネーターを各ブロックに配置することで、多様な主体による取組みのコーディネート機能を担い、介護予防・生活支援サービス従事者研修会や支えあい活動従事者研修会の開催、支えあい活動補助金を通じた生活支援の担い手の養成が図られている。	今後も生活支援の担い手の養成等を行う必要があることから、引き続き、生活支援コーディネーターを地域包括支援センターに配置し、介護予防・生活支援サービス事業者協議会を開催するとともに、センター職員と連携しながら、訪問型住民主体サービス従事者を対象とした研修を実施する。	長寿あんしん課	

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
○地域包括支援センターを中心とした地域ネットワークの構築	・地域ケア会議等の開催(再)	様々な社会資源が連携することができる環境整備を行うとともに、多職種協働によるネットワークを構築するため、地域ケア会議等を開催した。 (3年度) (4年度) (5年度) 地域ケア会議開催回数(回) 200 186 200	地域の多職種で地域課題の抽出・解決に伴う意見交換や個別事例の解決・支援を行うことにより、多職種協働によるネットワークの構築が図られている。	今後も社会資源が連携することができる環境整備を行う必要があることから、引き続き、地域ケア会議を開催し、多職種協働によるネットワークを構築する。	長寿あんしん課
	・地域包括支援センター運営協議会の開催(再)	地域包括支援センターの適切、公正かつ中立的な運営を確保するため、サービス事業者や職能団体代表、被保険者の代表等から構成される地域包括支援センター運営協議会を開催した。 (3年度) (4年度) (5年度) 開催回数(回) 2 2 2	本協議会の開催により、地域包括支援センターの適切、公正かつ中立的な運営の確保が図られている。	今後も地域包括支援センターの適切、公正かつ中立的な運営を確保する必要があることから、引き続き、サービス事業者や職能団体代表、被保険者の代表等から構成される地域包括支援センター運営協議会を開催する。	長寿あんしん課
	・地域包括支援センターの機能強化(再)＜5年度拡充＞	地域包括ケアの中核機関である地域包括支援センターが、その機能を最大限発揮でき、高齢者等がより身近に利用できるような体制整備と環境づくりを図った。 (3年度) (4年度) (5年度) 職員数(人) 117 118 120	高齢者人口の推移や業務の実態を把握する中で、適正な人員配置を行い、地域包括支援センターの機能強化を図ることができた。	今後も地域包括ケアの中核機関である地域包括支援センターが、その機能を最大限発揮でき、高齢者等がより身近に利用できるような体制整備と環境づくりを図る必要があることから、引き続き、適正な人員配置を行い、地域包括支援センターの機能強化を図る。	長寿あんしん課
○認知症の人や家族への支援	・認知症施策推進事業(再)	認知症の人や家族の支援体制の構築と認知症ケアの向上を図るため、認知症地域支援推進員を中心に、認知症の医療と介護の連携強化を図る。併せて、認知症に関する知識の普及・啓発を行うとともに、介護家族等の精神的な負担軽減を図るため電話相談を実施した。 (3年度) (4年度) (5年度) 推進員配置数(人) 3 3 3 嘱託医配置数(人) 3 3 3	令和3年度に認知症地域支援推進員を増員し、認知症カフェの拡充や相談支援、認知症に関わる医療と介護の連携強化など、地域における支援体制の構築等が図られた。	認知症の人が住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、国の示した認知症施策推進総合戦略に基づく各種取組を実施する。 電話相談に関しては、相談員が対応できる件数にはまだ余裕があるため、介護に悩んでいるより多くの方にご利用いただけるよう、更なる周知・広報に努めながら、電話相談業務を継続する必要がある。	認知症支援室
	・認知症初期集中支援推進事業(再)	認知症の人が住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を地域包括支援センターに配置し、早期診断・対応に向けた支援を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 配置チーム数 17 17 17 訪問支援対象者数(人) 59 53 72	認知症の初期時点において集中的に対応することで、早期診断等に向けた支援が行えている。R2年度からチーム員会議が定例開催となり、複数チームが合同で参加出来ることで、他の事例も共有され、認知症ケアの質の向上が図られている。	引き続き、認知症の人が住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援支援チーム」を地域包括支援センターに配置し、認知症の早期診断・対応に向けた支援を行う。 なおR5年度は、認知症サポート医も増加していることから、認知症専門医の再選定によりチーム専門医の充実を図る。	認知症支援室
	・認知症オレンジサポーター養成事業(再)	認知症に関する正しい知識の普及や、認知症の人と家族への支援を推進するため、認知症サポーター及び認知症等見守りメイトを養成するとともに、認知症の介護教室を実施した。 (3年度) (4年度) (5年度) サポーター講座開催回数(回) 70 65 120 サポーター養成数(人) 2,075 1,757 4841 メイト養成講座回数(回) 2 2 2 メイト養成数(人) 85 71 90 介護教室開催回数(回) 2 2 2	コロナの影響で、養成数は減少しているが、認知症サポーター養成講座や認知症見守りメイト養成講座等を実施することで、地域で温かく見守る応援者や声掛け等を行うボランティアが養成され、また、介護教室を開催することで、知識はもちろん、参加者の交流会で同家族等の気持ちの共有等が図られることから、認知症の人や家族への体制が整備されていると考えられる。	引き続き、認知症に関する正しい知識の普及や、認知症の人と家族への支援を推進するため、認知症サポーター及び認知症等見守りメイトを養成するとともに、認知症の介護教室を実施する。	認知症支援室

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課												
	・認知症あんしんサポート事業(再)	市のLINE公式アカウントを活用し、認知症などにより行方不明となった事前登録者の情報を協力サポーターに配信することにより、行方不明者の早期発見につなげる仕組みを構築した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>事前登録者数(人、累計)</td> <td>31</td> <td>78</td> <td></td> </tr> <tr> <td>協力サポーター数(人、累計)</td> <td>822</td> <td>2,561</td> <td></td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	事前登録者数(人、累計)	31	78		協力サポーター数(人、累計)	822	2,561		事前登録者、協力サポーターの増加を図るために、医療・介護・福祉関係団体等への登録呼びかけ等により、登録者の増加を図るとともに、サポーター養成講座等の情報配信等を行い、早期発見につなげる仕組みの構築を図った。	認知症基本法で規定された日常生活や社会生活を営む基盤となるサービスの提供事業者への責務に基づき、公共交通事業者や金融機関などに協力依頼を行うなど、事業効果を高めるため、協力サポーターの更なる登録促進等に努める。	認知症支援室
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
事前登録者数(人、累計)	31	78															
協力サポーター数(人、累計)	822	2,561															
(2)在宅医療・介護の連携推進 ○在宅医療・介護従事者の連携体制の構築	・在宅医療・介護の連携推進協議会の開催	在宅医療・介護の連携を推進し、地域包括ケアシステムを構築するため、「在宅医療・介護の連携推進協議会」を開催した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>協議会開催回数(回)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	協議会開催回数(回)	3	3	3	「在宅医療・介護の連携推進協議会」を開催し、医療と介護の専門職が円滑に連携するための取組について、共通認識が図られた。また、市民へ在宅医療についての周知を図るため、在宅医療リーフレットの見直しを行った。	今後も在宅医療・介護の連携を推進し、地域包括ケアシステムを構築する必要があることから、引き続き、「在宅医療・介護の連携推進協議会」を開催する。	長寿あんしん課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
協議会開催回数(回)	3	3	3														
	・多職種連携会議の開催	多職種連携会議を開催し、医療・介護の専門職同士の学び合いを促進し、連携を図った。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>会議開催回数(回)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>会議延参加者数(人)</td> <td>202</td> <td>205</td> <td>210</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	会議開催回数(回)	1	1	1	会議延参加者数(人)	202	205	210	多職種連携会議を開催し、医療・介護の専門職同士が学び合い、連携が図られた。	今後も医療・介護の専門職同士の学び合いを促進し、連携を図る必要があることから、引き続き、多職種連携会議を開催する。	長寿あんしん課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
会議開催回数(回)	1	1	1														
会議延参加者数(人)	202	205	210														
	・在宅医療・介護サービスの情報の共有支援	情報共有の具体的な流れを示したフロー等を更新し、関係団体等での利用を促進するとともに、多職種連携会議等を通して、情報の共有を図った。	情報共有の具体的な流れを示したフロー等の更新及び市ホームページの更新を行い、関係団体等での利用を促進するとともに、多職種連携会議等を通して、情報の共有を図った。	今後も情報共有の支援を行う必要があることから、引き続き、情報共有の具体的な流れを示したフロー等を活用し、関係団体等での利用を促進するとともに、多職種連携会議等を通して、情報の共有を図る。	長寿あんしん課												
	・二次医療圏内の関係市町村の連携	県及び関係市と連携して、入退院支援ルールの運用・評価等を行った。	県及び関係市と連携して、入退院支援ルールの運用・評価等を行った。	今後も県及び関係市と連携して取り組む必要があることから、引き続き、連携する中で、入退院支援ルールの運用・評価等を行う。	長寿あんしん課												
○在宅医療に関する情報提供	・地域の医療・介護サービス資源の把握	地域における医療機関や介護事業所等を掲載した在宅医療・介護資源マップのデータを更新した。	地域における医療機関や介護事業所等を掲載した在宅医療・介護資源マップのデータを更新し、市ホームページに掲載した。	今後も地域の資源の把握及び情報提供を行う必要があることから、引き続き、地域における医療機関や介護事業所等を掲載した在宅医療・介護資源マップのデータを更新する。	長寿あんしん課												
	・在宅医療・介護連携に関する相談支援	在宅医療と介護の連携を推進するため、在宅医療・介護従事者向けの相談窓口の運営を行った。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>相談窓口設置数(か所)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	相談窓口設置数(か所)	1	1	1	在宅医療・介護従事者向けの相談窓口(鹿児島市在宅医療・介護連携支援センター)の運営を行い、在宅医療と介護の連携が促進された。課題としては、コーディネーターが定着しないことが挙げられる。	今後も在宅医療と介護の連携を推進する必要があることから、引き続き、在宅医療・介護従事者向けの相談窓口の運営を行う。	長寿あんしん課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
相談窓口設置数(か所)	1	1	1														
	・在宅医療・介護に関する在宅医療のパンフレット配布	在宅医療・介護の普及・啓発を図るため、在宅医療リーフレットの配布を行った。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>リーフレット作成部数(部)</td> <td>—</td> <td>7,500</td> <td>—</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	リーフレット作成部数(部)	—	7,500	—	在宅医療・介護の普及・啓発を図るため、在宅医療リーフレットを作成し、窓口設置及び各関係機関・関係団体等へ配布を行い、周知を図った。	今後も在宅医療・介護の普及・啓発を図る必要があることから、引き続き、在宅医療リーフレットの作成・配布を行う。	長寿あんしん課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
リーフレット作成部数(部)	—	7,500	—														

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
○在宅医療・介護従事者の資質向上	・在宅医療・介護に関する市民向け講演会の開催	在宅医療・介護の連携の理解を促進するため、市民向け講演会を開催した。 (3年度) (4年度) (5年度) 講演会開催回数(回) 1 1 1 講演会参加者数(人) 87 191 200	市民向け講演会を開催し、市民の在宅医療・介護についての理解を促進する機会を設けることができた。	今後も在宅医療・介護の連携の理解を促進する必要があることから、引き続き、市民向け講演会を開催する。	長寿あんしん課
	・在宅医療・介護従事者向け研修会の開催	在宅医療・介護の連携体制を構築するとともに、理解の促進を図るため、地域の在宅医療・介護に関わる多職種を対象とした研修会を開催した。 (3年度) (4年度) (5年度) 研修会開催回数(回) 1 1 3 研修会参加者数(人) 202 205 210	多職種連携会議を開催し、医療・介護の専門職同士が学び合い、連携が図られた。	今後も在宅医療・介護の連携体制を構築するとともに、理解の促進を図る必要があることから、引き続き、地域の在宅医療・介護に関わる多職種を対象とした研修会を開催する。	長寿あんしん課
	・多職種連携会議の開催(再)	多職種連携会議を開催し、医療・介護の専門職同士の学び合いを促進し、顔の見える関係づくりを促進した。 (3年度) (4年度) (5年度) 会議開催回数(回) 1 1 3 会議参加者数(人) 202 205 210	多職種連携会議を開催し、医療・介護の専門職同士が学び合い、連携が図られた。	今後も医療・介護の専門職同士の学び合いを促進し、連携を図る必要があることから、引き続き、多職種連携会議を開催する。	長寿あんしん課
○認知症の人やその家族に対する支援	・認知症初期集中支援推進事業(再)	認知症の人が住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を地域包括支援センターに配置し、早期診断・対応に向けた支援を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 配置チーム数 17 17 17 訪問支援対象者数(人) 59 53 72	認知症の初期時点において集中的に対応することで、早期診断等に向けた支援が行えている。R2年度からチーム員会議が定例開催となり、複数チームが合同で参加出来ることで、他の事例も共有され、認知症ケアの質の向上が図られている。	引き続き、認知症の人が住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援支援チーム」を地域包括支援センターに配置し、認知症の早期診断・対応に向けた支援を行う。 なおR5年度は、認知症サポート医も増加していることから、認知症専門医の再選定によりチーム専門医の充実を図る。	認知症支援室
(3)地域包括支援センターの機能強化 ○地域包括支援センターの体制整備	・地域包括支援センターの機能強化(再)＜5年度拡充＞	地域包括ケアの中核機関である地域包括支援センターが、その機能を最大限発揮でき、高齢者等がより身近に利用できるような体制整備と環境づくりを図った。 (3年度) (4年度) (5年度) 職員数(人) 117 118 120	高齢者人口の推移や業務の実態を把握する中で、適正な人員配置を行い、地域包括支援センターの機能強化を図ることができた。	今後も地域包括ケアの中核機関である地域包括支援センターが、その機能を最大限発揮でき、高齢者等がより身近に利用できるような体制整備と環境づくりを図る必要があることから、引き続き、適正な人員配置を行い、地域包括支援センターの機能強化を図る。	長寿あんしん課
	・生活支援体制整備事業(再)	生活支援コーディネーターを地域包括支援センターに配置し、介護予防・生活支援サービス事業者協議会を開催するとともに、センター職員と連携しながら、訪問型住民主体サービス従事者を対象とした研修を実施する等生活支援の担い手の養成等を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) コーディネーター数(人) 4 4 4 協議会(市域版)開催回数(回) 2 2 2 協議会(圏域版)開催回数(回) 51 51 51	協議会の開催を通じて、多様な主体間で生活支援サービスの充実に関する協議・情報共有を行えたほか、生活支援コーディネーターを各ブロックに配置することで、多様な主体による取組みのコーディネート機能を担い、介護予防・生活支援サービス従事者研修会や支えあい活動従事者研修会の開催、支えあい活動補助金を通じた生活支援の担い手の養成が図られている。	今後も生活支援の担い手の養成等を行う必要があることから、引き続き、生活支援コーディネーターを地域包括支援センターに配置し、介護予防・生活支援サービス事業者協議会を開催するとともに、センター職員と連携しながら、訪問型住民主体サービス従事者を対象とした研修を実施する。	長寿あんしん課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
	・認知症施策推進事業(認知症地域支援推進員及び嘱託医の配置)(再)	認知症の人や家族の支援体制の構築と認知症ケアの向上を図るため、認知症地域支援推進員を中心に、認知症の医療と介護の連携強化を図った。 (3年度) (4年度) (5年度) 推進員配置数(人) 3 3 3 嘱託医配置数(人) 3 3 3	3年度に認知症地域支援推進員を増員し、医療・介護機関等への訪問や会議出席することで、認知症に関わる医療と介護の連携強化、地域における支援体制の構築を図った。	引き続き、認知症の人や家族の支援体制の構築と認知症ケアの向上を図るため、認知症地域支援推進員及び嘱託医を配置し、医療と介護の連携強化を図る。	認知症支援室
	・認知症初期集中支援推進事業(再)	認知症の人が住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を地域包括支援センターに配置し、早期診断・対応に向けた支援を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 配置チーム数 17 17 17 訪問支援対象者数(人) 59 53 72	認知症の初期時点において集中的に対応することで、早期診断等に向けた支援が行われている。R2年度からチーム員会議が定例開催となり、複数チームが合同で参加出来ることで、他の事例も共有され、認知症ケアの質の向上が図られている。	引き続き、認知症の人が住み慣れた地域で生活を継続することができるよう、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を地域包括支援センターに配置し、認知症の早期診断・対応に向けた支援を行う。 なおR5年度は、認知症サポート医も増加していることから、認知症専門医の再選定によりチーム専門医の充実を図る。	認知症支援室
	・地域包括支援センター運営協議会の開催	地域包括支援センターの適切、公正かつ中立的な運営を確保するため、サービス事業者や職能団体代表、被保険者の代表等から構成される地域包括支援センター運営協議会を開催した。 (3年度) (4年度) (5年度) 開催回数(回) 2 2 2	本協議会の開催により、地域包括支援センターの適切、公正かつ中立的な運営の確保が図られている。	今後も地域包括支援センターの適切、公正かつ中立的な運営を確保する必要があることから、引き続き、サービス事業者や職能団体代表、被保険者の代表等から構成される地域包括支援センター運営協議会を開催する。	長寿あんしん課
	・職員研修の実施	地域包括支援センターの職員等の資質向上を図る観点から、国、県等が行う研修に積極的に参加するとともに、地域包括支援センター内部においても職員研修等を積極的に実施した。 (3年度) (4年度) (5年度) 開催回数(回) 190 196 220	職員の資質向上が図られている。	今後も地域包括支援センターの職員等の資質向上を図る必要があることから、引き続き、国、県等が行う研修に積極的に参加するとともに、地域包括支援センター内部においても職員研修等を積極的に実施する。	長寿あんしん課
○地域の関係機関との連携	・地域ケア会議等の開催	様々な社会資源が連携することができる環境整備を行うとともに、多職種協働によるネットワークを構築するため、地域ケア会議等を開催した。 (3年度) (4年度) (5年度) 地域ケア会議 開催回数(回) 200 186 200	地域の多職種で地域課題の抽出・解決に伴う意見交換や個別事例の解決・支援を行うことにより、多職種協働によるネットワークの構築が図られている。	今後も社会資源が連携することができる環境整備を行う必要があることから、引き続き、地域ケア会議を開催し、多職種協働によるネットワークを構築する。	長寿あんしん課
	・地域包括支援センターによる関係機関等とのネットワーク構築	様々な社会資源が連携することができる環境整備を行うとともに、多職種協働によるネットワークを構築するため、地域ケア会議等を開催した。 (3年度) (4年度) (5年度) 地域ケア会議 開催回数(回) 200 186 200	地域の多職種で地域課題の抽出・解決に伴う意見交換や個別事例の解決・支援を行うことにより、多職種協働によるネットワークの構築が図られている。	今後も社会資源が連携することができる環境整備を行う必要があることから、引き続き、地域ケア会議を開催し、多職種協働によるネットワークを構築する。	長寿あんしん課
○地域包括支援センターの役割の明確化	・地域包括支援センター事業実施方針に基づいた業務運営	鹿児島市地域包括支援センター事業実施方針を作成し、地域包括支援センターの円滑かつ効率的な運営を行った。	地域包括支援センターの円滑かつ効率的な運営が図られている。	今後も地域包括支援センターの円滑かつ効率的な運営を行う必要があることから、引き続き、鹿児島市地域包括支援センター事業実施方針を作成する。	長寿あんしん課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課												
(4) 地域づくりの支援 ○ 地域福祉推進体制の充実	・地域福祉ネットワークの推進	校区社会福祉協議会等が主体となり小地域福祉ネットワークをつくり、このネットワークを支援する地域福祉館等を単位とした地域福祉ネットワークを充実し地域での活動を支援した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>団体数</td> <td>455</td> <td>448</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>構成員(人)</td> <td>158,146</td> <td>156,122</td> <td>161,075</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	団体数	455	448	450	構成員(人)	158,146	156,122	161,075	地域福祉ネットワークの主体となる小地域福祉ネットワーク団体の団体数及び構成員数が過去5年間でみると概ね増加傾向であり、地域福祉ネットワークの推進が図られている。	今後とも、地域福祉ネットワークの充実を図りながら地域での活動を支援する。	地域福祉課
		(3年度)	(4年度)	(5年度)													
	団体数	455	448	450													
	構成員(人)	158,146	156,122	161,075													
・民生委員・児童委員による援護を必要とする住民の見守りと相談支援活動の推進	援護を必要とする住民の見守りや相談支援活動を実施した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>相談・支援件数(件)</td> <td>43,416</td> <td>42,055</td> <td>42,735</td> </tr> <tr> <td>高齢者関係(件)</td> <td>26,279</td> <td>25,523</td> <td>25,901</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	相談・支援件数(件)	43,416	42,055	42,735	高齢者関係(件)	26,279	25,523	25,901	民生委員・児童委員は、地域福祉の増進、母子保健の推進、児童の健全育成等の活動を行っている。民生委員・児童委員の活動により、地域福祉の向上に結びつくとともに、地域ケア体制の充実と関係機関との連携が図られている。	民生委員・児童委員の活動はますます重要になってきているため、今後も、引き続き地域で住民に対する当該活動を行い、また、行政と住民とのパイプ役として、関係機関と連携し、地域住民の福祉増進のために積極的な取り組みを行う。	地域福祉課	
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
相談・支援件数(件)	43,416	42,055	42,735														
高齢者関係(件)	26,279	25,523	25,901														
・関係機関団体との意見交換会等の実施	本市の福祉行政について、関係各課と地区民児協会長との意見交換会を実施した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	実施回数	1	1	1	意見交換会を実施することで、本市福祉行政の協力者として、調査活動・啓発活動に従事する他、地域住民の相談等に応じ市と地域住民との仲介役を果たしている民生委員と、行政との連携強化が図られている。	今後も、意見交換会を実施し、民生委員と行政との連携強化を図る。	地域福祉課					
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
実施回数	1	1	1														
・ボランティア活動の促進、啓発	ボランティアセンターへのボランティア登録を促進し、団体の活動を支援した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>広報誌の発行回数(回)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	広報誌の発行回数(回)	3	3	3	ボランティアセンターへのボランティア登録が促進され、団体の活動が支援されている。	今後もボランティアセンターへの登録団体の加入を促進し、支援する。	地域福祉課					
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
広報誌の発行回数(回)	3	3	3														
○ 住民参加の促進	・老人クラブ補助金交付事業(再)	高齢者の生きがいの促進を図るため、各種補助金を交付し、高齢者クラブの育成等に努めた。 ※令和3年4月1日、老人クラブ⇒高齢者クラブへ名称変更 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>団体数(クラブ)</td> <td>315</td> <td>317</td> <td>317</td> </tr> <tr> <td>会員数(人)</td> <td>15,934</td> <td>15,419</td> <td>15,065</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	団体数(クラブ)	315	317	317	会員数(人)	15,934	15,419	15,065	コロナ禍により、廃止・休止クラブの増加や会員数の急激な減少が見られたため、引き続き、高齢者クラブ活動の広報周知や補助金交付申請の簡素化等に注力し、クラブ数及び会員数の減少防止対策に取り組む必要がある。	高齢者の生きがいの促進を図るため、引き続き、各種補助金を交付し、高齢者クラブの育成等に努める。	長寿支援課
		(3年度)	(4年度)	(5年度)													
団体数(クラブ)	315	317	317														
会員数(人)	15,934	15,419	15,065														
・地域のリーダー及び担い手の育成(地域福祉ネットワークの推進)	地域福祉ネットワークを構築することで、地域人材の発掘や育成を支援した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>福祉館管理委託料(千円)</td> <td>436,389</td> <td>447,142</td> <td>471,094</td> </tr> <tr> <td>支援員委託料(千円)</td> <td>29,150</td> <td>29,205</td> <td>30,085</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	福祉館管理委託料(千円)	436,389	447,142	471,094	支援員委託料(千円)	29,150	29,205	30,085	地域福祉ネットワークを構築することで、地域人材の発掘や育成を支援しているが、人材確保が難しい地域もある。	今後も地域福祉館や地域福祉支援員を活用し、地域福祉ネットワークの推進を図りながら、福祉活動を推進する人材の掘り起こしや育成を充実していく。	地域福祉課	
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
福祉館管理委託料(千円)	436,389	447,142	471,094														
支援員委託料(千円)	29,150	29,205	30,085														

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																
	・地域のリーダー及び担い手の育成 (コミュニティ活動推進講座)	町内会等地域コミュニティの運営を行う事務処理に精通した人材を育成するため、パソコン講座を行う。(R3～4年度事業休止中) ○コミュニティ活動推進講座 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数(回)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>受講者数(人)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	開催回数(回)	0	0	-	受講者数(人)	0	0	-	新型コロナウイルス感染症の影響を受けR3から4年度にかけ事業を休止しており、評価はしていない。 支援内容を見直すため、「コミュニティ活動推進講座」はR4年度に廃止し、若年層の参加促進を行う「町内会の多様な世代の参加応援事業」をR5年度より実施することとした。	本計画において、コミュニティ活動推進講座は、地域包括ケアの推進を図るために、地域住民(主に高齢者)の参加を促進するための事業として位置づけられていたが、R5年度から代替事業として実施する「町内会の多様な世代参加応援事業」は、主に若年層の町内会への参加促進を目的とした事業であり、直接的に地域包括ケアの推進に資する事業でないことから、9期計画には掲載しないこととする。	地域づくり推進課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
開催回数(回)	0	0	-																		
受講者数(人)	0	0	-																		
	・生活支援体制整備事業 (再)	生活支援コーディネーターを地域包括支援センターに配置し、介護予防・生活支援サービス事業者協議会を開催するとともに、センター職員と連携しながら、訪問型住民主体サービス従事者を対象とした研修を実施する等生活支援の担い手の養成等を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コーディネーター数(人)</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>協議会(市域版)開催回数(回)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>協議会(圏域版)開催回数(回)</td> <td>51</td> <td>51</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	コーディネーター数(人)	4	4	4	協議会(市域版)開催回数(回)	2	2	2	協議会(圏域版)開催回数(回)	51	51	51	協議会の開催を通じて、多様な主体間で生活支援サービスの充実に関する協議・情報共有を行えたほか、生活支援コーディネーターを各ブロックに配置することで、多様な主体による取組みのコーディネート機能を担い、介護予防・生活支援サービス従事者研修会や支えあい活動従事者研修会の開催、支えあい活動補助金を通じた生活支援の担い手の養成が図られている。	今後も生活支援の担い手の養成等を行う必要があることから、引き続き、生活支援コーディネーターを地域包括支援センターに配置し、介護予防・生活支援サービス事業者協議会を開催するとともに、センター職員と連携しながら、訪問型住民主体サービス従事者を対象とした研修を実施する。	長寿あんしん課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
コーディネーター数(人)	4	4	4																		
協議会(市域版)開催回数(回)	2	2	2																		
協議会(圏域版)開催回数(回)	51	51	51																		
○地域福祉推進団体の育成、支援	・心をつなぐともしびグループ活動推進事業 (再)	ひとり暮らし高齢者等の安否確認、在宅福祉サービスに関する情報提供及びニーズの掘り起こし等を行う心をつなぐともしびグループの活動を推進した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体数</td> <td>117</td> <td>118</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>対象者数(人)</td> <td>1,254</td> <td>1,241</td> <td>1,265</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	団体数	117	118	119	対象者数(人)	1,254	1,241	1,265	地域のひとり暮らし、寝たきり、認知症等の高齢者に、声かけを行い、福祉ニーズの掘り起こし等を行っているが、活動員の減少が課題である。	ひとり暮らし高齢者等を地域で支え合う施策として重要であり、継続して事業を実施するとともに事業の周知等を図る。	長寿支援課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
団体数	117	118	119																		
対象者数(人)	1,254	1,241	1,265																		
	・地域福祉推進事業	46の地域福祉館等において、地域福祉活動に対する支援を行うなど、地域福祉館等を拠点とした地域福祉ネットワークの推進を図った。 推進拠点:地域福祉館等 46施設	46の地域福祉館等を拠点とした地域福祉ネットワークの推進を図ることにより、校区社会福祉協議会など地域の団体を育成・支援することができた。	今後も46の地域福祉館等の推進拠点において、地域福祉活動に対する支援を行い、地域福祉ネットワークの推進を図るとともに、団体間等の連携や情報交換を促進し、福祉活動の充実を図る。	地域福祉課																
	・社会福祉協議会補助金	市民の福祉の増進を図るため、市社会福祉協議会の行う事業に対し、補助金を交付した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助金額(千円)</td> <td>194,683</td> <td>162,724</td> <td>165,007</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	補助金額(千円)	194,683	162,724	165,007	市民の福祉の増進が図られている。	今後とも、市民の福祉の増進を図るため、市社会福祉協議会の行う事業に対し、補助金を交付する。	地域福祉課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
補助金額(千円)	194,683	162,724	165,007																		
	・民生委員児童委員活動促進事業	地域で住民に対する相談・援助活動を行い、また、行政と住民とのパイプ役として、関係機関と連携し、地域住民の福祉増進のために積極的な取組みを行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費(千円)</td> <td>186,230</td> <td>186,268</td> <td>186,405</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	事業費(千円)	186,230	186,268	186,405	地域福祉、見守り活動が強化されるとともに、行政及び関係機関団体との協力推進が図られている。 民生委員児童委員活動に向けた研修の強化が必要である。	民生委員・児童委員の活動はますます重要になってきているため、今後も、引き続き地域で住民に対する当該活動を行い、また、行政と住民とのパイプ役として、関係機関と連携し、地域住民の福祉増進のために積極的な取組みを行う。	地域福祉課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
事業費(千円)	186,230	186,268	186,405																		

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
○福祉への理解の促進	・地域福祉館管理運営事業	地域に密着した利用しやすい施設の運営に努めた。 また、関係各課や関係団体との連携を図り、さらに有効な利用促進に努め、合わせて、地域福祉ネットワークの拠点としての施設機能の向上を図った。 (3年度) (4年度) (5年度) 利用者数(人) 504,467 557,894 585,700	地域福祉館職員等の研修や情報交換等を重ね、また、関係団体等との連携を図ることにより、地域の福祉相談や福祉活動の支援を行い、地域住民の福祉の向上を図っている。	引き続き、地域福祉ネットワークの推進拠点として、地域の福祉相談や福祉活動の支援等を行い、地域に密着した利用しやすい施設の運営に努める。	地域福祉課
	・地域保健活動事業(保健所ボランティアの育成)	地域保健に関する活動をさらに推進するために、食生活改善推進員・運動普及推進員・健康づくり推進員・精神保健福祉ボランティア・母子保健推進員の合同研修会を開催した。 (3年度) (4年度) (5年度) 実施回数 - 1 1 参加者数 - 183 400 3年度中止	地域保健に関する活動をさらに推進するために、食生活改善推進員・運動普及推進員・健康づくり推進員・精神保健福祉ボランティア・母子保健推進員の表彰や合同研修会を行うなど、地域の健康づくりに対する意識の向上に寄与した。	引き続き、地域保健に関する活動をさらに推進するために、食生活改善推進員・運動普及推進員・健康づくり推進員・精神保健福祉ボランティア・母子保健推進員の表彰及び合同研修会を開催する。	保健予防課
	・コミュニティビジョン推進事業	市内全域での協議会設立に向けて取り組むとともに、既設協議会のプラン策定、及びプランに基づく活動等を支援する。	各校区の地域コミュニティ協議会のプラン策定及びプランに基づく活動等を支援した。	R4年度にコミュニティ意見懇話会を実施し、コミュニティ協議会の現在の課題を「協議会という組織と活動目的の確認と発信」、「地域住民の参加・参画の促進」、「リーダー及び担い手の育成」、「市における連携・協力体制の充実」の4つに整理した。 今後はこれらの課題に対する各種支援策の実施について検討していく。	地域づくり推進課
	・ボランティア推進校支援事業補助金	市社会福祉協議会が、市内の小・中・高校をボランティア推進校として指定し、青少年に対する福祉・ボランティア教育の推進を図るための事業に対し、補助金を交付した。 (3年度) (4年度) (5年度) 補助金額(千円) 2,746 2,649 3,619	青少年に対する福祉・ボランティア教育の推進が図られる。	今後とも、市社会福祉協議会が、市内の小・中・高校・特別支援学校をボランティア推進校として指定し、青少年に対する福祉・ボランティア教育の推進を図るための事業に対し、補助金を交付する。	地域福祉課
	・保育所地域活動事業(世代間交流等事業)	老人福祉施設・介護老人保健施設等への訪問、あるいはこれら施設や地域のお年寄りを招待し、劇、季節的行事、手作り玩具製作、伝承遊びなどを通じて世代間のふれあい活動を行う。 (3年度) (4年度) (5年度) 実施施設数(か所) 68 75 80	施設や地域のお年寄りや園児とのふれあい交流等を実施することで、世代間、地域間でのふれあい活動の促進が図られている。	引き続き、老人福祉施設・介護老人保健施設等への訪問、又はこれら施設や地域のお年寄りを保育所等へ招待し、劇、季節的行事、手作り玩具製作、伝承遊びなどを行うことで世代間のふれあい活動の促進を図る。	保育幼稚園課
	・福祉読本作成事業	高齢社会や福祉に対する理解促進を図るため、小学校高学年を対象に福祉読本「ふれあい」を配付した。 (3年度) (4年度) (5年度) 小学校高学年用(部) 6,350 6,400 冊子500部 CD100部	高齢者や障がい者への正しい認識と理解を深めてもらうよう図った。	高齢社会や福祉に対する理解促進を図るため、継続して事業を実施する。	長寿支援課
	・学校における福祉、ボランティア活動	各学校において、総合的な学習の時間等により福祉教育の取組等(看護介護体験、老人ホームや養護学校の訪問や交流活動等)を実施する。	コロナ禍でやむなく計画を変更せざるを得ない学校も見られたが、可能な範囲で福祉体験学習等を実施することができた。改めて、福祉体験の重要性を認識した。	福祉・ボランティアに関する学習の重要性に鑑み、各学校に対して総合的な学習の時間等に介護体験や交流活動等の取組をより一層進めるよう指導及び支援を行う。	学校教育課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																			
○関係団体等との連携による 保健・福祉サービスの実施	・地域ふれあい交流助成事業(再)	地域における高齢者と小中学生等とのふれあい交流を促進するため、地域の団体が実施する事業に要する経費を助成した。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>事業数(回)</td> <td>35</td> <td>40</td> <td>77</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	事業数(回)	35	40	77	コロナの影響で交流事業を控える団体が多く、申請件数が激減した。交付決定後の中止も相次ぎ、令和4年度の助成事業数は元年度比の約2割に留まったが、実施した団体においては、交流事業を通して高齢者の生きがいがいつりの促進や小中学生の高齢社会に対する理解を深めることができた。	地域における高齢者と小中学生等とのふれあい交流を促進するため、継続して実施するとともに、事業数の増加を図る。	長寿支援課											
		(3年度)	(4年度)	(5年度)																				
	事業数(回)	35	40	77																				
	・すこやか長寿まつり開催事業(再)	高齢者の社会参加や生きがいがいつり・健康づくりを促進するスポーツ・文化のイベントとして「すこやか長寿まつり」を開催する。 ※3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>予定イベント数(種目)</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>参加者(人)</td> <td>1,573</td> <td>1,414</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※申込者数</td> <td>※参加者実数</td> <td>※見込数</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	予定イベント数(種目)	2	4	4	参加者(人)	1,573	1,414	1,600		※申込者数	※参加者実数	※見込数	3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。4年度は、開催規模を縮小しながら各イベントを実施し、高齢者の社会参加や生きがいがいつり・健康づくりを促進が図られた。	高齢者の社会参加や生きがいがいつり・健康づくりを促進するスポーツ・文化のイベントとして、継続して「すこやか長寿まつり」を開催する。	長寿支援課			
		(3年度)	(4年度)	(5年度)																				
予定イベント数(種目)	2	4	4																					
参加者(人)	1,573	1,414	1,600																					
	※申込者数	※参加者実数	※見込数																					
・わくわく福祉交流フェア事業	市社会福祉協議会与協働で市民の福祉への理解や交流を深めることを目的にイベントを開催する。(3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>参加者(人)</td> <td>-</td> <td>5,000人</td> <td>7,000人</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	参加者(人)	-	5,000人	7,000人	多くの市民並びに各福祉関係団体や社会福祉施設が多彩な催しを通して相互に交流し、福祉に対する関心と理解を深め、地域福祉が推進されている。	市社会福祉協議会与協働で、市民の福祉への理解や交流を深めることを目的に、継続して開催する。	地域福祉課												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																					
参加者(人)	-	5,000人	7,000人																					
・お達者クラブ運営支援事業(再)	地域の身近な公民館等で地域ボランティア等の協力を得て、体操や健康講座、創作活動、認知症予防などの介護予防活動を行った。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>実施か所(か所)</td> <td>205</td> <td>195</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>参加者数(人)</td> <td>4,735</td> <td>4,257</td> <td>5,000</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	実施か所(か所)	205	195	200	参加者数(人)	4,735	4,257	5,000	地域の实情により、実施箇所数は減少傾向にあるが、身近な公民館等で地域ボランティア等の協力を得て、体操や健康講座、創作活動、認知症予防等の介護予防活動を行い、高齢者の介護予防と社会参加の推進に寄与した。	引き続き、地域の身近な公民館等で地域ボランティア等の協力を得て、体操や健康講座、創作活動、認知症予防などの介護予防活動を行う。	保健予防課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																					
実施か所(か所)	205	195	200																					
参加者数(人)	4,735	4,257	5,000																					
・すこやか長寿健康支援事業(再)	高齢者への個別的支援や通いの場等において医療機関団体と連携を図りながら健康教育・健康相談を行った。 ○高齢者に対する個別的支援(ハイリスクアプローチ) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>実人数(人)</td> <td>1,407</td> <td>2,904</td> <td>1,852</td> </tr> <tr> <td>延人数(人)</td> <td>2,145</td> <td>4,478</td> <td>3,704</td> </tr> </table> ○通いの場等への積極的な関与(ポピュレーションアプローチ) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>32,128</td> <td>35,136</td> <td>13,290</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	実人数(人)	1,407	2,904	1,852	延人数(人)	2,145	4,478	3,704		(3年度)	(4年度)	(5年度)	人数(人)	32,128	35,136	13,290	高齢者への個別的支援や通いの場等において医療機関団体等と連携を図りながら健康教育・健康相談を行うことで、市民の健康の保持増進に寄与した。	高齢者への個別支援や通いの場等において医療機関団体等と連携を図りながら健康教育・健康相談を行う。	保健予防課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																					
実人数(人)	1,407	2,904	1,852																					
延人数(人)	2,145	4,478	3,704																					
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																					
人数(人)	32,128	35,136	13,290																					

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																				
	・シニア世代のヘルスプロモーション事業(再)	<p>65歳以上の高齢者を対象に、介護予防、生活習慣病予防の啓発のための健康教育や個別の相談を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康教育開催回数(回)</td> <td>130</td> <td>122</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>健康教育実施人数(人)</td> <td>2,950</td> <td>2,448</td> <td>1,540</td> </tr> <tr> <td>健康相談回数(回)</td> <td>185</td> <td>172</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>健康相談人数(人)</td> <td>1,602</td> <td>1,604</td> <td>2,700</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	健康教育開催回数(回)	130	122	59	健康教育実施人数(人)	2,950	2,448	1,540	健康相談回数(回)	185	172	180	健康相談人数(人)	1,602	1,604	2,700	<p>65歳以上の高齢者を対象に、薬剤師による薬の健康教室を実施する等、関係団体等との連携による保健サービスの提供を行うことで、高齢者の健康に対する正しい知識の習得や健康づくりに寄与した。</p>	<p>引き続き、65歳以上の高齢者を対象に、介護予防、生活習慣病予防の啓発のための健康教育や個別の相談を実施する。</p>	保健予防課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
健康教育開催回数(回)	130	122	59																						
健康教育実施人数(人)	2,950	2,448	1,540																						
健康相談回数(回)	185	172	180																						
健康相談人数(人)	1,602	1,604	2,700																						
	・愛のふれあい会食事業(再)	<p>家に閉じこもりがちな高齢者の孤独感の解消、健康保持及び生きがいがづくりの促進を図るため、会食を実施する団体等に食事を提供した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配食数(食)</td> <td>58,213</td> <td>29,511</td> <td>97,728</td> </tr> <tr> <td>利用団体</td> <td>381</td> <td>379</td> <td>374</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	配食数(食)	58,213	29,511	97,728	利用団体	381	379	374	<p>3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、8月16日から10月14日、1月26日から3月31日まで、4年度は、4月1日から11月24日まで事業を休止した。 4年度の6月に実施した団体向けのアンケートでは、事業再開を望む声が約8割に及び、延べ配食数も元年度同月比の約7割まで回復したことから、高齢者の孤独感の解消や健康保持及び生きがいがづくりの促進を図れた。</p>	<p>配食数の地域的偏在性の解消や、高齢者数に対して団体数の少ない地域への効果的な周知方法を検討する必要がある。 また、4年度は3事業者の事業撤退があったため、安定的な配食体制を構築するために、配食事業者の確保とボランティア団体の増加に努める必要がある。</p>	長寿支援課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
配食数(食)	58,213	29,511	97,728																						
利用団体	381	379	374																						
	・民生委員児童委員見守り活動支援事業	<p>支援が必要な地域住民の早期発見につながるよう、活動支援、市民への周知・広報、地域の見守り活動協力事業者の呼びかけを行い、民生委員・児童委員の地域での見守り活動を支援した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問連絡カード作成(冊)</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,200</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	訪問連絡カード作成(冊)	1,300	1,300	1,200	<p>支援が必要な地域住民の早期発見と、把握及び対応につながることから、地域福祉の向上が図られる。</p>	<p>支援が必要な地域住民の早期発見につながるよう、活動支援、市民への周知・広報、地域の見守り活動協力事業者の呼びかけを行い、民生委員・児童委員の地域での見守り活動を支援する。</p>	地域福祉課												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
訪問連絡カード作成(冊)	1,300	1,300	1,200																						

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
3高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進 (1)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進 ○地域課題の分析と対象者の把握や医療関係団体等との連携	・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、医療・介護・健診データ分析により、地域の健康課題の把握及び支援対象者の抽出を行々とともに、事業全体の企画・調整などを行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 協議会開催(回) 2 2 2	高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、医療・介護・健診データ分析により、地域の健康課題の把握及び支援対象者の抽出を行々とともに、事業全体の企画・調整などを行った。	今後も高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施することから、引き続き、医療・介護・健診データ分析により、地域の健康課題の把握及び支援対象者の抽出を行々とともに、事業全体の企画・調整などを行う。	長寿あんしん課
○高齢者に対する個別的支援(ハイリスクアプローチ)	・すこやか長寿健康支援事業(再)	低栄養防止・生活習慣病等の重症化予防や、適正受診等の促進のための訪問指導、健康状態が不明な高齢者等に対するアウトリーチ支援等を行った。 ○高齢者に対する個別的支援(ハイリスクアプローチ) (3年度) (4年度) (5年度) 実人数(人) 1,407 2,904 1,852 延人数(人) 2,145 4,478 3,704	低栄養防止・生活習慣病等の重症化予防や、適正受診等の促進のための訪問指導、健康状態が不明な高齢者等に対するアウトリーチ支援等を行うことで、市民の健康の保持増進に寄与した。	低栄養防止・生活習慣病等の重症化予防や、適正受診等の促進のための訪問指導、健康状態が不明な高齢者等に対するアウトリーチ支援等を行う。	保健予防課
	・シニア世代のヘルスプロモーション事業(健康相談)(再)	65歳以上の高齢者を対象に、介護予防、生活習慣病予防の啓発のための個別相談を実施した。 (3年度) (4年度) (5年度) 相談回数(回) 185 172 180 相談人数(人) 1,602 1,604 2,700	65歳以上の高齢者を対象に、介護予防、生活習慣病予防の啓発のための健康教育や個別の相談を実施し、高齢者の健康に対する正しい知識の習得や健康づくりに寄与した。	引き続き、65歳以上の高齢者を対象に、介護予防、生活習慣病予防の啓発のための個別相談を実施する。	保健予防課
	・個別保健指導事業(再)	疾病予防、介護予防等の観点から、保健指導が必要であると認められる者及び家族等に対し、保健師等が家庭訪問や電話・文書等により、必要な保健指導を行った。 (3年度) (4年度) (5年度) 訪問支援実人員(人) 2,782 2,287 2,160 訪問支援延人員(人) 2,828 2,307 2,260 電話等の支援実人員(人) 1,795 1,309 2,300 電話等の支援延人員(人) 2,480 2,010 3,200	生活習慣病や介護予防の課題のある対象者に対して、特定保健指導、生活習慣病予防、生活機能低下予防、介護予防等の指導を実施することで、市民の健康の保持増進に寄与した。	引き続き、健康状態が不明な高齢者の状態把握・受診勧奨等必要なサービスへの接続を行う。	保健予防課
	・訪問型短期集中予防サービス(訪問型個別支援)事業(再)	要支援者等で認知症・うつ・閉じこもりにより通所型サービスの利用が困難な者に、訪問による個別支援を提供し、高齢者の自立支援と介護予防を推進した。 (3年度) (4年度) (5年度) 訪問実人数(人) 15 12 17 訪問延人数(人) 49 38 74	要支援者等で認知症・うつ・閉じこもりにより通所型サービスの利用が困難な者に、訪問による個別支援を行ったことにより、通所型サービスの利用につながる等、介護予防が促進された。	今後も高齢者の自立支援と介護予防を推進することから、引き続き、要支援者等で認知症・うつ・閉じこもりにより通所型サービスの利用が困難な者に、訪問による個別支援を実施する。	長寿あんしん課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																				
	・短期集中予防サービス(口腔機能向上・栄養改善)事業(再)	要支援者や事業対象者を対象に、口腔機能向上・栄養改善サービスを通所または訪問で提供し、高齢者の自立支援と介護予防を推進した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通所実人数(人)</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>通所延人数(人)</td> <td>9</td> <td>18</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>訪問実人数(人)</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>訪問延人数(人)</td> <td>31</td> <td>24</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	通所実人数(人)	4	3	10	通所延人数(人)	9	18	60	訪問実人数(人)	8	6	10	訪問延人数(人)	31	24	60	本事業について評価を行った結果、栄養改善については、BMIの改善・維持及び食事内容の改善、口腔機能向上については、基本チェックリスト3項目の改善や口腔機能状況の維持・改善とそれぞれ効果がみられたが、利用者が少ないことが課題である。	廃止予定事業	保健予防課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
通所実人数(人)	4	3	10																						
通所延人数(人)	9	18	60																						
訪問実人数(人)	8	6	10																						
訪問延人数(人)	31	24	60																						
	・介護予防把握事業(再)	アンケート調査により、閉じこもり等の何らかの支援を要する高齢者を把握し、介護予防活動への参加を促進するとともに、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の対象者把握にも活用した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査票発送数(件)</td> <td>15,473</td> <td>17,200</td> <td>17,214</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	調査票発送数(件)	15,473	17,200	17,214	アンケート調査により、閉じこもり等の何らかの支援を要する高齢者を把握し、介護予防活動への参加を促進し、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の対象者把握にも活用することができた。	今後も介護予防活動への参加を促進するとともに、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の対象者把握にも活用することから、引き続き、アンケート調査により、閉じこもり等の何らかの支援を要する高齢者を把握する。	長寿あんしん課												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
調査票発送数(件)	15,473	17,200	17,214																						
○通いの場等への積極的な関与 (ポピュレーションアプローチ)	・すこやか長寿健康支援事業 ○通いの場等への積極的な関与(ポピュレーションアプローチ)	医療・介護・健診データで把握した地域の健康課題をもとに、通いの場等で健康教育、健康相談等を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数(人)</td> <td>32,128人</td> <td>35,136人</td> <td>13,290人</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	人数(人)	32,128人	35,136人	13,290人	医療・介護・健診データで把握した地域の健康課題をもとに、通いの場等で健康教育、健康相談等を実施することで、市民の健康の保持増進に寄与した。	医療・介護・健診データで把握した地域の健康課題をもとに、通いの場等で健康教育、健康相談等を実施する。	保健予防課												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
人数(人)	32,128人	35,136人	13,290人																						
	・シニア世代のヘルスマーション事業(健康教育・健康相談)(再)	65歳以上の高齢者を対象に、介護予防、生活習慣病予防の啓発のための健康教育や個別の相談を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康教育開催回数(回)</td> <td>130</td> <td>122</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>健康教育実施人数(人)</td> <td>2,950</td> <td>2,448</td> <td>1,540</td> </tr> <tr> <td>健康相談回数(回)</td> <td>185</td> <td>172</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>健康相談人数(人)</td> <td>1,602</td> <td>1,604</td> <td>2,700</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	健康教育開催回数(回)	130	122	59	健康教育実施人数(人)	2,950	2,448	1,540	健康相談回数(回)	185	172	180	健康相談人数(人)	1,602	1,604	2,700	65歳以上の高齢者を対象に、薬剤師による薬の健康教室を実施する等、通いの場等への積極的な関与を行うことで、高齢者の健康に対する正しい知識の習得や健康づくりに寄与した。	引き続き、65歳以上の高齢者を対象に、介護予防、生活習慣病予防の啓発のための健康教育や個別の相談を実施する。	保健予防課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
健康教育開催回数(回)	130	122	59																						
健康教育実施人数(人)	2,950	2,448	1,540																						
健康相談回数(回)	185	172	180																						
健康相談人数(人)	1,602	1,604	2,700																						
	・よかよか元気クラブ活動支援事業(再)	介護予防の地域展開を目指し、よかよか元気クラブの拡大に向けた普及啓発を行い活動を支援した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施か所(か所)</td> <td>199</td> <td>223</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>参加者数(人)</td> <td>3,606</td> <td>3,862</td> <td>5,400</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	実施か所(か所)	199	223	300	参加者数(人)	3,606	3,862	5,400	誰もが参加できる介護予防活動の地域展開を目指し、鹿児島よかよか体操やらくらく体操を中心とした活動を推進し、介護予防活動に寄与した。	引き続き、介護予防の地域展開を目指し、よかよか元気クラブの拡大に向けた普及啓発を行い活動を支援する。	保健予防課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
実施か所(か所)	199	223	300																						
参加者数(人)	3,606	3,862	5,400																						

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課												
	・お達者クラブ運営支援事業(再)	地域の身近な公民館等で地域ボランティア等の協力を得て、体操や健康講座、創作活動、認知症予防などの介護予防活動を行った。 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>実施か所(か所)</td> <td>205</td> <td>195</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>参加者数(人)</td> <td>4,735</td> <td>4,257</td> <td>5,000</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	実施か所(か所)	205	195	200	参加者数(人)	4,735	4,257	5,000	地域の実情により、実施箇所数は減少傾向にあるが、身近な公民館等で地域ボランティア等の協力を得て、体操や健康講座、創作活動、認知症予防等の介護予防活動を行い、高齢者の介護予防と社会参加の推進に寄与した。	引き続き、地域の身近な公民館等で地域ボランティア等の協力を得て、体操や健康講座、創作活動、認知症予防などの介護予防活動を行う。	保健予防課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
実施か所(か所)	205	195	200														
参加者数(人)	4,735	4,257	5,000														
	・地域リハビリテーション活動支援事業(再)	よかよか元気クラブやお達者クラブ、高齢者クラブ等へ、リハビリ専門職を派遣し、介護予防に資する知識の普及等を行った。 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td>(3年度)</td> <td>(4年度)</td> <td>(5年度)</td> </tr> <tr> <td>実施回数(回)</td> <td>768</td> <td>920</td> <td>1,013</td> </tr> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	実施回数(回)	768	920	1,013	理学療法士等のリハビリテーション専門職が、地域の「通いの場」等において、集団及び個別指導を実施するなど、介護予防の取組に寄与した。	引き続き、よかよか元気クラブやお達者クラブ、高齢者クラブ等へ、リハビリ専門職を派遣し、介護予防に資する知識の普及等を行う。	保健予防課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
実施回数(回)	768	920	1,013														

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
第5章 介護サービスの充実 1介護保険対象サービスの提供 (1)在宅サービスの提供 ○介護保険対象サービスの提供	・訪問介護(ホームヘルプ)	ホームヘルパー(訪問介護員等)が居宅を訪問して、入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話などのサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	ホームヘルパー(訪問介護員等)が居宅を訪問して、入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話などのサービスを提供している。	今後とも引き続き適正なサービス量を見込み、サービスの円滑な提供を図っていく。	介護保険課
	・訪問入浴介護	介護職員と看護職員が居宅を訪問し、持参した浴槽にて入浴介助のサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	介護職員と看護職員が居宅を訪問し、浴槽を提供して、入浴介助サービスの提供を行っている。	今後とも引き続き適正なサービス量を見込み、サービスの円滑な提供を図っていく。	介護保険課
	・訪問看護	看護師などが居宅を訪問して、療養上の世話や必要な診療の補助などのサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	看護師などが居宅を訪問して、療養上の世話や必要な診療の補助などのサービスを提供している。	今後とも引き続き適正なサービス量を見込み、サービスの円滑な提供を図っていく。	介護保険課
	・訪問リハビリテーション	理学療法士や作業療法士などが居宅を訪問して、心身の機能回復や日常生活の自立を助けるための理学療法、作業療法その他必要なサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	理学療法士や作業療法士などが居宅を訪問して、心身の機能回復や日常生活の自立を助けるための理学療法、作業療法その他必要なサービスを提供している。	今後とも引き続き適正なサービス量を見込み、サービスの円滑な提供を図っていく。	介護保険課
	・居宅療養管理指導	医師、歯科医師、薬剤師などが居宅を訪問して、療養上必要な管理や指導などのサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	医師、歯科医師、薬剤師などが居宅を訪問して、療養上必要な管理や指導などのサービスを提供している。	今後とも引き続き適正なサービス量を見込み、サービスの円滑な提供を図っていく。	介護保険課
	・通所介護(デイサービス)	デイサービスセンターなどで入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話のほか機能訓練などのサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	デイサービスセンターなどで入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話のほか機能訓練などのサービスを提供している。	今後とも引き続き適正なサービス量を見込み、サービスの円滑な提供を図っていく。	介護保険課
	・通所リハビリテーション(デイケア)	介護老人保健施設や病院などで心身の機能回復を図り、日常生活の自立を助けるための理学療法、作業療法その他必要なサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	介護老人保健施設や病院などで心身の機能回復を図り、日常生活の自立を助けるための理学療法、作業療法その他必要なサービスを提供している。	今後とも引き続き適正なサービス量を見込み、サービスの円滑な提供を図っていく。	介護保険課
	・短期入所生活介護(ショートステイ)	介護老人福祉施設などにおいて短期入所者に、入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話などのサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	介護老人福祉施設などにおいて短期入所者に、入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話などのサービスを提供している。	今後とも引き続き適正なサービス量を見込み、サービスの円滑な提供を図っていく。	介護保険課
	・短期入所療養介護(ショートステイ)	介護老人保健施設や介護療養型医療施設などにおいて短期入所者に、看護、医学的管理下における介護、機能訓練その他必要な医療及び日常生活上の世話などのサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	介護老人保健施設や介護療養型医療施設などにおいて短期入所者に、看護、医学的管理下における介護、機能訓練その他必要な医療及び日常生活上の世話などのサービスを提供している。	今後とも引き続き適正なサービス量を見込み、サービスの円滑な提供を図っていく。	介護保険課
	・特定施設入居者生活介護	有料老人ホームやケアハウスなどに入居している要支援、要介護者に対し、介護(予防)サービス計画(ケアプラン)に基づいて、機能訓練や入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話などのサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	有料老人ホームやケアハウスなどに入居している要支援、要介護者に対し、介護(予防)サービス計画(ケアプラン)に基づいて、機能訓練や入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話などのサービスを提供している。	今後とも引き続き適正なサービス量を見込み、サービスの円滑な提供を図っていく。	介護保険課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課															
○サービス利用の促進	・福祉用具貸与	居宅において自立した日常生活を営めるように車いすや特殊寝台などの福祉用具を貸与した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	居宅において自立した日常生活を営めるように車いすや特殊寝台などの福祉用具を貸与している。	今後とも引き続き適正なサービス量を見込み、サービスの円滑な提供を図っていく。	介護保険課															
	・特定福祉用具販売	居宅において自立した日常生活を営めるようにポータブルトイレや入浴補助用具など排せつや入浴に使われる福祉用具の購入費の一部を支給した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	居宅において自立した日常生活を営めるようにポータブルトイレや入浴補助用具など排せつや入浴に使われる福祉用具の購入費の一部を支給している。	今後とも引き続き適正なサービス量を見込み、サービスの円滑な提供を図っていく。	介護保険課															
	・住宅改修費支給	居宅において自立した日常生活を営めるように手すりの取り付けや段差解消などの小規模な住宅改修費の一部を支給した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	居宅において自立した日常生活を営めるように手すりの取り付けや段差解消などの小規模な住宅改修費の一部を支給している。	今後とも引き続き適正なサービス量を見込み、サービスの円滑な提供を図っていく。	介護保険課															
	・居宅介護支援	居宅で介護を受ける要介護・要支援者の心身の状況、希望などを踏まえ、介護(予防)サービス計画を作成するとともに、サービス提供機関との連絡調整を行うなどのサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	居宅で介護を受ける要介護・要支援者の心身の状況、希望などを踏まえ、介護(予防)サービス計画を作成するとともに、サービス提供機関との連絡調整を行うなどのサービスを提供している。	今後とも引き続き適正なサービス量を見込み、サービスの円滑な提供を図っていく。	介護保険課															
	・住宅改修支援事業(再)	住宅改修費の申請書に添付する理由書の作成業務について支援を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>156</td> <td>160</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	件数	156	160	200	要介護認定等を受けているが、介護保険サービスを利用していない者の住宅改修サービスの利用支援が推進されている。	在宅での生活を支援するため、継続して事業を実施する。	介護保険課							
		(3年度)	(4年度)	(5年度)																
件数	156	160	200																	
・訪問介護等利用者負担助成事業	障害者ホームヘルプサービス利用者及び障害者総合支援法(旧・障害者自立支援法)の施行に伴い利用者負担軽減を受けていた者等に対する支援を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定証発行者数(人)</td> <td>173</td> <td>167</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	認定証発行者数(人)	173	167	180	低所得者が安心して介護保険サービスを利用できるよう利用者負担の軽減が図られている。	低所得者等が安心して介護保険サービスを利用することができるよう、今後も継続して事業を行っていく。	介護保険課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																	
認定証発行者数(人)	173	167	180																	
・低所得者利用者負担助成事業	低所得で生計の維持が困難な方に係る利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用の促進を図った。 ※軽減対象者数(②は認定証発行者) ①社会福祉法人等による軽減(人) ②訪問サービス等利用者負担助成事業(人) ③中山間地域等における利用者負担額軽減(人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①社会福祉法人等による軽減(人)</td> <td>130</td> <td>121</td> <td>185</td> </tr> <tr> <td>②訪問サービス等利用者負担助成事業(人)</td> <td>42</td> <td>34</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>③中山間地域等における利用者負担額軽減(人)</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	①社会福祉法人等による軽減(人)	130	121	185	②訪問サービス等利用者負担助成事業(人)	42	34	50	③中山間地域等における利用者負担額軽減(人)	14	16	20	低所得者が安心して介護保険サービスを利用できるよう利用者負担の軽減が図られている。	低所得者の利用者負担の軽減のため、今後も継続して事業を行っていく。	介護保険課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																	
①社会福祉法人等による軽減(人)	130	121	185																	
②訪問サービス等利用者負担助成事業(人)	42	34	50																	
③中山間地域等における利用者負担額軽減(人)	14	16	20																	

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
(2)施設サービスの提供 ○介護保険対象サービスの提供	・介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	入所者に、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話、機能訓練及び健康管理等のサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	(介護保険課) 入所者に、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話、機能訓練及び健康管理等のサービスを提供している。 (長寿あんしん課) 特別養護老人ホーム等の計画的整備により、待機者の一定の解消が図られている。【長あ】	(介護保険課) 待機者の状況や介護保険料への影響などを勘案しながら、今後も計画的な施設整備を推進する。 (長寿あんしん課) 今後も入所者数に施設サービス計画に基づいたサービスを提供する必要があることから、引き続き、待機者の状況や介護保険料への影響などを勘案しながら、計画的な施設整備を推進する。	介護保険課 長寿あんしん課
	・介護老人保健施設(老人保健施設)	入所者に、施設サービス計画に基づいて、看護、医学的管理下における介護、機能訓練その他必要な医療等のサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	(介護保険課) 入所者に、施設サービス計画に基づいて、看護、医学的管理下における介護、機能訓練その他必要な医療等のサービスを提供している。 (長寿あんしん課) サービス供給量が充足していることから、新規の施設整備は行っていない。【長あ】	(介護保険課) 待機者の状況や介護保険料への影響などを勘案しながら、今後も計画的な施設整備を推進する。 (長寿あんしん課) 今後も入所者数に施設サービス計画に基づいたサービスを提供する必要があることから、引き続き、待機者の状況や介護保険料への影響などを勘案しながら、計画的な施設整備を推進する。	介護保険課 長寿あんしん課
	・介護医療院	入所者に、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理下における介護、機能訓練その他必要な医療等のサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	(介護保険課) 入所者に、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理下における介護、機能訓練その他必要な医療等のサービスを提供している。 (長寿あんしん課) 医療療養病床等から介護医療院への転換について、相談対応を行った。	(介護保険課) 待機者の状況や介護保険料への影響などを勘案しながら、介護療養型医療施設の転換施設として計画的な施設整備を推進する。 (長寿あんしん課) 今後も入所者数に施設サービス計画に基づいたサービスを提供する必要があることから、待機者の状況や介護保険料への影響などを勘案しながら、医療療養病床等の転換施設として計画的な施設整備を推進する。	介護保険課 長寿あんしん課
	・介護療養型医療施設(介護療養病床)	入院患者に、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理下における介護などの世話及び機能訓練その他必要な医療等のサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	(介護保険課) 入院患者に、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理下における介護などの世話及び機能訓練その他必要な医療等のサービスを提供している。 (長寿あんしん課) 令和6年3月末に制度廃止となることから、令和5年3月末までに、全ての介護療養型医療施設が、介護医療院等への転換等を行った。	(介護保険課) 令和6年3月末に廃止予定。 (長寿あんしん課) 対応終了	介護保険課 長寿あんしん課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
○サービス利用の促進	・低所得者利用者負担助成事業(再)	低所得で生計の維持が困難な方に係る利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用の促進を図った。 ※軽減対象者数(②は認定証発行者) (3年度) (4年度) (5年度) ①社会福祉法人等による軽減(人) 130 121 185 ②訪問サービス等利用者負担助成事業(人) 42 34 50 ③中山間地域等における利用者負担額軽減(人) 14 16 20	低所得者が安心して介護保険サービスを利用できるよう利用者負担の軽減が図られている。	低所得者の利用者負担の軽減のため、今後も継続して事業を行っていく。	介護保険課
(3)地域密着型サービスの提供 ○介護保険対象サービスの提供	・定期巡回・随時対応型訪問介護看護	日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が密接に連携しながら、短時間の定期巡回型訪問と随時の対応などのサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が密接に連携しながら、短時間の定期巡回型訪問と随時の対応などのサービスを提供している。	今後の利用動向を踏まえながら、適正なサービス量の見込みに努め、サービスの見込量や日常生活圏域における整備状況などを勘案しながら、今後も計画的な整備を推進する。	介護保険課
	・夜間対応型訪問介護	夜間において、定期的な巡回訪問又は通報を受け、入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話、緊急時の対応などのサービスを提供する。 ※R元年11月以降は、サービス事業所がないため、R2～4年度の実績なし。	現在、サービス事業所がないため、定期巡回・随時対応型訪問介護看護を代替サービスとして提供している。	今後の利用動向を踏まえながら、適正なサービス量の見込みに努め、サービスの見込量や日常生活圏域における整備状況などを勘案しながら、今後も計画的な整備を推進する。	介護保険課
	・認知症対応型通所介護	認知症高齢者等について、デイサービスセンターで入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話のほか機能訓練などのサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	認知症高齢者等について、デイサービスセンターで入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話のほか機能訓練などのサービスを提供している。	今後の利用動向を踏まえながら、適正なサービス量の見込みに努め、サービスの見込量や日常生活圏域における整備状況などを勘案しながら、今後も計画的な整備を推進する。	介護保険課
	・小規模多機能型居宅介護	「通い」を中心に、利用者の様態や希望に応じ、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせて、入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練などのサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	「通い」を中心に、利用者の様態や希望に応じ、随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせて、入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練などのサービスを提供している。	今後の利用動向を踏まえながら、適正なサービス量の見込みに努め、サービスの見込量や日常生活圏域における整備状況などを勘案しながら、今後も計画的な整備を推進する。	介護保険課
	・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	認知症高齢者が少人数で共同生活し、そこで入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練などのサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	認知症高齢者が少人数で共同生活し、そこで入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練などのサービスを提供している。	今後の利用動向を踏まえながら、適正なサービス量の見込みに努め、サービスの見込量や日常生活圏域における整備状況などを勘案しながら、今後も計画的な整備を推進する。	介護保険課
	・地域密着型特定施設入居者生活介護	小規模な有料老人ホームやケアハウスなどに入居している要介護者に対し、介護サービス計画(ケアプラン)に基づいて、機能訓練や入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話などのサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	小規模な有料老人ホームやケアハウスなどに入居している要介護者に対し、介護サービス計画(ケアプラン)に基づいて、機能訓練や入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話などのサービスを提供している。	今後の利用動向を踏まえながら、適正なサービス量の見込みに努め、サービスの見込量や日常生活圏域における整備状況などを勘案しながら、今後も計画的な整備を推進する。	介護保険課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																
○サービス利用の促進	・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	小規模な特別養護老人ホームに入所している要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話、機能訓練及び健康管理等のサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	小規模な特別養護老人ホームに入所している要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話、機能訓練及び健康管理等のサービスを提供している。	今後の利用動向を踏まえながら、適正なサービス量の見込みに努め、サービスの見込量や日常生活圏域における整備状況などを勘案しながら、今後も計画的な整備を推進する。	介護保険課																
	・看護小規模多機能型居宅介護	小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせ、介護と看護を一体的に行うサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	小規模多機能型居宅介護と訪問看護を組み合わせ、介護と看護を一体的に行うサービスを提供している。	今後の利用動向を踏まえながら、適正なサービス量の見込みに努め、サービスの見込量や日常生活圏域における整備状況などを勘案しながら、今後も計画的な整備を推進する。	介護保険課																
	・地域密着型通所介護	小規模なデイサービスセンターで入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話のほか機能訓練などのサービスを提供した。 ※詳細は「介護保険の実施状況等について」に記載	小規模なデイサービスセンターで入浴、排せつ、食事などの介護その他の日常生活上の世話のほか機能訓練などのサービスを提供している。	今後の利用動向を踏まえながら、適正なサービス量の見込みに努め、サービスの見込量や日常生活圏域における整備状況などを勘案しながら、今後も計画的な整備を推進する。	介護保険課																
	・訪問介護等利用者負担助成事業(再)	障害者ホームヘルプサービス利用者及び障害者総合支援法(旧・障害者自立支援法)の施行に伴い利用者負担軽減を受けていた者等に対する支援を行った。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定証発行者数(人)</td> <td>173</td> <td>167</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	認定証発行者数(人)	173	167	180	低所得者が安心して介護保険サービスを利用できるよう利用者負担の軽減が図られている。	低所得者等が安心して介護保険サービスを利用することができるよう、今後も継続して事業を行っていく。	介護保険課								
		(3年度)	(4年度)	(5年度)																	
認定証発行者数(人)	173	167	180																		
・低所得者利用者負担助成事業(再)	低所得で生計の維持が困難な方に係る利用者負担を軽減することにより、介護保険サービスの利用の促進を図った。 ※軽減対象者数(②は認定証発行者) ①社会福祉法人等による軽減(人) ②訪問サービス等利用者負担助成事業(人) ③中山間地域等における利用者負担額軽減(人)	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①社会福祉法人等による軽減(人)</td> <td>130</td> <td>121</td> <td>185</td> </tr> <tr> <td>②訪問サービス等利用者負担助成事業(人)</td> <td>42</td> <td>34</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>③中山間地域等における利用者負担額軽減(人)</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	①社会福祉法人等による軽減(人)	130	121	185	②訪問サービス等利用者負担助成事業(人)	42	34	50	③中山間地域等における利用者負担額軽減(人)	14	16	20	低所得者が安心して介護保険サービスを利用できるよう利用者負担の軽減が図られている。	低所得者の利用者負担の軽減のため、今後も継続して事業を行っていく。	介護保険課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
①社会福祉法人等による軽減(人)	130	121	185																		
②訪問サービス等利用者負担助成事業(人)	42	34	50																		
③中山間地域等における利用者負担額軽減(人)	14	16	20																		

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																				
2 介護サービスの質的向上 (1)介護基盤の整備の促進 ○介護人材の育成	・ケアプラン適正化指導検討会等の開催	介護支援専門員へ介護保険の適正な給付の普及促進を図るため検討会等を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアプラン検討会 開催回数(回)</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業者等 講演会開催回数(回)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>介護サービス事業者等 講演会参加人数(人)</td> <td>759</td> <td>1317</td> <td>1300</td> </tr> <tr> <td>介護給付費通知に係る 利用者への説明実施率(%)</td> <td>48.3</td> <td>67.4</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	ケアプラン検討会 開催回数(回)	11	11	11	介護サービス事業者等 講演会開催回数(回)	1	1	1	介護サービス事業者等 講演会参加人数(人)	759	1317	1300	介護給付費通知に係る 利用者への説明実施率(%)	48.3	67.4	70	ケアプランの作成技術向上及び先進的なサービスの取り組み等の紹介を行うことにより、提供されるサービスの適正化や、介護保険事業所の資質の向上が図られている。 介護サービス事業者講演会の実施では、各分野からの専門的な講演等により、介護サービス事業者の資質の向上が図られている。	引き続き事業を実施することにより、介護保険事業者の資質の向上を図ることで、利用者に対する適切な介護サービスの確保や、保険給付費の抑制に努めていく。	介護保険課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
ケアプラン検討会 開催回数(回)	11	11	11																						
介護サービス事業者等 講演会開催回数(回)	1	1	1																						
介護サービス事業者等 講演会参加人数(人)	759	1317	1300																						
介護給付費通知に係る 利用者への説明実施率(%)	48.3	67.4	70																						
	・介護人材の育成に資する 県や他団体の情報提供	介護人材の育成に資する県や他団体の情報を収集し、市民、事業者への提供を行った。	(長寿あんしん課) 介護人材の育成に資する県や他団体の情報を収集し、市民、事業者への提供をメール等にて行った。 (介護保険課) 必要な情報を提供することで介護人材の確保に努めている。 今後においても、介護人材確保のため情報を収集・提供していく必要がある。	(長寿あんしん課) 今後も介護人材の育成に資する情報提供を行う必要があることから、引き続き、県や他団体の事業の情報を収集し、市民、事業者への提供提供を行う。 (介護保険課) 引き続き、介護人材の育成に資する県や他団体の事業の情報を収集し、市民、事業者への提供を行う。	長寿あんしん課 介護保険課																				
	・ボランティアセンターによる 人材育成の支援	市社協のボランティアセンターの事業において、ボランティア講座を開催し、地域に密着したボランティアの登録・養成等を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数(回)</td> <td>38</td> <td>48</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	開催回数(回)	38	48	50	地域に密着したボランティアの登録・要請等が図られている。	引き続き、ボランティア出前講座等を開催し、地域に密着したボランティアの登録・養成を図る。	地域福祉課												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
開催回数(回)	38	48	50																						
	・介護予防・生活支援サービス 従事者研修	介護予防・日常生活支援総合事業の「生活支援型訪問介護」や「ミニデイ型通所介護」の従事者等を養成する研修を開催した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修受講者数(人)</td> <td>25</td> <td>41</td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	研修受講者数(人)	25	41	120	研修会の開催を通じて生活支援の担い手の養成が図られているが、就労に結びついていない現状があるため、今後は事業者とのマッチングが課題である。	今後も介護予防・日常生活支援総合事業の従事者等を養成する必要があることから、就労に結びつけるための事業者とのマッチングに留意しつつ、引き続き、従事者等を養成する研修を開催する。	長寿あんしん課												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
研修受講者数(人)	25	41	120																						
	・地域ケア会議等の開催 (再)	様々な社会資源が連携することができる環境整備を行うとともに、多職種協働によるネットワークを構築するため、地域ケア会議等を開催した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域ケア会議開催回数(回)</td> <td>200</td> <td>186</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	地域ケア会議開催回数(回)	200	186	200	地域の多職種で地域課題の抽出・解決に伴う意見交換や個別事例の解決・支援を行うことにより、多職種協働によるネットワークの構築が図られている。	今後も社会資源が連携することができる環境整備を行う必要があることから、引き続き、地域ケア会議を開催し、多職種協働によるネットワークを構築する。	長寿あんしん課												
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																						
地域ケア会議開催回数(回)	200	186	200																						

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																			
○介護人材の確保	・介護人材の確保に資する県や他団体の情報提供	介護人材の確保に資する県や他団体の情報を収集し、市民、事業者への提供を行った。	介護人材の確保に資する県や他団体の情報を収集し、市民、事業者への提供をメール等にて行った。	今後も介護人材の育成に資する情報提供を行う必要があることから、引き続き、県や他団体の事業の情報を収集し、市民、事業者への提供提供を行う。	長寿あんしん課																			
	・介護人材の確保支援と処遇改善の推進	介護職員処遇改善加算について、本市ホームページにより、情報提供を行うなど周知を図った。 介護人材確保のための取組みをより一層進めるため、特定処遇加算の取得について事業所に周知を図った。	介護保険サービス事業者に介護職員処遇改善加算等の周知を図っている。	今後も介護人材確保のための取組みをより一層進める必要があることから、引き続き、介護職員処遇改善加算等について、本市ホームページにより情報提供を行うなど周知を図る。	長寿あんしん課																			
	・若者就職応援フェア「みらいワーク“かごしま”」開催事業	若者の市外流出抑制に向け、地元企業に対する理解促進等を図るため、地元の企業等が一堂に会し、中学生をはじめとする若い世代への企業等の魅力発信や情報提供を労働局・県と連携して行った。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数(人)</td> <td>942</td> <td>797</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>医療・福祉分野の出展・就職相談のブース数</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	参加者数(人)	942	797	800	医療・福祉分野の出展・就職相談のブース数	7	8	8	労働局・県と連携して開催することで、より多くの参加者を募ることができ、中学生をはじめとする若い世代への医療・福祉分野を含む、企業等の魅力発信に繋がった。	今後とも、労働局や県と連携を取りながら地元企業の魅力発信や情報提供を行う。	雇用推進課							
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																					
参加者数(人)	942	797	800																					
医療・福祉分野の出展・就職相談のブース数	7	8	8																					
○業務の効率化の促進	・介護施設ボランティアポイント事業 ※高齢者いきいきポイント推進事業からの一部移管	本市に居住する者が行う介護保険施設等でのボランティア活動に対し、換金等が可能なポイントを付与することで、市民の介護分野への関心や地域全体で高齢者を支える意識を高める。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者数(人)</td> <td>—</td> <td>1,350人</td> <td>1,645人</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	登録者数(人)	—	1,350人	1,645人	本市に居住する者が行う介護保険施設等でのボランティア活動に対し、換金等が可能なポイントを付与することで、市民の介護分野への関心や地域全体で高齢者を支える意識を高めることを図った。	今後も市民の介護分野への関心や地域全体で高齢者を支える意識を高める必要があることから、実活動者の増加を図りつつ、引き続き、本市に居住する者が行う介護保険施設等でのボランティア活動に対し、換金等が可能なポイントを付与する当該事業を推進する。	長寿あんしん課											
		(3年度)	(4年度)	(5年度)																				
登録者数(人)	—	1,350人	1,645人																					
・介護ロボットやICTの活用事例の周知 ※第8期計画から掲載	県と連携し、介護ロボットやICTの活用事例を周知し、業務の効率化を促進した。	県の基金を用いた介護ロボット・ICTの導入経費補助について案内し、業務の効率化を促進した。	県が示す方針に基づき、申請様式・添付書類や手続の簡素化を行った。	今後も業務効率化を促進する必要があることから、引き続き、県と連携し、介護ロボットやICTの活用事例を周知を行う。	長寿あんしん課																			
○施設サービス・地域密着型サービス基盤の整備	・介護サービス事業所等による申請手続きの簡素化 ※第8期計画から掲載	業務効率化の観点から、介護分野の文書に係る負担軽減を図るため、国が示す方針に基づき、申請様式・添付書類や手続の簡素化を行った。	国が示す方針に基づき、申請様式・添付書類や手続の簡素化を行った。	今後も業務効率化の観点から、介護分野の文書に係る負担軽減を図る必要があることから、引き続き、国が示す方針に基づき、申請様式・添付書類や手続の簡素化を行う。	長寿あんしん課																			
	・介護老人福祉施設等整備費補助事業 ※第8期計画から掲載	本計画に基づき施設整備事業者を募集し、特別養護老人ホーム等の整備を行った。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>募集数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム</td> <td>100床</td> <td>110床</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>グループホーム</td> <td>54床</td> <td>36床</td> <td>36床(予定)</td> </tr> <tr> <td>特定施設</td> <td>40床</td> <td>0床</td> <td>46床(予定)</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	募集数				特別養護老人ホーム	100床	110床	—	グループホーム	54床	36床	36床(予定)	特定施設	40床	0床	46床(予定)	特別養護老人ホーム等の計画的整備により、待機者の一定の解消が図られているものの、応募に至っていない施設もある。	今後も基盤整備を図る必要があることから、施設の利用状況や事業者のニーズに留意しつつ、引き続き、施設整備事業者の募集を行う。
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																					
募集数																								
特別養護老人ホーム	100床	110床	—																					
グループホーム	54床	36床	36床(予定)																					
特定施設	40床	0床	46床(予定)																					

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
○老朽化した介護老人福祉施設等の建て替え・修繕の促進	・介護老人福祉施設等整備費補助事業(再) ※第8期計画から掲載	計画的な建て替え・修繕を促すとともに、事業者の整備意向を把握した。	計画的な建て替え・修繕を促すとともに、事業者の整備意向を把握した。	今後も老朽化した施設等の建て替え・修繕の促進を図る必要があることから、引き続き、計画的な建て替え・修繕や補助制度の活用を促す。	長寿あんしん課
○介護療養型医療施設の介護医療院への転換の促進	・介護老人福祉施設等整備費補助事業(再) ※第8期計画から掲載	介護療養型医療施設から介護医療院への転換に伴い整備を要する事業者に対し、施設整備費について周知した。 (3年度) (4年度) (5年度) 転換数(施設) 1 0 0	令和6年3月末に制度廃止となることから、令和5年3月末までに、全ての介護療養型医療施設が、介護医療院等への転換等を行った。	対応終了	長寿あんしん課
○介護老人福祉施設等のユニットケアの促進	・介護老人福祉施設等整備費補助事業(再) ※第8期計画から掲載	特別養護老人ホームの選定に当たってはユニットケアを評価するとともに、既存施設のユニット化に係る整備費補助について周知した。	ユニット型特別養護老人ホームを185床選定し、ユニットケアの促進が図られた。	今後もユニットケアの促進を図る必要があることから、引き続き、既存施設のユニット化に係る利用者ニーズに配慮しつつ、整備費補助について周知を図る。	長寿あんしん課
○指導・監査の実施	・サービス提供事業者への指導・監査の実施	サービス事業者等の指導及び監査を行い、介護保険制度の健全で適正な運営の確保と向上に努めた。 (3年度) (4年度) (5年度) 指導・監査件数(件) 313 210 201	サービス事業者等の指導及び監査を行い、介護保険制度の健全で適正な運営の確保と向上が図られている。	介護保険制度の健全で適正な運営の確保及び向上のため、継続してサービス事業者等の指導及び監査を実施する。	指導監査課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課																
3 サービス提供のための体制づくり (1)介護給付の適正化の推進 ○介護給付の適正化	・要介護認定の適正化	認定調査員及び介護認定審査委員に対する研修を定期的実施し、全ての調査内容を点検すること等により、適正な要介護認定を行う。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査員研修会(回)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>審査会委員研修会(回)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>点検件数(件)</td> <td>27,448</td> <td>26,743</td> <td>27,115</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	調査員研修会(回)	1	1	1	審査会委員研修会(回)	1	1	1	点検件数(件)	27,448	26,743	27,115	具体的な事例検討を通じて審査判定の着眼点の共有化を図るとともに、問題点を確認・改善し、適正な要介護認定を行った。	引き続き事業を実施することにより、適正な要介護認定を行う。	介護保険課
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
調査員研修会(回)	1	1	1																		
審査会委員研修会(回)	1	1	1																		
点検件数(件)	27,448	26,743	27,115																		
	・介護給付調査指導員の配置 ※第8期計画から掲載	介護給付調査指導員を配置し、市が依頼した有資格者(旧ケアマネジャー)と連携を図りながら、ケアプラン適正化指導検討会などを通じ、サービスの適正化を図った。	個別ケアプランチェックやケアマネジャーへの指導、助言及び相談対応を行い、給付の適正化及びケアプラン作成技術の向上により、サービスの適正化が図られている。	介護給付調査指導員を配置することにより、利用者に対する適切な介護サービスの確保や、保険給付費の抑制に努めていく。	介護保険課																
	・介護保険住宅改修調査員の配置 ※第8期計画から掲載	介護保険住宅改修調査員を配置し、専門職による調査、査定・確認等を行うことにより、住宅改修費の適正化の強化を図った。	実地調査や審査を行うことにより適切な改修及び給付を行えている。	介護保険住宅改修調査員を配置することにより、保険給付費の適正な給付に努めていく。	介護保険課																
	・ケアプランの点検	ケアプラン適正化指導検討会を実施し、適切なケアプランとなっているかを作成した介護支援専門員等とともに検証確認することで、健全な給付の実施のための支援を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアプラン検討会開催回数(回)</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	ケアプラン検討会開催回数(回)	11	11	11	ケアプランの作成技術向上及び先進的なサービスの取り組み等の紹介を行うことにより、提供されるサービスの適正化や、介護保険事業所の資質の向上が図られている。	引き続き事業を実施することにより、介護保険事業者の資質の向上を図ることで、利用者に対する適切な介護サービスの確保や、保険給付費の抑制に努めていく。	介護保険課								
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
ケアプラン検討会開催回数(回)	11	11	11																		
	・介護給付費の通知	介護給付費通知の目的や内容等について居宅介護支援事業所の介護支援専門員による利用者への説明等を行うことにより、介護給付の費用額及びサービス内容を自己チェックしてもらい、架空請求や過剰請求の発見を促すとともに、費用やサービス内容を再認識してもらうことで、更に適正利用の意識づけを図った。 介護給付費通知に係る利用者への説明実施率 67.4%(5年度)	利用者に対し介護給付費の通知を行うことにより、費用やサービス内容を再認識してもらう機会となり、あわせて介護支援専門員からの説明を行うことにより、通知内容の理解促進が図られている。	効果的な事業を実施し、今後とも架空請求や過剰請求の発見を促すとともに、利用者の意識付けを図っていく。	介護保険課																
	・介護サービス事業者等講演会の開催 ※第8期計画から掲載	事業者を対象に介護サービスに係る講演会を開催し、介護保険に係る情報の提供を行うことで事業者における介護サービスの質の向上を図った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数(回)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>参加人数(人)</td> <td>759</td> <td>1,317</td> <td>1,300</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	開催回数(回)	1	1	1	参加人数(人)	759	1,317	1,300	介護サービスに係る講演会を開催し、介護保険に係る情報の提供を行うことで事業者における介護サービスの質の向上が図られている。	講演会を開催し、介護保険事業者の資質の向上を図ることで、利用者に対する適切な介護サービスの確保や、保険給付費の抑制に努めていく。	介護保険課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
開催回数(回)	1	1	1																		
参加人数(人)	759	1,317	1,300																		
	・縦覧点検・医療情報との突合	サービス事業者の請求内容の確認等を国民健康保険団体連合会に委託し、サービス事業者の誤請求を防ぐとともに不正請求の発見に取り組んだ。 ○点検等による過誤申立件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>縦覧点検(件)</td> <td>296</td> <td>413</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>医療突合(件)</td> <td>85</td> <td>112</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	縦覧点検(件)	296	413	300	医療突合(件)	85	112	80	サービス事業者の誤請求を防ぎ、適正な給付を行うことができた。	引き続き事業を実施することにより、サービス事業者の誤請求を防ぐとともに不正請求の発見に取り組む。	介護保険課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)																		
縦覧点検(件)	296	413	300																		
医療突合(件)	85	112	80																		

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
(2) 広報・相談体制の充実 ○ 広報体制の充実	・制度周知用パンフレットの作成	制度周知用パンフレット「わたしたちの介護保険」を作成し、介護保険制度の周知・広報を図った。また、制度改正リーフレットを作成し、市内の全世帯に配布した。 ※制度改正リーフレットの全戸配布は3年度のみ パンフレット作成数(部) 20,000 20,000 20,000 リーフレット作成数(部) 300,000 - -	パンフレットの作成等により制度の周知が図られた。今後ともあらゆる機会を捉えて、制度の周知・広報に努めていく必要がある。	引き続き、パンフレット作成等により、制度の周知広報に努める。	介護保険課
	・インターネットを活用した情報の提供	ホームページ上に、最新の情報を適宜掲載し、市民サービスの向上を図った。	市民等に広く利用されており、今後一層ホームページの充実を図る必要がある。	引き続き、ホームページ上に、最新の情報を適宜掲載し、市民サービスの向上を図る。	介護保険課
	・市民のひろば等による広報	各種手続の時期にあわせて、「市民のひろば」をはじめとする各種広報媒体を活用し、介護保険制度の周知広報に努めた。また、制度改正リーフレットを作成し、全戸配布を行い、介護保険制度の周知を図った。 ※制度改正リーフレットの全戸配布は3年度のみ	「市民のひろば」等の広報媒体の活用により制度の周知が図られた。今後とも、あらゆる機会を捉えて、制度の周知・広報に努めていく必要がある。	引き続き、「市民のひろば」をはじめとする各種広報媒体を活用し、介護保険制度の周知広報に努める。	介護保険課
	・サービス事業者ガイドブックの作成	利用者がサービスを利用するときの判断材料となるよう、無料で作成できる民間業者版ガイドブックを活用して情報提供を行った。	民間業者と協定を結びガイドブックを発行してもらい、介護保険制度の広報の推進が図られている。	引き続き、制度案内等については、パンフレットやホームページのほか、民間業者版のガイドブックも活用し広報に努める。	介護保険課
	・介護サービス情報公表システム(厚生労働省運用)の活用 ※第8期計画から掲載	サービス利用者が事業者の選択や利用の判断材料となるよう、厚生労働省が運用している介護サービス情報公表システムについて、認定結果通知やパンフレットに掲載するなど、周知・広報を図った。	パンフレット等への掲載により、介護サービス情報公開システムの周知化図られた。今後とも、同システムの利用促進のため、周知・広報に努めていく必要がある。	引き続き、介護サービス情報公表システムについて、いろいろな機会を捉えて、周知・広報を図る。	介護保険課
○ 相談体制の充実	・高齢者福祉相談員による相談体制の推進	高齢者の相談に応じるとともに、福祉電話利用者に対し、電話による安否確認を行った。高齢者福祉相談員2人(本庁) 相談件数(件) 23,143 23,666 25,000	ひとり暮らし高齢者等安心通報システム、高齢者福祉電話利用者に対する安否確認及び相談等を行い、高齢者の社会参加の促進、要援護高齢者の福祉の向上が図られた。	各相談機関等と連携しながら、相談サービスの充実に努めていく。	長寿支援課
	・介護保険相談員の配置	介護保険相談員を本庁及び谷山支所、伊敷支所、吉野支所の窓口に配置し、介護保険や関連する保健・医療及び福祉に係る相談に応じた。 相談件数 12,713件 12,604件 13,000件	介護保険のサービスや保険料などの相談に対応することにより、市民の介護保険への理解が図られている。	引き続き、市民からの相談に応じるため、介護保険相談員を配置する。	介護保険課
	・介護サービス相談員の派遣	介護サービスの質的向上のため、介護施設等へ相談員を派遣して利用者や家族からの相談に応じた。 派遣か所 14 34 280	利用者等の疑問、不満等の解消や、事業所のサービス改善につながっている。	利用者等の疑問、不満等の解消や、介護サービスの質的向上のため、引き続き事業を実施する。	介護保険課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課
○苦情等への対応 ○医療機関等関係機関との連携強化	・保健福祉総合相談・案内窓口事業	市民の利便性の向上を図るため、保健や福祉に関することで相談先のない市民や、保健と福祉部門において多岐にわたる問題を抱えた市民のための相談・案内窓口を設置する。 件数(件) (3年度) 23,231 (4年度) 24,147 (5年度) 25,000	相談件数については、微増傾向である。相談内容も年々多種多様となっているが、相談員の研修等を行い、様々な相談に応じている。	保健や福祉に関する相談は新しい制度の開始や制度内容の変更などにより、複雑で分かりにくい面があることから、相談に来られる方のニーズに応えられる適切な相談対応が実施できるよう、相談員の資質向上のための研修会への参加や各種福祉・保健制度に関する情報の収集などに努めるとともに、保健福祉総合相談・案内窓口の利用促進についても広報に努めていく。	健康総務課
	・認知症施策推進事業(認知症介護の電話相談)(再)	認知症に関する知識の普及・啓発を行うとともに、介護家族等の精神的な負担軽減を図るため、電話相談を実施した。 電話相談:10時から16時(祝日・年末年始除く) 相談実績(件) (3年度) 232 (4年度) 155 (5年度)	介護経験者が相談を受けており、相談者の悩みに寄り添って対応することで、精神的な負担の軽減が図られている。	相談員が対応できる件数にはまだ余裕があるため、介護に悩んでいるより多くの方にご利用いただけるよう、更なる周知・広報に努めながら、電話相談業務を継続する必要がある。	認知症支援室
	・地域包括支援センターにおける相談支援	地域の高齢者やその家族の様々な相談に応じるとともに、関係機関とのネットワークを構築し、必要な支援に結び付ける。また、様々な機会を捉えて高齢者の実態や課題の把握に努めた。 相談支援件数(件) (3年度) 97,768 (4年度) 103,038 (5年度) 103,000	高齢者人口の増加に伴い、相談件数が増加しており、また、内容も複雑化しているなか、関係機関との連携を図りながら、必要な支援に結び付けることが出来ている。	今後も地域の高齢者やその家族の様々な相談に応じるとともに、関係機関とのネットワークを構築し、必要な支援に結び付ける必要があることから、引き続き、また、様々な機会を捉えて高齢者の実態や課題の把握に努める。	長寿あんしん課
	・県、国民健康保険団体連合会など関係機関との連携	介護保険法では、国民健康保険団体連合会が苦情処理機関として位置づけられていることから、ケースに応じて、国民健康保険団体連合会と連携を図ったほか、関係機関に情報提供を行った。	各関係機関と連携を図ることで、適切な保険給付がなされている。	今後も、県・国民健康保険団体連合会等と密接な連携を図っていく。	介護保険課
	・救急医療市民講座開催事業	毎年9月の救急医療週間に合わせて、市民に対し救急の対処について正しい知識の普及を図るとともに、救急医療業務への理解を得るために開催する。(市・市医師会共催) 参加者数 (3年度) - (4年度) 31人 (5年度) 100人	参加者は、初めて参加の方がほとんどであり、講演会や救急救命士指導によるAEDの使用体験を通じて、救急医療に対する正しい知識の普及が図られた。	市民に対し、救急医療業務への理解の醸成を図るため、引き続き、市医師会と協力しながら事業等を実施する。	生活衛生課
	・地域包括支援センターによる関係機関等とのネットワーク構築(再)	様々な社会資源が連携することができる環境整備を行うとともに、多職種協働によるネットワークを構築するため、地域ケア会議等を開催した。 地域ケア会議 開催回数(回) (3年度) 200 (4年度) 186 (5年度) 200	地域の多職種で地域課題の抽出・解決に伴う意見交換や個別事例の解決・支援を行うことにより、多職種協働によるネットワークの構築が図られている。	今後も社会資源が連携することができる環境整備を行う必要があることから、引き続き、地域ケア会議を開催し、多職種協働によるネットワークを構築する。	長寿あんしん課

施策の展開	事業名等	第8期における実施状況(5年度は見込み数)	2か年(3・4年度)の分析・評価	今後の考え方	所管課												
	・認知症施策推進事業(認知症地域支援推進員及び嘱託医の設置)(再)	<p>認知症の人や家族の支援体制の構築と認知症ケアの向上を図るため、認知症地域支援推進員を中心に、認知症の医療と介護の連携強化を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進員配置数(人)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>嘱託医配置数(人)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	推進員配置数(人)	3	3	3	嘱託医配置数(人)	3	3	3	3年度に認知症地域支援推進員を増員し、医療・介護機関等への訪問や会議出席することで、認知症に関わる医療と介護の連携強化、地域における支援体制の構築を図った。	引き続き、認知症の人や家族の支援体制の構築と認知症ケアの向上を図るため、認知症地域支援推進員及び嘱託医を配置し、医療と介護の連携強化を図る。	認知症支援室
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
推進員配置数(人)	3	3	3														
嘱託医配置数(人)	3	3	3														
	・在宅医療と介護の連携推進事業(再)	<p>在宅医療・介護の連携推進協議会等の開催による医療機関と介護事業所等の連携を推進するとともに、入退院支援ルールの実用、評価等を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(3年度)</th> <th>(4年度)</th> <th>(5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協議会の開催(回)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		(3年度)	(4年度)	(5年度)	協議会の開催(回)	3	3	3	在宅医療・介護の連携推進協議会等の開催による医療機関と介護事業所等の連携を推進するとともに、入退院支援ルールの実用、評価等を行った。	今後も医療機関と介護事業所等の連携を推進する必要があることから、引き続き、在宅医療・介護の連携推進協議会等の開催するとともに、入退院支援ルールの実用、評価等を行う。	長寿あんしん課				
	(3年度)	(4年度)	(5年度)														
協議会の開催(回)	3	3	3														

(2) 介護保険の状況等について

1. 介護保険の実施状況等について（令和5年3月末現在）

(1) 総人口及び高齢者人口等

(単位：人)

	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	前年度比
総人口(a)	602,359	600,890	600,411	598,509	596,245	△ 2,264
高齢者人口(b)	160,255	163,209	166,104	168,458	169,909	1,451
65～74歳	80,950	82,642	85,325	86,088	84,193	△ 1,895
75歳以上	79,305	80,567	80,779	82,370	85,716	3,346
高齢化率 = (b)/(a)*100	26.6%	27.2%	27.7%	28.1%	28.5%	0.4ポイント
第1号被保険者 (c)	159,886	162,869	165,793	168,163	169,619	1,456
要支援・要介護認定者	33,741	33,938	34,360	34,569	34,936	367
うち第1号被保険者 (d)	33,143	33,390	33,799	34,017	34,382	365
第1号被保険者数に占める認定者数の割合 = (d)/(c)*100	20.7%	20.5%	20.4%	20.2%	20.3%	0.1ポイント

1 各年度3月末現在

2 「総人口」及び「高齢者人口」は、住民基本台帳（翌年度4月1日現在）による。

(3) 要支援・要介護度別認定者数

(単位：人)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	5,891	4,563	7,804	4,569	3,815	4,267	3,473	34,382
65歳以上75歳未満	756	557	853	534	410	437	359	3,906
75歳以上	5,135	4,006	6,951	4,035	3,405	3,830	3,114	30,476
第2号被保険者	28	78	124	112	86	58	68	554
区分ごとの総数	5,919	4,641	7,928	4,681	3,901	4,325	3,541	34,936
構成割合	16.9%	13.3%	22.7%	13.4%	11.2%	12.4%	10.1%	100.0%
総数	10,560		24,376					34,936
構成割合	30.2%		69.8%					100.0%

(2) 認定申請件数及び審査判定件数

(単位：件)

年 度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	前年度比
認定申請件数	31,338	29,063	28,783	29,655	28,776	△ 879
審査判定件数	30,719	28,461	26,837	27,448	26,743	△ 705

(注)本市の認定申請件数及び本市介護認定審査会の審査判定件数

(4) 介護保険料（65歳以上の人）の所得段階区分及び保険料

(第7期)		令和2年度		(第8期)		令和3～5年度	
所得段階	対象者	保険料(年額)		所得段階	対象者	保険料(年額)	
第1段階	・本人が生活保護受給者、中国残留邦人等支援給付受給者の人 ・世帯全員が市町村民税非課税で、老齢福祉年金受給者又は本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計から年金収入に係る所得を控除した額が80万円以下の人	基準額 ×0.301	22,600円	第1段階	・本人が生活保護受給者、中国残留邦人等支援給付受給者の人 ・世帯全員が市町村民税非課税で、老齢福祉年金受給者又は前年の公的年金等に係る雑所得を除いた合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の人	基準額 ×0.301	22,600円
第2段階	世帯全員が市町村民税非課税で、本人の課税年金収入額と合計所得金額の合計から年金収入に係る所得を控除した額が120万円以下で、第1段階対象者以外の人	基準額 ×0.5	37,500円	第2段階	世帯全員が市町村民税非課税で、前年の公的年金等に係る雑所得を除いた合計所得金額+課税年金収入額が80万円超120万円以下の人	基準額 ×0.5	37,500円
第3段階	世帯全員が市町村民税非課税で、第1段階及び第2段階の対象者以外の人	基準額 ×0.7	52,500円	第3段階	世帯全員が市町村民税非課税で、第1段階及び第2段階の対象者以外の人	基準額 ×0.7	52,500円
第4段階	世帯内に市町村民税課税の人がいるが、本人は市町村民税非課税で、課税年金収入額と合計所得金額の合計から年金収入に係る所得を控除した額が80万円以下の人	基準額 ×0.9	67,500円	第4段階	世帯内に市町村民税課税の人がいるが、本人は市町村民税非課税で、前年の公的年金等に係る雑所得を除いた合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の人	基準額 ×0.9	67,500円
第5段階	世帯内に市町村民税課税の人がいるが、本人は市町村民税非課税で、第4段階対象者以外の人	基準額 ×1.0	74,900円	第5段階	世帯内に市町村民税課税の人がいるが、本人は市町村民税非課税で、第4段階対象者以外の人	基準額 ×1.0	74,900円
第6段階	本人が市町村民税課税で、合計所得金額が125万円未満の人	基準額 ×1.25	93,700円	第6段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が125万円未満の人	基準額 ×1.25	93,700円
第7段階	本人が市町村民税課税で、合計所得金額が125万円以上200万円未満の人	基準額 ×1.3	97,400円	第7段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が125万円以上210万円未満の人	基準額 ×1.3	97,400円
第8段階	本人が市町村民税課税で、合計所得金額が200万円以上400万円未満の人	基準額 ×1.58	118,400円	第8段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が210万円以上320万円未満の人	基準額 ×1.5	112,400円
第9段階	本人が市町村民税課税で、合計所得金額が400万円以上600万円未満の人	基準額 ×1.85	138,600円	第9段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が320万円以上400万円未満の人	基準額 ×1.7	127,400円
第10段階	本人が市町村民税課税で、合計所得金額が600万円以上800万円未満の人	基準額 ×2.0	149,800円	第10段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が400万円以上600万円未満の人	基準額 ×1.85	138,600円
第11段階	本人が市町村民税課税で、合計所得金額が800万円以上1,000万円未満の人	基準額 ×2.1	157,300円	第11段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が600万円以上800万円未満の人	基準額 ×2.0	149,800円
第12段階	本人が市町村民税課税で、合計所得金額が1,000万円以上の人	基準額 ×2.2	164,800円	第12段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が800万円以上1,000万円未満の人	基準額 ×2.1	157,300円
				第13段階	本人が市町村民税課税で、前年の合計所得金額が1,000万円以上の人	基準額 ×2.2	164,800円

第8期の合計所得金額とは、収入から必要経費を控除した金額のことで、基礎控除や扶養控除、医療費控除などの所得控除をする前の金額です。土地・建物の譲渡所得がある場合には、この合計所得金額から特別控除額を差し引いた金額になります。

第1～5段階の人でこの合計所得金額に給与所得が含まれる場合、当該給与所得の金額（租税特別措置法第41条の3の3第2項に該当する場合は、所得金額調整控除前の金額）から10万円を控除します（控除後の金額が0円を下回る場合は0円とします）。

第6段階以上の人でこの合計所得金額に給与所得又は公的年金等の雑所得が含まれる場合、当該給与所得及び公的年金等の雑所得の合計額から10万円を控除します（控除後の金額が0円を下回る場合は0円とします）。

(5) 介護保険料段階別の人数(特徴・普徴別)

①特別徴収 (単位：人)

段階	元年度	2年度	3年度	4年度
1	28,386	28,946	31,570	31,578
2	16,369	17,078	18,883	19,758
3	13,925	14,714	16,564	17,194
4	13,757	13,687	13,979	13,447
5	16,062	16,413	17,669	18,006
6	18,412	19,110	20,413	21,090
7	17,849	18,122	21,152	21,097
8	11,473	11,951	8,682	8,760
9	2,319	2,430	2,737	2,801
10	823	859	2,579	2,641
11	473	468	893	917
12	1,556	1,567	489	541
13	-	-	1,599	1,630
小計	141,404	145,345	157,209	159,460

②普通徴収 (単位：人)

段階	元年度	2年度	3年度	4年度
1	7,359	6,702	7,862	7,653
2	829	756	1,114	1,117
3	933	696	1,028	1,008
4	3,241	3,153	3,310	3,164
5	527	593	567	522
6	2,975	2,826	3,140	3,044
7	2,195	2,221	2,665	2,687
8	2,167	2,235	1,730	1,738
9	489	464	512	566
10	222	228	611	684
11	112	136	275	291
12	416	438	204	186
13	-	-	545	615
小計	21,465	20,448	23,563	23,275

※元年度～2年度は各年度3月末現在、
3年度以降は当該年度調定に係る被保険者数

③全体 (単位：人)

段階	元年度	2年度	3年度	4年度	構成割合
1	35,745	35,648	39,432	39,231	21.5%
2	17,198	17,834	19,997	20,875	11.4%
3	14,858	15,410	17,592	18,202	10.0%
4	16,998	16,840	17,289	16,611	9.1%
5	16,589	17,006	18,236	18,528	10.1%
6	21,387	21,936	23,553	24,134	13.2%
7	20,044	20,343	23,817	23,784	13.0%
8	13,640	14,186	10,412	10,498	5.7%
9	2,808	2,894	3,249	3,367	1.8%
10	1,045	1,087	3,190	3,325	1.8%
11	585	604	1,168	1,208	0.7%
12	1,972	2,005	693	727	0.4%
13	-	-	2,144	2,245	1.2%
合計	162,869	165,793	180,772	182,735	100.0%

(6) 調定と収納

(単位：円)

区分	元年度	2年度	3年度	4年度	
調定額 (A)	特徴	10,320,972,100	10,182,775,300	10,337,640,800	10,469,418,800
	普徴	1,071,015,900	1,061,944,600	1,069,628,300	1,092,611,600
	合計	11,391,988,000	11,244,719,900	11,407,269,100	11,562,030,400
収納額 (B)	特徴	10,320,972,100	10,182,775,300	10,337,640,800	10,469,418,800
	普徴	924,674,530	944,424,500	960,568,500	992,109,950
	合計	11,245,646,630	11,127,199,800	11,298,209,300	11,461,528,750
収納率 (B/A)	特徴	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	普徴	86.3%	88.9%	89.8%	90.8%
	合計	98.7%	99.0%	99.0%	99.1%

(7) 介護保険給付の実績及び見込量

① 居宅サービス

サービスの種別		単位	第7期									第8期						
			30年度			元年度			2年度			3年度			4年度			5年度
			見込量	実績	率	見込量	実績	率	見込量									
訪問介護	介護	回	885,289	858,212	97%	916,300	861,119	94%	945,164	917,990	97%	957,581	970,198	101%	1,019,104	1,023,288	100%	1,065,305
	予防	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
訪問入浴介護	介護	回	13,328	12,383	93%	13,582	10,739	79%	13,765	10,924	79%	11,353	11,247	99%	12,337	10,047	81%	12,955
	予防	回	36	0	0%	36	46	128%	48	57	119%	330	77	23%	330	95	29%	330
訪問看護	介護	回	152,478	179,522	118%	165,530	172,610	104%	172,138	189,287	110%	197,206	199,228	101%	196,732	219,191	111%	201,043
	予防	回	14,218	11,475	81%	16,609	14,442	87%	19,103	15,678	82%	16,969	15,137	89%	17,179	15,804	92%	17,568
訪問リハビリテーション	介護	回	233,086	220,300	95%	266,749	224,972	84%	291,701	226,575	78%	232,162	240,569	104%	234,064	241,050	103%	237,115
	予防	回	22,307	19,892	89%	24,624	20,539	83%	28,306	21,495	76%	21,199	24,425	115%	21,598	25,408	118%	21,960
通所介護（デイサービス）	介護	回	586,128	628,229	107%	609,221	652,974	107%	630,848	663,302	105%	715,790	643,613	90%	750,084	634,462	85%	784,168
	予防	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
通所リハビリテーション	介護	回	391,478	382,091	98%	395,917	395,251	100%	398,942	386,181	97%	482,023	388,106	81%	503,075	373,999	74%	518,747
	予防	人	15,348	15,024	98%	16,116	19,614	122%	16,740	19,764	118%	25,596	19,598	77%	26,256	19,927	76%	26,892
短期入所生活介護	介護	日	123,353	116,328	94%	124,456	113,972	92%	125,557	109,213	87%	160,030	108,688	68%	169,223	108,688	64%	174,548
	予防	日	3,088	2,557	83%	4,117	2,393	58%	6,259	1,846	29%	2,213	1,581	71%	2,315	1,581	68%	2,315
短期入所療養介護	介護	日	13,087	13,409	102%	13,360	14,174	106%	13,525	11,737	87%	17,566	10,965	62%	17,890	10,965	61%	18,618
	予防	日	335	141	42%	355	213	60%	432	35	8%	270	121	45%	270	121	45%	270
特定施設入居者生活介護	介護	人	4,536	4,412	97%	4,740	5,003	106%	4,800	5,185	108%	5,172	5,303	103%	5,424	5,450	100%	5,676
	予防	人	888	921	104%	924	982	106%	948	1,007	106%	1,008	943	94%	1,032	813	79%	1,056
福祉用具貸与	介護	人	97,044	97,793	101%	102,564	101,576	99%	107,724	106,949	99%	112,824	112,711	100%	119,724	118,246	99%	123,852
	予防	人	25,572	26,910	105%	26,736	28,603	107%	27,612	30,031	109%	32,040	31,485	98%	33,780	32,198	95%	34,932
福祉用具購入	介護	人	1,800	2,147	119%	1,824	2,179	119%	1,836	2,315	126%	2,028	2,453	121%	2,064	2,371	115%	2,148
	予防	人	1,020	1,359	133%	1,044	1,176	113%	1,092	1,252	115%	888	1,171	132%	912	1,206	132%	876
住宅改修	介護	人	1,860	1,666	90%	1,944	1,671	86%	1,992	1,597	80%	1,392	1,685	121%	1,440	1,557	108%	1,476
	予防	人	1,704	1,404	82%	1,872	1,323	71%	2,064	1,257	61%	1,020	1,285	126%	1,056	1,181	112%	1,080
居宅療養管理指導	介護	人	53,928	81,721	152%	60,324	92,082	153%	64,788	101,508	157%	74,328	112,179	151%	77,724	121,916	157%	80,040
	予防	人	3,348	4,481	134%	3,780	5,370	142%	4,188	6,105	146%	4,668	6,138	131%	4,860	6,184	127%	4,980
居宅介護支援	介護	人	150,048	147,659	98%	154,764	149,670	97%	158,904	152,810	96%	157,356	157,637	100%	162,996	161,300	99%	168,120
	予防	人	49,536	38,858	78%	51,324	43,609	85%	53,172	44,883	84%	48,228	46,063	96%	51,360	46,622	91%	53,208

(注) 1 率は、計画の見込量に対する実績の割合

2 各サービス種別の上段「介護」は要介護者に対する居宅サービス量、下段「予防」は要支援者に対する介護予防サービス量

② 施設サービス

サービスの種別	単位	第7期									第8期						
		30年度			元年度			2年度			3年度			4年度			5年度
		見込量	実績	率	見込量	実績	率	見込量	実績	率	見込量	実績	率	見込量	実績	率	見込量
介護老人福祉施設	人	28,212	27,264	97%	28,704	27,876	97%	31,008	28,866	93%	29,316	29,259	100%	30,996	29,342	95%	31,860
介護老人保健施設	人	15,996	15,596	97%	16,092	15,919	99%	16,188	15,705	97%	16,116	15,012	93%	16,116	14,591	91%	16,116
介護療養型医療施設	人	2,592	1,557	60%	1,164	1,166	100%	1,164	774	66%	960	309	32%	480	13	3%	240
介護医療院	人	0	11	-	660	792	120%	1,140	2,350	206%	2,508	2,478	99%	2,988	2,581	86%	3,468

(注) 率は、計画の見込量に対する実績の割合

③ 地域密着型サービス

サービスの種別	単位	第7期									第8期							
		30年度			元年度			2年度			3年度			4年度			5年度	
		見込量	実績	率	見込量													
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人	4,464	4,492	101%	5,244	5,105	97%	5,832	5,569	95%	6,096	5,774	95%	6,300	6,695	106%	6,432	
夜間対応型訪問介護	人	180	128	71%	168	79	47%	156	0	0%	408	0	0%	420	0	0%	432	
認知症対応型通所介護	介護	回	55,841	50,875	91%	56,570	41,462	73%	57,119	35,913	63%	34,030	34,535	101%	34,994	35,190	101%	36,109
	予防	回	365	87	24%	371	172	46%	464	230	50%	594	328	55%	606	231	38%	606
小規模多機能型居宅介護	介護	人	6,456	6,035	93%	6,768	6,124	90%	7,116	6,456	91%	6,852	6,421	94%	7,152	5,996	84%	7,344
	予防	人	900	828	92%	1,044	788	75%	1,092	725	66%	612	626	102%	636	538	85%	648
認知症対応型共同生活介護	介護	人	22,980	23,056	100%	23,076	23,070	100%	23,832	23,628	99%	24,132	23,946	99%	24,552	23,713	97%	24,960
	予防	人	300	240	80%	300	299	100%	312	264	85%	300	122	41%	312	91	29%	336
地域密着型特定施設入居者生活介護	人	984	979	99%	984	969	98%	984	987	100%	1,008	979	97%	1,008	961	95%	1,008	
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人	1,860	1,861	100%	1,860	1,818	98%	1,860	1,805	97%	1,848	1,772	96%	1,848	1,677	91%	1,848	
看護小規模多機能型居宅介護	人	576	1,281	222%	864	1,937	224%	1,152	1,996	173%	1,968	2,191	111%	2,064	2,570	125%	2,112	
地域密着型通所介護	回	409,085	412,055	101%	432,436	439,199	102%	446,192	452,610	101%	490,561	447,727	91%	511,675	467,439	91%	527,544	

(注) 1 率は、計画の見込量に対する実績の割合

2 各サービス種別の上段「介護」は要介護者に対する地域密着型サービス量、下段「予防」は要支援者に対する介護予防地域密着型サービス量

④ 給付費等の推移

区 分	単位	第7期			第8期		
		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度 当初予算
給付費	千円	45,264,934	47,283,054	49,501,893	50,333,854	50,341,082	54,233,014
1か月あたり(A)	千円	3,772,078	3,940,255	4,125,158	4,194,488	4,195,090	4,519,418
前年度比	%	101.1%	104.5%	104.7%	101.7%	100.0%	107.7%
第1号被保険者数(B)	人	159,886	162,869	165,793	168,163	169,619	170,666
高齢者一人あたり(A/B)	千円	23.6	24.2	24.9	24.9	24.7	26.5
前年度比	%	98.7%	102.5%	102.9%	100.0%	99.2%	107.3%
認定者数(C)	人	33,741	33,938	34,360	34,569	34,936	35,535
認定者一人あたり(A/C)	千円	111.8	116.1	120.1	121.3	120.1	127.2
前年度比	%	97.9%	103.8%	103.4%	101.1%	99.0%	105.9%

(注) 給付費は、各年4月審査分から翌年3月審査分

2. 介護給付費等に関するモニタリングについて

(1) 目的

地域包括ケア「見える化」システムを活用し、第1号被保険者数、認定者数、認定率、給付費実績のモニタリングを行い、第8期介護保険事業計画で定めた4年度の計画値と実績値の乖離状況を把握するとともに、その要因について考察する。

(2) 第1号被保険者数

令和4年度の第1号被保険者数の実績値と計画値の乖離はほぼない。

第1号被保険者数の年単位の計画と実績

		第7期			第8期		
		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
計画値	合計(人)	157,866	160,824	163,474	167,320	169,540	171,617
	前期高齢者(人)	80,058	81,401	83,676	86,072	85,544	83,370
	後期高齢者(人)	77,808	79,423	79,798	81,248	83,996	88,247
実績値	合計(人)	158,050	161,215	164,405	167,145	168,867	-
	前期高齢者(人)	80,138	81,463	83,822	86,107	85,481	-
	後期高齢者(人)	77,912	79,752	80,583	81,038	83,386	-
対計画比	合計(%)	100.1	100.2	100.6	99.9	99.6	-
	前期高齢者(%)	100.1	100.1	100.2	100.0	99.9	-
	後期高齢者(%)	100.1	100.4	101.0	99.7	99.3	-

(出典) 実績値：厚生労働省「介護保険事業状況報告」9月月報 計画値：介護保険事業計画にかかる保険者からの報告値

(3) 認定者数及び認定率

令和4年度の認定者数実績は、全体としては、計画値の96.6%と若干見込みを下回っており、特に要支援者数が計画値の94.7%と乖離が見られる。介護度別の認定率を見ると特に要支援2が計画値の87.1%と乖離が見られる。

この要因としては、介護予防施策の効果や新型コロナウイルス感染症の影響等により、認定申請数の伸びが見込みを下回ったことが考えられる。

認定者数の年単位の計画と実績

		第7期			第8期		
		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
計画値	合計(人)	32,708	33,590	34,385	34,484	35,487	36,419
	要支援認定者(人)	10,496	10,933	11,327	10,712	10,992	11,262
	要介護認定者(人)	22,212	22,657	23,058	23,772	24,495	25,157
実績値	合計(人)	32,890	33,313	33,685	33,840	34,293	-
	要支援認定者(人)	10,555	10,565	10,501	10,230	10,411	-
	要介護認定者(人)	22,335	22,748	23,184	23,610	23,882	-
対計画比	合計(%)	100.6	99.2	98.0	98.1	96.6	-
	要支援認定者(%)	100.6	96.6	92.7	95.5	94.7	-
	要介護認定者(%)	100.6	100.4	100.5	99.3	97.5	-

(出典) 実績値：厚生労働省「介護保険事業状況報告」9月月報 計画値：介護保険事業計画にかかる保険者からの報告値

認定率の年単位の計画と実績

		第7期			第8期		
		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
計画値	合計 (%)	20.7	20.9	21.0	20.6	20.9	21.2
	要支援 1 (%)	3.5	3.6	3.8	3.4	3.4	3.5
	要支援 2 (%)	3.2	3.1	3.1	3.0	3.1	3.1
	要介護 1 (%)	4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	4.8
	要介護 2 (%)	2.7	2.7	2.6	2.6	2.7	2.7
	要介護 3 (%)	2.4	2.4	2.3	2.4	2.4	2.4
	要介護 4 (%)	2.3	2.3	2.3	2.5	2.5	2.6
	要介護 5 (%)	2.2	2.2	2.1	2.1	2.1	2.2
実績値	合計 (%)	20.8	20.7	20.5	20.2	20.3	-
	要支援 1 (%)	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	-
	要支援 2 (%)	3.3	3.1	3.0	2.7	2.7	-
	要介護 1 (%)	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	-
	要介護 2 (%)	2.7	2.6	2.6	2.6	2.7	-
	要介護 3 (%)	2.4	2.4	2.3	2.3	2.3	-
	要介護 4 (%)	2.3	2.4	2.5	2.5	2.5	-
	要介護 5 (%)	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	-
対計画比	合計 (%)	100.5	99.0	97.6	98.1	97.2	-
	要支援 1 (%)	97.1	94.4	89.5	100.0	100.0	-
	要支援 2 (%)	103.1	100.0	96.8	90.0	87.1	-
	要介護 1 (%)	100.0	100.0	97.9	100.0	97.9	-
	要介護 2 (%)	100.0	96.3	100.0	100.0	100.0	-
	要介護 3 (%)	100.0	100.0	100.0	95.8	95.8	-
	要介護 4 (%)	100.0	104.3	108.7	100.0	100.0	-
	要介護 5 (%)	100.0	95.5	100.0	100.0	100.0	-

(出典) 実績値：厚生労働省「介護保険事業状況報告」9月月報 計画値：介護保険事業計画にかかる保険者からの報告値

(4) 給付費

令和4年度の給付実績は、いずれのサービスについても計画値を下回っており、特に在宅サービスと施設サービスについては、それぞれ計画値の89.5%、91.5%と乖離がみられる。

在宅サービスについては、新型コロナウイルス感染症による影響を排除して計画額を設定したものの、通所サービスや短期入所サービスにおいて見込みよりも利用が回復しなかったことが主な要因と考えられる。

施設サービスについては、5年度末で廃止される介護療養型医療施設の他施設への転換が見込みより進んだことが主な要因と考えられる。

給付費の年単位の計画と実績

		第7期			第8期		
		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
計画値	合計(円)	43,891,935,000	45,046,680,000	46,910,058,000	50,363,216,000	52,276,998,000	53,783,407,000
	在宅サービス(円)	24,419,353,000	25,613,163,000	26,516,960,000	28,889,643,000	30,186,988,000	31,212,385,000
	居住系サービス(円)	6,777,865,000	6,842,520,000	7,040,309,000	7,398,075,000	7,554,639,000	7,711,608,000
	施設サービス(円)	12,694,717,000	12,590,997,000	13,352,789,000	14,075,498,000	14,535,371,000	14,859,414,000
実績値	合計(円)	42,543,048,874	44,349,939,896	46,400,331,213	47,433,046,357	47,649,149,802	-
	在宅サービス(円)	23,785,084,176	24,784,968,844	25,719,689,150	26,581,613,479	27,026,696,011	-
	居住系サービス(円)	6,658,911,158	6,895,692,967	7,155,977,495	7,304,904,104	7,320,000,335	-
	施設サービス(円)	12,099,053,540	12,669,278,085	13,524,664,568	13,546,528,774	13,302,453,456	-
対計画比	合計(%)	96.9	98.5	98.9	94.2	91.1	-
	在宅サービス(%)	97.4	96.8	97.0	92.0	89.5	-
	居住系サービス(%)	98.2	100.8	101.6	98.7	96.9	-
	施設サービス(%)	95.3	100.6	101.3	96.2	91.5	-

※ 在宅サービス：訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護、福祉用具貸与、福祉用具購入、住宅改修、居宅療養管理指導、居宅介護支援、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護

※ 居住系サービス：特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護

※ 施設サービス：介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護